

# *Aspire* WX

**ユーザープログラミング  
取扱説明書  
(UA：管理者編)**

第 2.0 版 (2019 年 3 月)

# 目次

## 第一章 概要

ユーザープログラミングの概要	1-1
概要	1-1

## 第二章 パソコンの接続および設定

### Aspire WX への接続準備

パソコンの動作条件	2-1
接続形態	2-1
LAN の設定	2-3
インターネットブラウザの設定（アクティブスクリプトおよび Cookie の使用許可）	2-7
インターネットブラウザの設定（電話機設定画面へのアクセス）	2-8

## 第三章 ユーザープログラミングの立ち上げ

ユーザープログラミング操作上の注意点	3-1
注意点	3-1
ユーザープログラミングで使用する主なアイコン	3-1
リモートメンテナンスサーバへの接続	3-3
ログイン操作	3-4
ログアウト操作	3-5

## 第四章 データ設定

データ設定	4-1
時計カレンダー設定	4-1
保留音設定	4-2
運用モードとは？	4-4
自動運用モード切替設定	4-6
自動運用モードの時間割設定	4-6
運用モードの週間スケジュール	4-9
運用モード状態表示テキストの設定	4-10
運用モードの特定日スケジュール設定	4-11
DISA ユーザーID 設定	4-13
メールボックス番号設定	4-14
E メール通知設定	4-15
E メール通知設定	4-15
E メールアドレス	4-16
音声ファイル添付	4-17
テキストメッセージ設定	4-18
外線一般着信時の鳴動電話機設定	4-19
短縮ダイヤルデータと名称設定	4-21
短縮ダイヤル	4-22
識別着信	4-23
共通短縮付加情報表示	4-25

ボイスメールの発信者番号認証によるログイン	4-26
発信者番号毎の大型ランプイルミネーション設定	4-28
手動運用モード設定	4-30
DSS コンソールのボタン登録	4-31
ドアホン鳴動電話機設定	4-33
ACD スキルベース設定	4-34
ACD ログイン ID コード設定	4-34
ACD スキルテーブル設定	4-35
KDDI 内線 C メールメッセージ設定	4-37
KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定	4-38
電話機設定（内線番号設定）	4-39
電話機設定（詳細設定）	4-40
電話機設定（機能設定）	4-41
カナ名称	4-41
漢字名称	4-41
着信転送／不応答転送／不在（着信）転送	4-41
話中転送	4-42
LCD 表示言語選択	4-42
着信音色切替	4-42
発信規制一時解除パスワード設定	4-42
手動運用モード切替（所属グループ）	4-43
ユーザープログラミング・プログラム用パスワード設定	4-43
テンキーバックライト点灯制御	4-43
履歴表示モード	4-43
3 行表示名称優先度	4-43
3 行表示インデックス設定	4-43
VM 新着時の大型ランプ表示	4-44
VM 新着時の大型アイコン表示	4-44
画像登録	4-44
待ち受けモード	4-44
電話機設定＜個別短縮ダイヤルデータと名称設定＞	4-45
電話機設定＜機能ボタン割付＞	4-47
電話機設定＜多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定＞	4-49
電話機設定＜VM ファイル＞	4-51
電話機設定＜E メール通知設定＞	4-54
電話機設定＜カールコードレス子機の機能ボタン設定＞	4-56
電話機設定＜ワンナンバーフォーキング設定＞	4-57
電話機設定＜UC アカウントのユーザ情報設定＞	4-58
電話機設定＜電話機毎のユーザーデータ設定＞	4-60
電話機設定＜1stParty CTI 接続＞	4-61
外線設定＜外線の名称設定＞	4-62
外線設定＜外線毎の自動転送設定＞	4-63

外線設定<短縮ダイヤルデータと名称設定> -----	4-65
UC アカウントのユーザ情報設定 -----	4-67
ユーザ ID -----	4-68
パスワード -----	4-68
姓 -----	4-68
名 -----	4-68
フリガナ (姓) -----	4-68
フリガナ (名) -----	4-68
電話番号 1 -----	4-68
電話番号 2 -----	4-68
電話番号 3 -----	4-69
携帯番号 1 -----	4-69
携帯番号 2 -----	4-69
E メール 1 -----	4-69
E メール 2 -----	4-69
グループ名 -----	4-69
表示言語 -----	4-70
ブラウザフォン内線番号 -----	4-70
ワンナンバーフォーキング設定 -----	4-71
ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定 -----	4-72
ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定 -----	4-73
発信者番号選択リスト設定 -----	4-74
内線グループ毎の設定確認 -----	4-75
コピー -----	4-76
保留音(ダウンロード曲)の追加・削除 -----	4-77
VRS ファイル <VRS ファイルのアップロード/ダウンロード> -----	4-78
VM ファイル(内線) <VM ファイルのアップロード/ダウンロード(内線)> -----	4-79
VM ファイル(メールボックス) <VM ファイルのアップロード/ダウンロード(メールボックス)> -----	4-82
VM・VRS ファイル操作 (アップロード、ダウンロード、消去) -----	4-85
アップロード -----	4-85
ダウンロード -----	4-86
消去 -----	4-87
VM 構成設定 -----	4-89
メールボックス一括パスワード -----	4-89
ユーザーマネジメントツールログアウトタイマー -----	4-89
ホテル客室情報 -----	4-90
In-UC Apps アップデート -----	4-92
証明書登録 -----	4-93
<b>第五章 トラブルシューティング</b>	
トラブルシューティング -----	5-1
“ログイン”画面が表示されない -----	5-1
“ログイン”画面から変わらない -----	5-1

“ページエラー”	5-1
“ログイン”画面に戻る	5-1
“ログアウト”できない	5-1
“ログイン可能ユーザ数に達しています。”表示	5-2
“他のプロセスでロックされているため、内線‘XXX’はプログラムできません。 そのプロセスは電話機プログラミングか他のWebプログラミングです。”表示	5-2
電話機のディスプレイに“ユーザプログラミングモード”表示	5-2
“メールボックス“XXX”が存在しません。”表示	5-2
“SDの空き容量が不足しているため、アップロードできません。”表示	5-3
“ファイルのサイズが大きすぎます。”表示	5-3
“他のユーザがログイン中のため、アクセスできません”表示	5-3
“ファイル拡張子が不正です”表示	5-3
“アップロードするファイルを指定してください。”表示	5-4
“メッセージ番号が不正です。”表示	5-4
“ファイルが消去されています。”表示	5-4
“ファイルが使用されているため、アップロードできません。 しばらくしてから実行してください。”表示	5-4
“ファイルが使用されているため、ダウンロードできません。 しばらくしてから実行してください。”表示	5-5
“ファイルが使用されているため、消去できません。 しばらくしてから実行してください。”表示	5-5
“ポップアップがブロックされました。”表示	5-5
“パッケージファイルが不正です。”表示	5-5
“対応していないバージョンです。”表示	5-6
“ファームウェアアップデートが予想されているため 実行できません。”表示	5-6
“ファイルの書き込みに失敗しました。”表示	5-6

本書は、Aspire WX のユーザープログラミングについて記載したものです。詳しい取扱いの注意については、システムに添付されている「取扱説明書」に記載されている『安全に正しくお使いいただくために』を必ずお読みください。

**注意：**

- ・ メインソフトウェアの版数によっては、表示画面および設定項目が異なる場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

**◆ご注意**

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

©2018-2019 NEC Corporation

日本電気株式会社の許可無く複製・改変などを行うことはできません。

# 第一章

## 概要

# ユーザープログラミングの概要

## ■ 概要

ユーザープログラミングは、パソコンのインターネットブラウザ (Internet Explorer など) を利用して、このシステムの運用形態の基本設定、電話機毎の各種設定や、着信転送の設定／解除を行うことができます。ユーザープログラミングへのログインは、下記の 2 つのレベルがあります。

- ・ UA (ユーザープログラミング 1) : 管理者レベル  
システムで 1 つのパスワード (初期値 : 1 1 1 1) を持つことができます。ユーザ名 (初期値 : USER1) と、このパスワードにより UA レベルでログインし、各種設定を行うことができます。
- ・ UB (ユーザープログラミング 2) : 電話機使用者レベル (設定範囲が各電話機に限定)  
電話機ごとにパスワード (初期値 : 全電話機 1 1 1 1) を持つことができます。内線番号 (ユーザ名部分に入力) とパスワードを入力することにより UB レベルでログインし、電話機ごとの設定を行うことができます。



設定項目概要：

(1) ホーム画面

項目名	動作	備考/リンク先
時計カレンダー設定	リンク	(2)「時計カレンダー設定」メニューへリンク
保留音設定	リンク	(3)「保留音設定」メニューへリンク
自動運用モード切替設定	リンク	(4)「自動運用モード切替設定」メニューへリンク
DISA ユーザーID 設定	リンク	(5)「DISA ユーザーID 設定」メニューへリンク
メールボックス番号設定	リンク	(6)「メールボックス番号」メニューへリンク
Eメール通知設定	リンク	(7)「Eメール通知設定」メニューへリンク
テキストメッセージ設定	リンク	(8)「テキストメッセージ設定」メニューへリンク
外線一般着信時の鳴動電話機設定	リンク	(9)「外線一般着信時の鳴動電話機設定」メニューへリンク
短縮ダイヤルデータと名称設定	リンク	(10)「短縮ダイヤルデータと名称設定」メニューへリンク
手動運用モード切替設定	リンク	(11)「手動運用モード切替設定」へリンク
DSS コンソールのボタン登録	リンク	(12)「DSS コンソールのボタン登録」メニューへリンク
ドアホン鳴動電話機設定	リンク	(13)「ドアホン鳴動電話機設定」メニューへリンク
ACD スキルベース設定	リンク	(14)「ACD ログイン ID コード設定」メニューへリンク
KDDI 内線 C メールメッセージ設定	リンク	(15)「KDDI 内線 C メールメッセージ設定」メニューへリンク
KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定	リンク	(16)「KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定」メニューへリンク
電話機設定	リンク	(17)「電話機設定」メニューへリンク
外線設定	リンク	(18)「外線設定」メニューへリンク
UC アカウントのユーザ情報設定	リンク	(19)「UC アカウントのユーザ情報設定」メニューへリンク
ワンナンバーフォーキング設定	リンク	(20)「ワンナンバーフォーキング設定」メニューへリンク
ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定	リンク	(21)「ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定」メニューへリンク
ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定	リンク	(22)「ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定」メニューへリンク
発信者番号選択リスト設定	リンク	(23)「発信者番号選択リスト設定」メニューへリンク
内線グループ毎の設定確認	リンク	(24)「内線グループ毎の設定確認」メニューへリンク
右上部	コピー	リンク (25)「コピー」メニューへリンク
右下部	保留音 (ダウンロード曲)	リンク (26)「保留音 (ダウンロード曲) メニューへリンク
	VRS ファイル	リンク (27)「VRS ファイル」メニューへリンク
	VM ファイル(内線)	リンク (28)「VM ファイル(内線)」メニューへリンク
	VM ファイル (メールボックス)	リンク (29)「VM ファイル(メールボックス)」メニューへリンク
	VM 構成設定	リンク (30)「VM 構成設定」メニューへリンク
	ホテル客室情報	リンク (31)「ホテル客室情報」メニューへリンク
	In-UC Apps アップデート	リンク (32)「In-UC Apps アップデート」メニューへリンク
	証明書登録	リンク (33)「証明書登録」メニューへリンク
	ヘルプ	リンク 工事者用(Web プログラミング)のヘルプ画面を開きます。
	ログアウト	ログアウト ユーザープログラミングからログアウトします。

(2) 時計カレンダー設定

項目名	動作	備考/リンク先
時計カレンダー設定	設定	現在の年月日、時間を設定します。

(3) 保留音設定

項目名	動作	備考/リンク先
保留音設定	設定	内線/外線通話時保留音の曲目の変更をします。

(4) 自動運用モード切替設定メニュー

	項目名	動作	備考/リンク先
ページ切替	自動運用モード切替の時間割設定	設定	運用モードグループ番号(1~32)毎、時間割パターン(1~10)毎に、時間割を設定します。開始時間、終了時間、設定した時間帯に適用する運用モード<時間帯モード>番号(1~8)を設定します。
	運用モードの週間スケジュール設定	設定	運用モードグループ番号(1~32)毎に、各曜日に適用する時間割パターン(1~10)を設定します。合わせて運用モードグループ番号(1~32)毎に、各運用モード番号の状態時にディスプレイ上に表示する文字<テキストデータ>を設定します。
	運用モードの特定日スケジュール設定	設定	運用モードグループ番号(1~32)毎に、祝祭日などの特定日に適用する時間割パターン(1~10)を設定します。設定がない場合、運用モードの週間スケジュール設定に従います。

(5) DISA ユーザーID 設定

項目名	動作	備考/リンク先
DISA ユーザーID 設定	設定	DISA ユーザーID<パスワード> (15 種) を設定します。

(6) メールボックス番号設定

項目名	動作	備考/リンク先
メールボックス番号設定	設定	ボイスメールのメッセージボックス番号(1~960)を指定し、メールボックス番号とパスワードを設定します。

(7) Eメール通知設定

メッセージボックス番号 001~960 に対して以下を設定します。

項目名	動作	備考/リンク先
Eメール通知設定	設定	該当のメッセージボックスにメッセージが登録された時にEメール通知を行う場合、チェックボックスにチェックをつけます。
Eメールアドレス	設定	Eメール通知する場合の通知先(Eメールアドレス)を設定します。
音声ファイル添付	設定	Eメールに音声ファイル(WAV)を添付する場合、チェックボックスにチェックをつけます。

(8) テキストメッセージ設定

項目名	動作	備考/リンク先
テキストメッセージ設定	設定	テキストメッセージを設定した場合に表示するメッセージ(1~20)を設定します。

(9) 外線一般着信時の鳴動電話機設定

項目名	動作	備考/リンク先
外線一般着信時の鳴動電話機設定	設定	着信グループ番号(1~100)を指定し、鳴動電話機(最大48内線)の内線番号を設定します。

(10) 短縮ダイヤルデータと名称設定

項目名	動作	備考/リンク先
短縮ダイヤルデータと名称設定	設定	短縮ダイヤルエリア(0~9999)を指定し、ダイヤルデータ、漢字名称(全角12文字)、カナ名称(半角12文字)、発信者番号識別着信、共通短縮付加情報表示、ボイスメールアクセスの発信者認証、大型ランプイルミネーション設定(発信者番号毎)の設定をします。

(11) 手動運用モード切替設定

項目名	動作	備考/リンク先
手動運用モード切替設定	設定	各運用モードグループ(1~32)の運用モード状態を変更します。

(12) DSS コンソールのボタン登録

項目名	動作	備考/リンク先
DSS コンソールのボタン登録	設定	DSS コンソール番号(1~32)毎に、DSS コンソールボタンの機能を登録します。

(13) ドアホン鳴動電話機設定

項目名	動作	備考/リンク先
ドアホン鳴動電話機設定	設定	ドアホン番号(1~8)毎、運用モード(1~8)毎に、鳴動電話機(最大32内線)の内線番号を設定します。

(14) ACDスキルベース設定

項目名	動作	備考/リンク先
ACD ログイン ID コード設定	設定	ログイン ID テーブル番号(1~960)毎にログイン ID コードとスキルテーブル番号(1~960)を設定します。
テーブル設定	リンク	(34)「ACDスキルテーブル設定」へリンク。

(15) KDDI 内線 C メールメッセージ設定

項目名	動作	備考/リンク先
メッセージ設定	設定	内線 C メール本文のメッセージ内容を全角50文字または半角100文字以内で、メッセージ番号(01~10)ごとに設定します。

(16) KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定

項目名	動作	備考/リンク先
KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定	設定	携帯電話に送信する内線 C メールメッセージ番号(1~10)と、内線 Cメールの送信先(最大11桁のダイヤル)をメッセージパターン番号(001~100)ごとに設定します。送信先は、KDDI ビジネスコールダイレクトのアクセス番号(事業所番号+内線番号)です。

(17) 電話機設定

項目名	動作	備考/リンク先
内線番号	設定	内線ポート番号(1~960)毎に内線番号を設定します。
詳細設定	リンク	(35)「電話機詳細設定」へリンク。

詳細設定中は、該当の電話機のディスプレイに“ユーザプログラミングモード”と表示され、使用できません。また、該当の電話機が使用中または他のパソコンにてプログラム中は、詳細設定選択時に“他のユーザがログインしているか電話機が使用中であるため、内線‘XXX’はデータを変更することができません”と表示してログインできません。上記が表示された場合は、電話機の使用または他のパソコンでのプログラムが終了するまで待つて再度ログインしてください。

(18) 外線設定

項目名	動作	備考/リンク先
ページ切替 → 外線設定	リンク	(18-1)へリンク
短縮ダイヤルデータと名称設定	リンク	(10)へリンク

(18-1) 外線設定

外線ポート番号(1~400)毎に設定を行います。

項目名	動作	備考/リンク先
外線の名称設定	設定	外線名称(最大全角6文字または半角12文字)を設定します。
外線毎の自動転送設定	設定	外線毎の自動転送設定を行うかどうかを設定します。
関連設定 → 運用モード	選択	運用モード(1~8)を選択し、運用モード毎に“外線毎の自動転送”先(電話番号を登録する短縮エリア番号)を設定します。運用モード1~8 全てに設定を行ってください。
短縮エリア番号	設定	
共通短縮編集	リンク	

(19) UC アカウントのユーザ情報設定

UC アカウント番号(1~256)毎に設定を行います。

項目名	動作	備考/リンク先
ユーザ ID	設定	UC サーバにログインするための認証 ID を設定します。
パスワード	設定	UC サーバにログインするためのパスワードを設定します。
姓	設定	ユーザの姓を設定します。
名	設定	ユーザの名を設定します。
フリガナ(姓)	設定	ユーザの姓のフリガナを設定します。
フリガナ(名)	設定	ユーザの名のフリガナを設定します。
電話番号 1	設定	ユーザの電話番号 1 を設定します。
電話番号 2	設定	ユーザの電話番号 2 を設定します。
電話番号 3	設定	ユーザの電話番号 3 を設定します。
携帯電話 1	設定	ユーザの携帯電話番号 1 を設定します。
携帯電話 2	設定	ユーザの携帯電話番号 2 を設定します。
Eメール 1	設定	ユーザの E メールアドレス 1 を設定します。
Eメール 2	設定	ユーザの E メールアドレス 2 を設定します。
グループ名	設定	ユーザのグループ名を設定します。
表示言語	設定	ユーザの表示言語を設定します。
ブラウザフォン内線番号	設定	ブラウザフォンの内線番号を設定します。

## (20) ワンナンバーフォーキング設定

項目名	動作	備考/リンク先
メイン内線番号	設定	メイン内線端末の内線番号を設定します。
メンバー内線番号1	設定	メンバー内線端末1の内線番号を設定します。
メンバー内線番号2	設定	メンバー内線端末2の内線番号を設定します。
メンバー内線番号3	設定	メンバー内線端末3の内線番号を設定します。
メンバー内線番号4	設定	メンバー内線端末4の内線番号を設定します。
メンバー内線番号5	設定	メンバー内線端末5の内線番号を設定します。
メンバー内線番号6	設定	メンバー内線端末6の内線番号を設定します。
メンバー内線番号7	設定	メンバー内線端末7の内線番号を設定します。
運用モード切替連動	設定	運用モード切替に連動してワンナンバーフォーキング機能の状態を切り替えるかどうかを設定します。

## (21) ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定

項目名	動作	備考/リンク先
ワンナンバーフォーキング機能対応運用モードグループ	設定	フォーキンググループ毎に対応する運用モードグループ番号(1~32)を設定します。

## (22) ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定

項目名	動作	備考/リンク先
ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定	設定	ワンナンバーフォーキング機能を有効状態とするか、解除状態とするかを設定します。

## (23) 発信者番号選択リスト設定

発信者番号選択リスト番号(1~100)毎に設定を行います。

項目名	動作	備考/リンク先
発信者番号リスト設定	設定	発信者番号選択特番を使用して発信する場合、発信に使用する外線グループとその時に通知する発信者番号を設定します。


## (24) 内線グループ毎の設定確認

内線代表グループ(1~128)毎に設定内容の確認を行います。

項目名	動作	備考/リンク先
内線グループ毎の設定確認	設定	内線グループ毎の設定確認

## (25) コピー

左上の“コピー元の内線番号”にてコピー元の内線番号を選択すると下部に選択した内線への設定状況が網掛けで表示されます。コピーしたい項目を下記から選択(コピーしたい項目の左端にあるチェックボックスにチェックを入れます。)した後、“コピー先内線番号”の窓にてコピー先の内線番号を選択します。[Ctrl]キーを押しながら選択することにより複数の内線を選択することができます。すべての内線にコピーする場合は、“全選択”部のチェックボックスにチェックを入れます。

全ての選択が終了を確認し、右上の  アイコンをクリックしコピーを実行します。

項目名	備考/リンク先
電話機の運用モードグループ設定	所属する運用モードグループ番号の設定
電話機の発信規制一時解除パスワード設定	発信規制一時解除パスワード
電話機の代理応答グループ設定	所属する代理応答グループ番号
オフフック自動応答グループ設定	オフフック自動応答を行うルートテーブル設定
電話機の内線ページンググループ設定	所属する内線ページンググループ番号
多機能電話機の機能ボタン設定	機能ボタンの登録内容
カールコードレス子機の機能ボタン設定	カールコードレス子機の機能ボタン(1~8)の登録内容

(26) 保留音(ダウンロード)

項目名	動作	備考/リンク先
保留音(ダウンロード曲)の追加・削除	設定	音声ファイルを保留音(1-2)としてアップロード/消去します。

(27) VRS ファイル

項目名	動作	備考/リンク先
VRS ファイルのアップロード/ダウンロード	設定	VRS メッセージ番号(1~200)を指定して、アップロード/ダウンロード/消去を行います。

(28) VM ファイル

項目名	動作	備考/リンク先
VRS ファイルのアップロード/ダウンロード(内線)	設定	内線番号を指定(同一番号のメールボックス)して、応答メッセージ(1~3)のアップロード/ダウンロード/消去および伝言メッセージ(1~500)のダウンロード/消去を行います。

(29) VM ファイル

項目名	動作	備考/リンク先
VM ファイルのアップロード/ダウンロード(メールボックス)	設定	メッセージボックス番号を指定して、応答メッセージ(1~3)のアップロード/ダウンロード/消去および伝言メッセージ(1~500)のダウンロード/消去を行います。

(30) VM 構成設定

項目名	動作	備考/リンク先
VM 構成設定	設定	ユーザーマネジメントツールで使用するパスワード、タイマーを設定します。

(31) ホテル客室情報

項目名	動作	備考/リンク先
ホテル客室情報	確認	ホテル機能の客室情報を一覧で表示します。

(32) In-UC Apps アップデート

項目名	動作	備考/リンク先
In-UC Apps アップデート	設定	In-UC Web アプリケーション(UC100 for Web、クイックビデオリンク)のアップデートを行います。

(33) 証明書登録

項目名	動作	備考/リンク先
証明書登録	設定	SSL/TLS サーバ証明書の登録を行います。

(34) ACDスキルテーブル

項目名	動作	備考/リンク先
ACD スキルテーブル設定	設定	スキルテーブル番号(1~960)毎、ACDグループ番号(1~64)毎にスキルレベル(1~7)を設定します。 ※スキルレベル1が最上位

(35) 電話機詳細設定(UB レベルと共通設定)

	項目名	動作	備考/リンク先
ページ切替	機能設定	リンク	(35-1)ヘリンク
	個別短縮ダイヤルデータと名称設定	リンク	(35-2)ヘリンク
	機能ボタン割付	リンク	(35-3)ヘリンク
	多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定	リンク	(35-4)ヘリンク
	VM ファイル	リンク	(35-5)ヘリンク
	Eメール通知設定	リンク	(35-6)ヘリンク
	コールコードレス子機の機能ボタン設定	リンク	(35-7)ヘリンク
	ワンナンバーフォーキング設定	リンク	(35-8)ヘリンク
	UC アカウントのユーザ情報設定	リンク	(35-9)ヘリンク
	電話機毎のユーザーデータ設定	リンク	(35-10)ヘリンク
	1 <sup>st</sup> Party CTI 接続	リンク	(35-11)ヘリンク

(35-1) 機能設定

項目名	動作	備考/リンク先
カナ名称	設定	該当内線のカナ名称(半角最大 12 文字)を設定します。
漢字名称	設定	該当内線の漢字名称(全角最大 6 文字)を設定します。
着信転送/不応答転送/不在転送	設定	着信転送のタイプ(着信転送、不応答転送、不在着信転送)を選択し、転送先の設定を行います。
話中転送	設定	話中転送の設定を行います。右側の入力欄に転送先を登録します。
LCD 表示言語選択	設定	表示器に表示される言語(日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語)を選択します。)
着信音色切替 外線着信タイプ(周波数) 内線着信タイプ(周波数)	設定	内線および外線着信時の着信音を選択します。
発信規制一時解除パスワード設定	設定	発信規制一時解除パスワードの登録を行います。
手動運用モード切替(所属グループ)	設定	所属する運用モードグループの運用モード状態を切り替えます。
ユーザープログラミング・プログラム用パスワード設定	設定	ユーザープログラミング(UB)のログインパスワードを設定します。
テンキーバックライト点灯制御	設定	テンキーバックライト点灯制御について設定します。
履歴表示モード	設定	発信履歴、着信履歴、システム着信履歴を 1 行で表示するか、3 行で表示するかを設定します。
3 行表示名称優先度	設定	発信履歴、着信履歴、システム着信履歴にて共通短縮に登録された名称か電話番号のどちらを優先して表示するかを設定します。 ※履歴表示モードが 3 行表示となっているときのみ有効
3 行表示インデックス設定	設定	発信履歴、着信履歴、システム着信履歴にてインデックス番号を表示するか、着信種別を表示するかを設定します。 ※履歴表示モードが 3 行表示となっているときのみ有効
VM 新着時の大型ランプ表示	設定	ボイスメールボックスに新しいメッセージが届いたときに内線電話機の大型ランプ表示を行うかを設定します。 ※大型ランプがある多機能電話機のみ有効
VM 新着時のアイコン表示	設定	ボイスメールボックスに新しいメッセージが届いたときに内線電話機のアイコン表示を行うかを設定します。
画像登録	設定	自分の内線情報として、好きな画像を登録します。
待ち受けモード	設定	DT900 多機能電話機の表示モードを設定します。 ※DT900 多機能電話機を使用している場合のみ有効

(35-2) 個別短縮ダイヤルデータと名称設定

項目名	動作	備考/リンク先
個別短縮ダイヤルデータと名称設定	設定	内線番号毎の個別短縮ダイヤル(1~20)の登録を行います。各個別短縮ダイヤルの漢字名称(全角最大 12 文字)、カナ名称(半角最大 12 文字)も合わせて設定します。

(35-3) 機能ボタン割付

項目名	動作	備考/リンク先
機能ボタン割付	設定	内線番号毎、機能ボタンのボタン番号毎に設定する機能番号とその機能に付随する付加データを設定します。

(35-4) 多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定

項目名	動作	備考/リンク先
多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定	設定	内線番号毎、機能ボタン番号(1~48)毎、運用モード(1~8)毎に、仮想内線の鳴動指定を行います。

(35-5) VM ファイル

項目名	動作	備考/リンク先
-----	----	---------

VM ファイル	設定	各内線番号と同一のメールボックスの応答メッセージ (1~3) のアップロード/ダウンロード/消去および伝言メッセージ (1~500) のダウンロード/消去を行います。
---------	----	---

(35-6) Eメール通知設定

項目名	動作	備考/リンク先
Eメール通知設定	設定	各内線番号と同一のメールボックスのメッセージ登録時のEメール通知の可否、Eメールアドレス、登録されたメッセージのEメール添付の有無を設定します。

(35-7) カールコードレス子機の機能ボタン設定

項目名	動作	備考/リンク先
カールコードレス子機の機能ボタン設定	設定	カールコードレス子機の機能ボタン (1~8) に連動させたい親機の機能ボタン番号を設定します。

(35-8) ワンナンバーフォーキング設定

該当電話機がワンナンバーフォーキング機能のメイン内線番号に設定されている場合のみ画面が表示されます。

項目名	動作	備考/リンク先
メンバー内線番号 1	設定	メンバー内線端末 1 の内線番号を設定します。
メンバー内線番号 2	設定	メンバー内線端末 2 の内線番号を設定します。
メンバー内線番号 3	設定	メンバー内線端末 3 の内線番号を設定します。
メンバー内線番号 4	設定	メンバー内線端末 4 の内線番号を設定します。
メンバー内線番号 5	設定	メンバー内線端末 5 の内線番号を設定します。
メンバー内線番号 6	設定	メンバー内線端末 6 の内線番号を設定します。
メンバー内線番号 7	設定	メンバー内線端末 7 の内線番号を設定します。

(35-9) UC アカウントのユーザ情報設定

該当電話機の内線番号が UC 機能のアカウントに設定されている場合のみ画面が表示されます。

項目名	動作	備考/リンク先
ユーザ ID	設定	UC サーバにログインするための認証 ID を設定します。 (最大半角英数 16 文字)
姓	設定	ユーザの姓を登録します。(最大全角 10 文字)
名	設定	ユーザの名を登録します。(最大全角 10 文字)
フリガナ (姓)	設定	ユーザの姓のフリガナを登録します。(最大全角 20 文字)
フリガナ (名)	設定	ユーザの名のフリガナを登録します。(最大全角 20 文字)
電話番号 1	設定	ユーザの電話番号 1 を登録します。 (最大 24 桁のダイヤル)
電話番号 2	設定	ユーザの電話番号 2 を登録します。 (最大 24 桁のダイヤル)
電話番号 3	設定	ユーザの電話番号 3 を登録します。 (最大 24 桁のダイヤル)
携帯番号 1	設定	ユーザの携帯番号 1 を登録します。 (最大 24 桁のダイヤル)
携帯番号 2	設定	ユーザの電話番号 2 を登録します。 (最大 24 桁のダイヤル)
Eメール 1	設定	ユーザの E メールアドレス 1 を登録します。 (最大半角 128 文字)
Eメール 2	設定	ユーザの E メールアドレス 2 を登録します。 (最大半角 128 文字)



グループ名	設定	ユーザの所属するグループや部署名を登録します。 (最大半角 64 文字)
表示言語	設定	ユーザの表示言語を設定します。
ブラウザフォン内線番号	設定	ブラウザフォンの内線番号を設定します。

(35-10) 電話機毎のユーザーデータ設定

項目名	動作	備考/リンク先
着信/不応答/不在着信転送設定	確認	転送設定を確認できません
着信/不応答/不在着信転送先	確認	転送設定の転送先を確認できます
話中転送設定	確認	話中転送の転送設定を確認できます
話中転送先	確認	話中転送の転送先を確認できます
フォローミー	確認	フォローミー機能の設定を確認できません
フォローミー設定先	確認	フォローミーの設定先を確認できます
着信拒否設定	確認	着信拒否の設定を確認できます
伝言設定先	確認	伝言先の設定を確認できます
被伝言設定元	確認	被伝言設定元を確認できます
アラーム 1 設定	確認	アラーム 1 の設定を確認できます
アラーム 1 設定時刻	確認	アラーム 1 の設定時刻を確認できます
アラーム 2 設定	確認	アラーム 2 の設定を確認できます
アラーム 2 設定時刻	確認	アラーム 2 の設定時刻を確認できます
内線着信音設定	確認	内線着信音の設定を確認できます
BGM 設定	確認	BGM 設定を確認できません
キータッチトーン設定	確認	キータッチトーンの設定を確認できます
ダイヤルブロック設定	確認	ダイヤルブロック機能の設定を確認できます
リピートダイヤル	確認	リピートダイヤル機能の設定を確認できます
ヘッドセットモード切替	確認	ヘッドセットモードの設定を確認できます

(35-11) 1st Party CTI 接続

項目名	動作	備考/リンク先
クライアント IP アドレス	確認	クライアントに設定されている IP アドレスを確認できます。
クライアント接続状態	確認	クライアントの接続状態を確認できます。

## 第二章

# パソコンの接続および設定

## Aspire WX への接続準備

### ■ パソコンの動作条件

ユーザープログラミングに使用するパソコンの動作条件を示します。必ず動作条件にあったパソコンをご使用ください。

#### ＜パソコンの動作条件＞

項目	動作環境
OS	Microsoft Windows 7 / 8.1 / 10 (32bit 版、64bit 版双方に対応)
CPU	Microsoft Windows 各 OS の条件による
メモリ	
ブラウザ	Internet Explorer 7、8、9、10、11※ Google Chrome v57 Microsoft Edge
モニタ	SVGA (最低 800×600 ピクセル、推奨 1024×768 ピクセル以上)
その他	マウス、LAN 接続ポート (RJ-45)

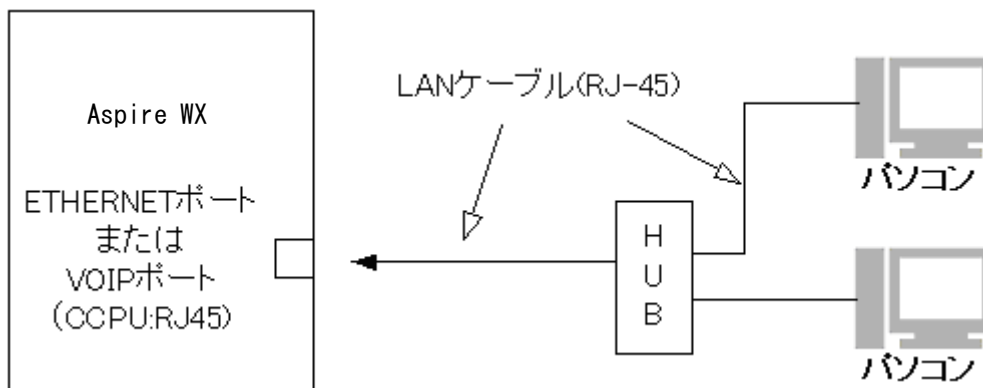
※設定する項目によっては、ブラウザのバージョンおよび設定を制限している場合があります。  
Internet Explorer の場合、Internet Explorer 11 でのアクセスを推奨します。

### ■ 接続形態

#### ・ Ethernet (LAN) 接続

Aspire WX の CCPU ユニットの Ethernet (LAN) コネクタ (RJ-45) に、LAN ケーブルを使って HUB (ハブ) を接続します。さらに、HUB に LAN ケーブルを使ってパソコンの LAN 接続ポート (RJ-45) に接続します。HUB に接続されたどのパソコンからでもユーザープログラミングを使用できます。

(CCPU ユニットの VOIPDB が実装されている場合、VOIP コネクタに HUB を接続することもできます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。)



#### ・ 接続可能台数

最大 4 台のパソコンで同時にユーザープログラミングにログイン可能です。

**注意：**

工事／プログラム設定中は、接続台数が減少する場合があります。詳しくは、販売店にご確認ください。接続可能台数を超えた場合、“ログイン可能ユーザ数に達しています。”と表示されます。

**注意：**

主装置には触れないでください。主装置内部に触れると、感電・けがの原因となります。  
主装置への HUB 接続については、販売店にご相談ください。

## ■ LAN の設定

### Aspire WX が既存のネットワークに接続されている場合：

既存のネットワークに接続するなどネットワークの設定が変更されている場合は、販売店にご確認ください。

### Aspire WX 専用のネットワーク（Aspire WX の設定が変更されていない）の場合：

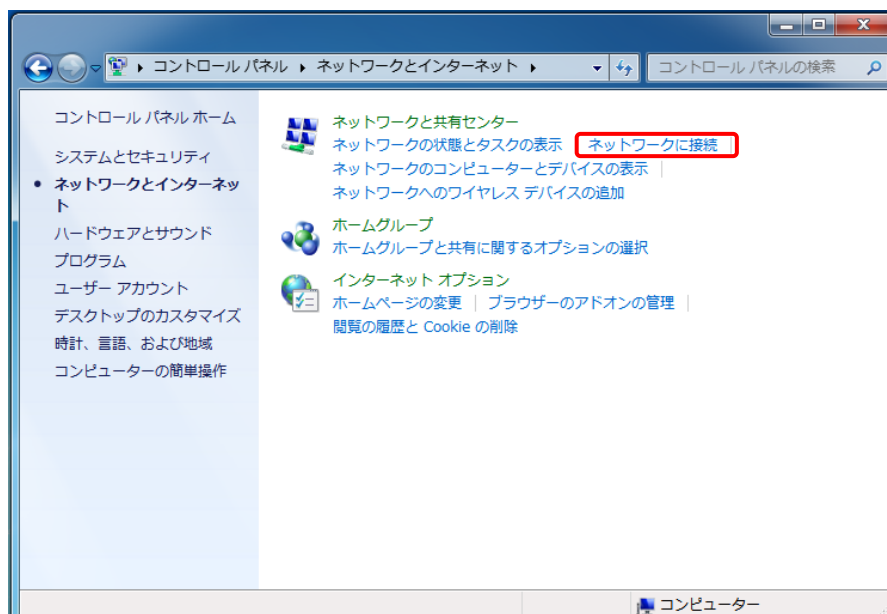
OS が Windows 7 の場合、次のような画面が表示されます。

※手順および表示される内容は、パソコンにより異なります。

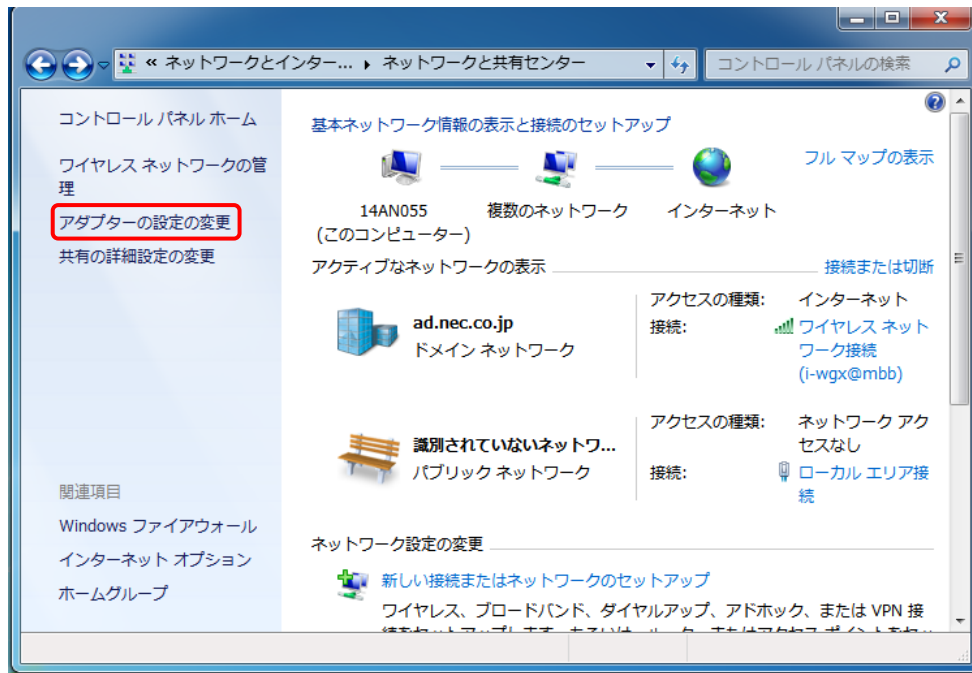
1. [スタート] → [すべてのアプリ] → [コントロールパネル]の順にクリックします。  
または[スタート] → [デスクトップ]の順にクリックしてデスクトップを表示し、“Windows ロゴ キー”と“X”を同時に押して、クリックリンクメニューから[コントロールパネル]を選択し、[コントロールパネル]を開きます。



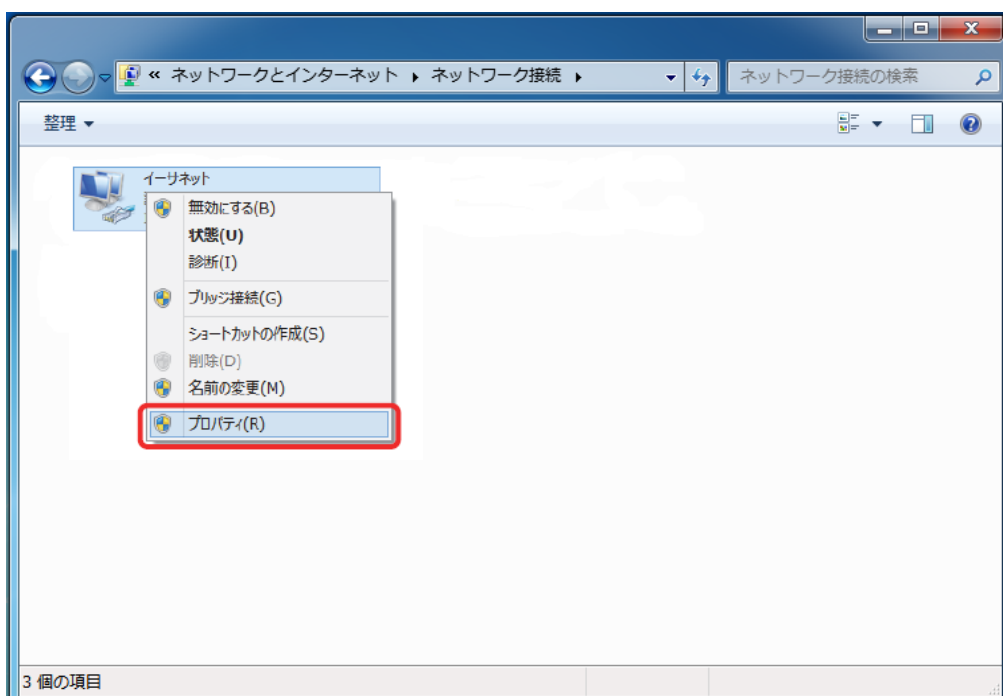
2. 【コントロールパネル】画面で「ネットワークとインターネット」をクリックします。  
【ネットワークとインターネット】画面が表示されます。



3. 【ネットワークとインターネット】で「アダプターの設定の変更」をクリックします  
【ネットワーク接続】画面が表示されます。



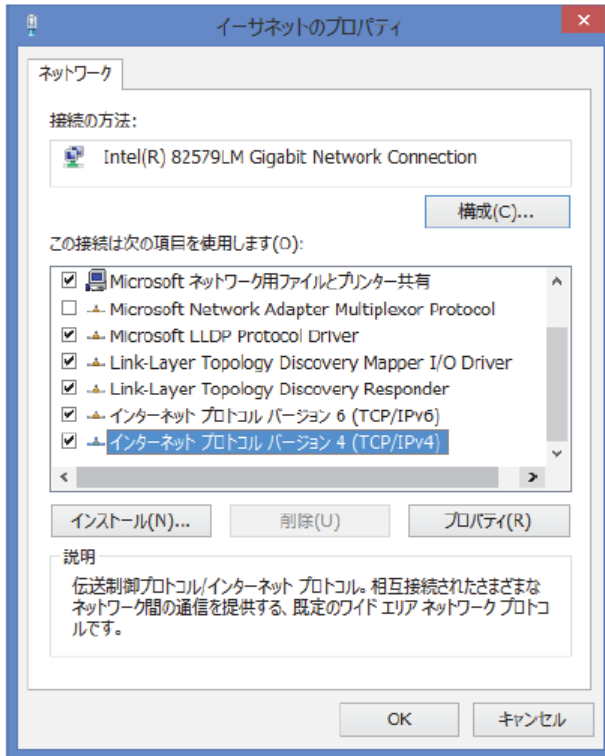
4. 【ネットワーク接続】画面で[イーサネット]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



1

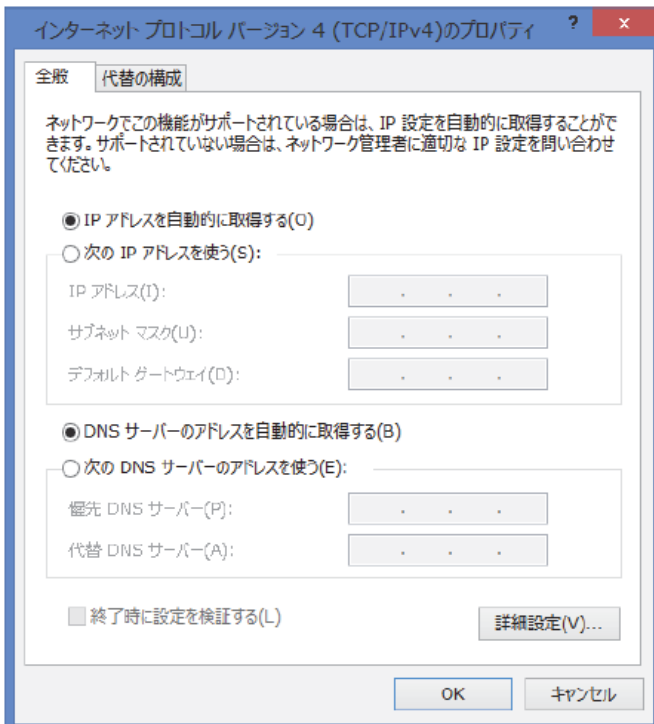
[イーサネットのプロパティ]が表示されます。

※ “接続方法” 欄に表示される内容はパソコンにより異なります。



5. [この接続は、次の項目を使用します]の[インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

【インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ】画面が表示されます。

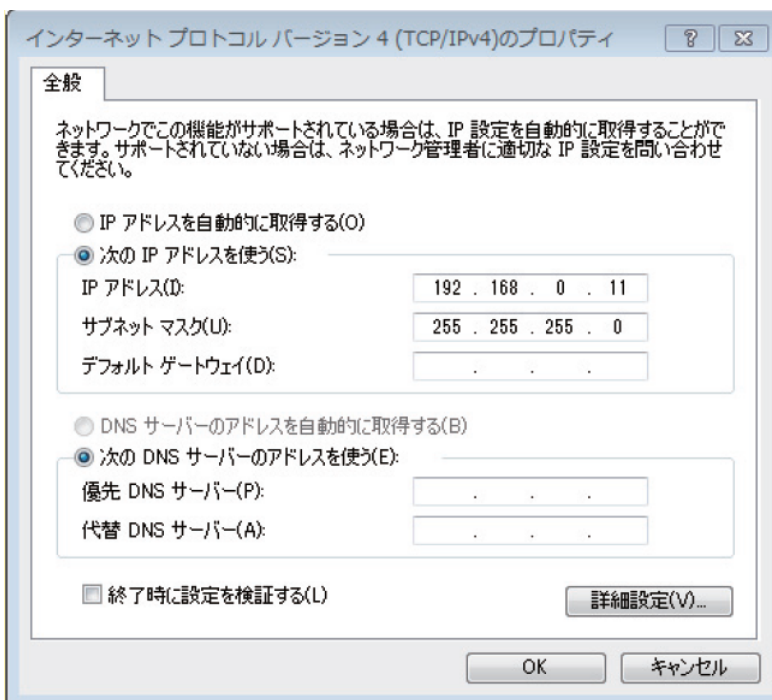


6. ネットワークに DHCP サーバがあるかによって次のことを確認する。

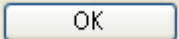
- ・ ネットワークに DHCP サーバがある場合は “IP アドレスを自動的に取得する” が選択されていることを確認してください。
- ・ ネットワークに DHCP サーバが無い場合は “次の IP アドレスを使う” を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを入力します。入力する IP アドレスはご不明な場合はシステム運用管理者に確認してください。

CCPU の ETHERNET ポートに接続する場合の設定例：

IP アドレス                   : 192.168.0.11  
サブネットマスク           : 255.255.255.0  
デフォルトゲートウェイ   : 設定しない



複数台の PC を同時接続する場合は、IP アドレスの下一桁を変更 (1~254) し、重複しないようにしてください。

7.  を 2 回クリックする。これで、LAN の設定は完了です。



## ■ インターネットブラウザの設定（アクティブスクリプトおよび Cookie の使用許可）

アクティブスクリプトおよび Cookie の使用許可を設定します。

ここでは、Internet Explorer11.x の場合を例に説明しています。ほかのインターネットブラウザを使用しているときは設定方法が異なりますので、ご使用のインターネットブラウザのマニュアルなどを参照してください。

1. Internet Explorer で [ツール] → [インターネット オプション] を順にクリックすると【インターネット オプション】画面が表示します。
2. 「セキュリティ」タブをクリックします。
3. [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックすると【セキュリティ設定】画面が表示します。
4. スクリプト部にある「アクティブ スクリプト」を「有効にする」に設定します。
5. [OK] ボタンをクリックして【インターネット オプション】画面に戻ります。
6. 「プライバシー」タブをクリックします。
7. [詳細設定] ボタンをクリックすると【プライバシー設定の詳細】画面が表示します。
8. 「自動 Cookie 処理を上書きする」欄 にチェックを入れます。
9. 「常にセッション Cookie を許可する」欄にチェックを入れます。
10. [OK] ボタンをクリックして【インターネット オプション】画面に戻ります。
11. [OK] ボタンをクリックして【インターネット オプション】画面を閉じます。

これでインターネットブラウザの設定ができました。

### **注意：**

インターネットブラウザの設定が正しく行われていない場合、ユーザープログラミングのアイコンを選択しても正しく動作しないことや、アイコン選択後表示が変わらないことがあります。

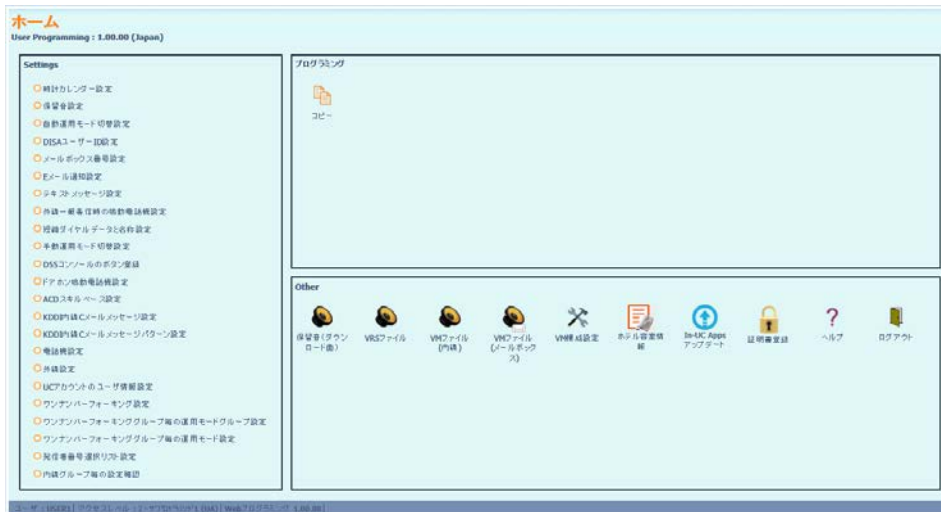
## ■ インターネットブラウザの設定(電話機設定画面へのアクセス)

【電話機設定】の画面へアクセスするには、あらかじめブラウザの設定を変更・確認する必要があります。  
Internet Explorer のブラウザを使用する場合には、Internet Explorer11 を使用してください。

1. Internet Explorer11 で [ツール] → [互換性表示] を順にクリックすると【互換性表示】画面が表示します。
2. 【互換性表示】画面で「イントラネット サイトを互換表示で表示する」欄のチェックをはずします。  
またはチェックが入っていないことを確認します。
3. [閉じる] ボタンをクリックして【互換性表示】画面を閉じます。

これで【電話機設定】画面へアクセスする準備ができました。

UA レベルで[電話機設定]→[詳細設定]をクリックすると【電話機設定】画面が表示します。



UB レベルでログインすると、【電話機設定】画面が表示します。



### 注意：

インターネットブラウザの設定が正しく行われていない場合、画面の表示が崩れたり、設定できないことがあります。

## 第三章

# ユーザープログラミングの 立ち上げ


# ユーザープログラミング操作上の注意点

## ■ 注意点

### ・インターネットブラウザのツールバー/ステータスバー

ユーザープログラミングの全ての操作は、インターネットブラウザの画面上のアイコンにて行います。インターネットブラウザのツールバーおよびステータスバーは使用しないでください。使用した場合は、Webプログラミングが正しく動作しなくなります。正しく動作しなくなった場合は、ログアウト操作を行い、再度ログインしてください。

### ・ログアウト操作

“ホーム”画面に戻り、“ログアウト”部  をクリックしてログアウトします。ユーザープログラミングを終了する場合、必ずログアウト操作を行ってください。ログアウト後、設定内容がシステムに記録されます。

※ログアウト操作を行わない場合、設定データの一部または全てが消える場合があります。

※ログアウト操作をせずに15分(初期値)経過すると強制的にログアウトします。: 強制ログアウト動作

### ・強制ログアウト動作

ユーザープログラミングへログイン状態のまま何も操作されずに15分(初期値)以上経過した場合は、強制的にログアウトします。強制ログアウトしてもパソコンの画面は保持されますが、何かの操作を行った時、ログイン画面に戻ります。

※強制ログアウト後、設定内容がシステムに記録されます。





### ・電話機設定制限

電話機の個別設定は、電話機毎にパソコン1台のみから設定できます。同じ電話機へ同時に2台以上のパソコンから設定することはできません。該当電話機が使用中の場合もログインおよび詳細設定選択ができません。“他のプロセスでロックされているため、内線‘XXX’はプログラムできません。そのプロセスは電話機プログラミングか他のWebプログラミングです。”と表示された場合は、プログラムが終了するか電話機が待機状態になるまでお待ちください。また、ユーザープログラミングにて電話機への個別設定中は、“ユーザープログラミングモード”と表示され該当の電話機が使用できません。

## ■ ユーザープログラミングで使用する主なアイコン





ユーザープログラミングの画面には、次のようなアイコンやボタンが表示されます。

### 共通アイコン

アイコン	名称	使用法
	登録	設定中のデータを登録するときにクリックします。画面は、現在のページが保持されます。
	更新	画面を更新します。作業中で未登録のデータは取り消されます。
	キャンセル	データ編集を取り消し、ホーム画面に戻ります。
	ホーム	【ホーム】画面に戻るときにクリックします。登録中のデータがある場合は、確認画面が表示されます。




## 個別アイコン

個別アイコンをクリックした場合、画面が切り替わります。画面が切り替わるとき、それまで表示していた設定内容が自動的に登録されます。

アイコン	名称	使用法
	ジャンプ	左枠内に入力した番号の設定範囲にジャンプします。
	ページダウン	現在表示の設定範囲の前ページへジャンプします。
	ページアップ	現在表示の設定範囲の後ページへジャンプします。
	電話機詳細設定 /共通短縮詳細設定	左側の枠内に表示されている内線番号または共通短縮番号の詳細設定画面を表示するときにクリックします。

## ボイスメール (VM)・VRS アイコン

「VM ファイルのアップロード/ダウンロード」、「VRS ファイルのアップロード/ダウンロード」、電話機設定の「VM ファイル」にあります。

アイコン	名称	使用法
	アップロード	選択した音声ファイルを自分の PC からアップロードする。
	ダウンロード	選択した音声ファイルを自分の PC にダウンロードする。
	消去	選択した音声ファイルを削除する。

## 特殊アイコン

アイコン	名称	場所	使用法
	ログイン	ログイン画面	ユーザープログラミングにログインしホーム画面に移動します
	コピー	ホーム画面	電話機データのコピー画面に移動します。
	保留音(ダウンロード曲)	ホーム画面	【保留音(ダウンロード曲)の追加・削除】画面を開きます
	VRS ファイル	ホーム画面	【VRS ファイルのアップロード/ダウンロード】画面を開きます
	VM ファイル (内線)	ホーム画面	【VM ファイルのアップロード/ダウンロード(内線)】画面を開きます。
	VM ファイル (メールボックス)	ホーム画面	【VM ファイルのアップロード/ダウンロード(メールボックス)】画面を開きます。
	VM 構成設定	ホーム画面	【VM 構成設定】画面を開きます。
	ホテル客室 情報	ホーム画面	【ホテル客室情報】画面を開きます。
	In-UC Apps アップデート	ホーム画面	【In-UC Apps アップデート】画面を開きます。
	証明書登録	ホーム画面	【証明書登録】画面を開きます。
	ヘルプ	ホーム画面	工事者用 (Web プログラミング用) 簡易ヘルプ画面を開きます。
	ログアウト	ホーム画面	ユーザープログラミングを終了してログイン画面に戻ります。

## リモートメンテナンスサーバへの接続

インターネットブラウザを用いて Aspire WX 内部のリモートメンテナンスサーバに接続します。

(1) インターネットブラウザを起動します。



(2) アドレス欄に「http://192.168.0.10」を入力し[Enter]キーを押す。

しばらくすると、リモートメンテナンスサーバに接続されます。

接続されると、下のような“ログイン”画面が表示されます。

※ 「http://192.168.0.10」は、接続されているネットワークの状況により異なる場合があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

**V2.0 変更**



# ログイン操作

(1) ログイン画面右上に、ユーザー名、パスワードを入力しユーザープログラミングにログインします。

※ 半角大文字で入力してください。


※ 3回（初期値）ログインに失敗した場合、60秒間（初期値）アクセスが制限されます。

下記ユーザ名、パスワードは初期値です。詳しくは、販売店にご確認ください。

ユーザーレベル	ユーザ	パスワード
UA（ユーザープログラミング 1）	USER1	1111

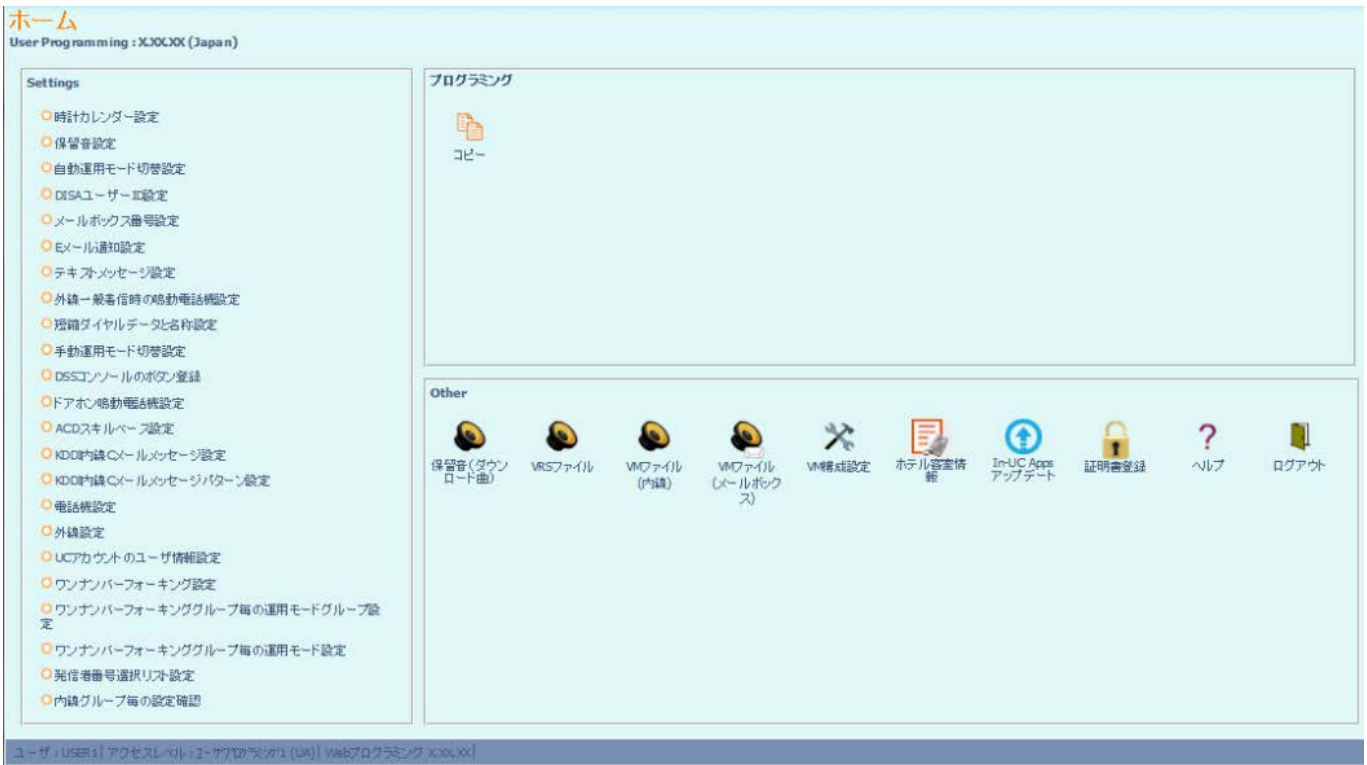
例：初期設定の場合

- ・ ユーザ [USER1] ←UA のユーザ名を入力する
- ・ パスワード [1111] ←UA のパスワードを入力する

(2) “Enter” を押すか右上部の  をクリックします。

ログインが完了すると次のような画面が表示されます。

ログイン時の画面：[V2.0 変更](#)



ホーム  
User Programming : X.XX.XX (Japan)

Settings

- 時計カレンダー設定
- 保留音設定
- 自動運用モード切替設定
- DISAユーザー設定
- メールボックス番号設定
- Eメール通知設定
- テキストメッセージ設定
- 外線一着着信時の鳴動電話機設定
- 覆箱ダイヤルデータと名称設定
- 手動運用モード切替設定
- DSSコントロールのボタン登録
- ドアホン鳴動電話機設定
- ACDスキルベース設定
- KDDI特線Cメールメッセージ設定
- KDDI特線Cメールメッセージパターン設定
- 電話機設定
- 外線設定
- UCアカウントのユーザ情報設定
- ワンナンバーフォーキング設定
- ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定
- ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定
- 発信者番号選択リスト設定
- 内線グループ毎の設定確認

プログラミング

コピー

Other



- 保留音(ダウンロード音)
- VRSファイル
- VMファイル(内線)
- VMファイル(メールボックス)
- VM構成設定
- ホテル客室情報
- In-UC App アップデート
- 証明書登録
- ヘルプ
- ログアウト

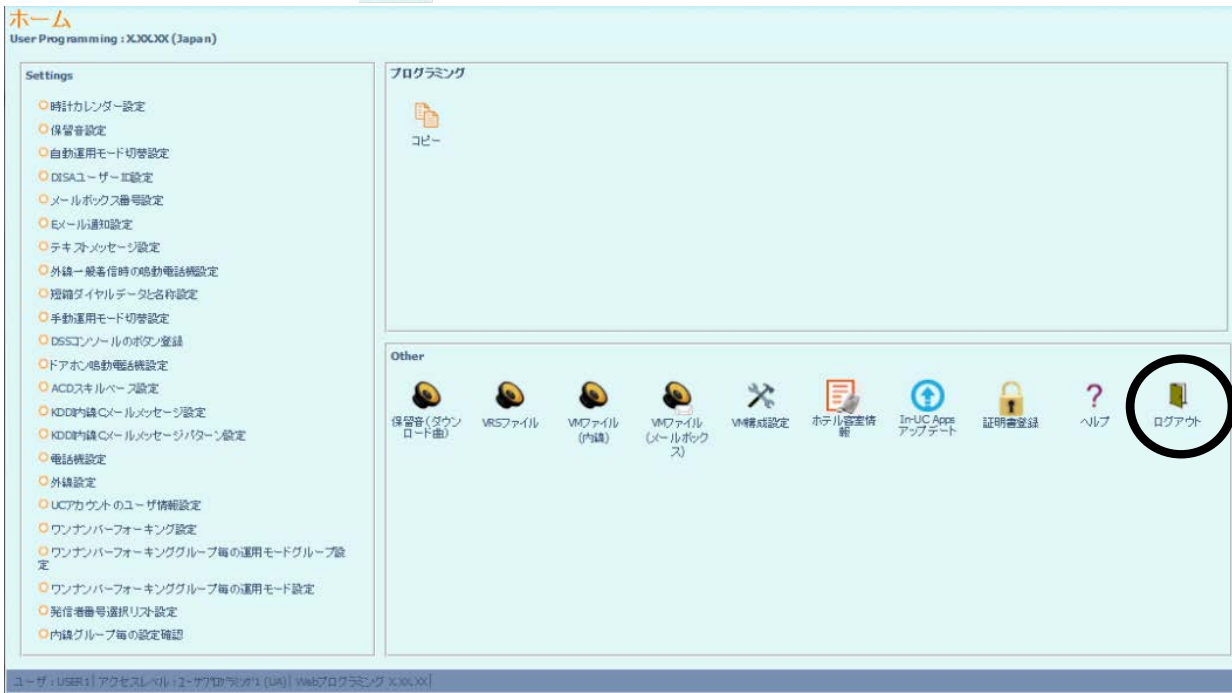
ユーザ: USER1 | アクセスレベル: ユーザープログラミング 1 (UA) | Webプログラミング X.XX.XX

# ログアウト操作

ユーザープログラミングを終了する場合、必ずログアウト操作を行ってください。ログアウト操作を行うと、ログイン画面に戻ります。ログイン画面の表示を確認して、インターネットブラウザを閉じて終了してください。

ログアウト方法：

- (1)  をクリックして、ホーム画面に戻ります。
- (2) ホーム画面の右下にある、 をクリックします。 **V2.0 変更**



- (3) ログイン画面が表示されます。 **V2.0 変更**



- (4) インターネットブラウザを閉じて終了します。



—Note—

# 第四章

## データ設定

# データ設定

## ■ 時計カレンダー設定

システムで使用する年月日、時間を設定します。

年は、西暦の下2桁（例：2018年の場合は“18”）を入力します。

月および曜日は、プルダウンメニューから選択して設定します。その他は、該当の数字を設定します。

### 注意：

電話機のディスプレイ上には、日時のみ表示されますが、料金管理の集計異常が発生するなどの障害原因となります。年月日、時間は正しく設定してください。

### 設定手順：

1. ホームの“時計カレンダー設定”をクリックします。




2. 各枠内に年月日、時分秒を入力します。



3.  をクリックして設定内容を登録します。



4.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ 保留音設定

外線、内線と通話中に保留操作を行った場合に、保留中通話相手に流れる内部保留音の曲目を選択します。設定窓右端の▼部をクリックするとスクロールバーが開き、内部保留音のリストが表示されます。目的の保留音を選んで設定します。

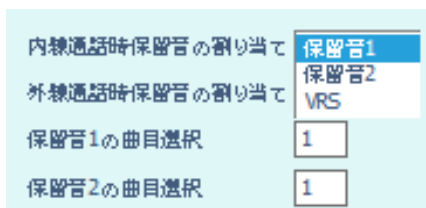
- 無音
  - 春（初期値）
  - アイネ・クライネ・ナハトムジーク
  - 春風
  - エリーゼのために
  - ジムノペディ
  - メヌエット
  - ダウンロード曲 1
  - ダウンロード曲 2
- ・ 外部保留音またはVRS保留音が設定されていて内部保留音を使用しない設定となっている場合があります。この場合、本設定は有効となりません。詳しくは、販売店にご確認ください。

### 設定手順：

1. ホーム画面にて“保留音設定”をクリックします。



2. 窓枠内右端の▼をクリックして内線通話時保留音の割り当てのリストを表示します。



3. 設定したい保留音もしくはVRSを選択します。



4. 窓枠内右端の▼をクリックして外線通話時保留音の割り当てのリストを表示します。

内線通話時保留音の割り当て

外線通話時保留音の割り当て

保留音1の曲目選択

保留音2の曲目選択



5. 設定したい保留音もしくはVRSを選択します。



6. 保留音1の曲目選択に設定したい曲目の数字を入力します。

内線通話時保留音の割り当て

外線通話時保留音の割り当て

保留音1の曲目選択

保留音2の曲目選択



7. 保留音2の曲目選択に設定したい曲目の数字を入力します。

内線通話時保留音の割り当て

外線通話時保留音の割り当て


保留音1の曲目選択

保留音2の曲目選択



8.  をクリックして表示内容を登録します。



9.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

※「保留音1の曲目選択」、「保留音2の曲目選択」の対応表

●PRG10-77-04, -06 の設定が「内部保留音」の場合

0 ... 無音      1 ... 春      2 ... アイネ・クライネ・ナハトムジーク      3 ... 春風  
 4 ... エリーゼのために      5 ... ジムノペディ      6 ... メヌエット  
 7 ... ダウンロード曲1      8 ... ダウンロード曲2

●PRG10-77-04, -06 の設定が「外部保留音」の場合

1 ... 外部保留音1      2 ... 外部保留音2

## 運用モードとは？

運用モード機能は運用モード(1~8)ごとに、電話がかかってきたときに鳴らす電話や、外線発信ができる電話機などを切替えることができます。運用モード切替は、手動または自動にて運用モードグループ(1~32)毎に現在の運用モード(1~8)の変更(切替)をおこなう設定で、運用モードグループ毎に行うことができます。運用モードグループは、運用モードの切替を行う単位グループで、内線および外線を各運用モードグループに振り分けて設定します。

運用モード毎に変更できる主な機能 (詳しくは、販売店にご確認ください。)

- ◆ 発信サービス
  - ・ 内線毎の発信外線ルート
  - ・ 外線毎の発信外線ルート
  - ・ 内線毎の発信規制クラス
  - ・ 内線毎の第2外線アクセス発信ルート
- ◆ 着信サービス
  - ・ 外線の着信タイプ
  - ・ 一般着信の着信先
  - ・ 電話機毎の一般着信鳴動
  - ・ DIL 着信の着信先
  - ・ 未応答着信時の着信先
  - ・ ダイヤルイン変換テーブルエリア毎の転送先
  - ・ 外線グループ毎のダイヤルイン変換テーブルエリア
- ◆ 応答サービス
  - ・ オフフック自動応答グループ
- ◆ 転送サービス
  - ・ 外線毎の転送先ダイヤル登録エリア
  - ・ 内線グループ毎の転送先ダイヤル登録エリア
- ◆ DID/DISA サービス
  - ・ DID/DISA のトーキー
  - ・ DID/DISA 誤ダイヤル時の転送先
  - ・ DID/DISA 未応答・話中時の着信先
  - ・ DID/DISA エラーメッセージ
  - ・ DISA ユーザ毎の機能クラス
  - ・ DISA ユーザ毎の発信外線ルート
  - ・ DISA ユーザ毎の第2外線アクセス発信ルート
- ◆ 構内放送サービス
  - ・ 外部スピーカの外線着信音
- ◆ ドアホンサービス
  - ・ ドアホンの鳴動電話機
- ◆ 専用線サービス
  - ・ 専用線毎の機能クラス
  - ・ 専用線毎の発信外線ルート
  - ・ 専用線の発信規制クラス

**注意：**

- ・ 自動運用モード切替／手動運用モード切替の使用可／不可設定は、工事段階で行います。詳しくは、販売店にご確認ください。
- ・ 運用モードグループへの振り分け(各内線、外線が所属している運用モードグループ番号)、各運用モードでの状態、運用モードに関連して動作する機能は、工事段階で設定する必要があります。ご使用中のシステムの設定内容については、販売店に確認してください。
- ・ 運用モードグループは、内線と外線を同時に切替えます。内線と外線が同一運用モードグループに設定されていない場合は、運用モード機能が正しく動作しません。システム共通で使用するNTTダイヤルインが収容されている場合など、運用モードグループ分けができない場合があります。
- ・ システムの設定にて自動運用モード切替を規制することができます。自動運用モード切替が規制されている場合、本設定は無効となります。詳しくは、販売店にご確認ください。

## ■ 自動運用モード切替設定

自動運用モード切替は、運用モード切替のスケジュールを設定し、スケジュールに沿って自動で運用モードを切替えることができます。ここでは、自動運用モード切替のスケジュールを設定します。

- ・ 自動運用モードの時間割設定 : 1日のスケジュール(時間割パターン)を設定します。
- ・ 運用モードの週間スケジュール設定 : 曜日毎に適用する時間割パターンを設定します。
- ・ 運用モードの特定日スケジュール : 祝祭日などの特定日に適用する時間割パターンを設定します。

### □ 自動運用モードの時間割設定

運用モードグループ(1~32)毎に、時間割パターン(1日のスケジュールパターン。1~10)を作成します。時間割パターンは、1日を最大20(時間帯モード番号1~20)に分割して、各時間帯運用モードに適用する時間帯モード(運用モード番号1~8)を設定します。

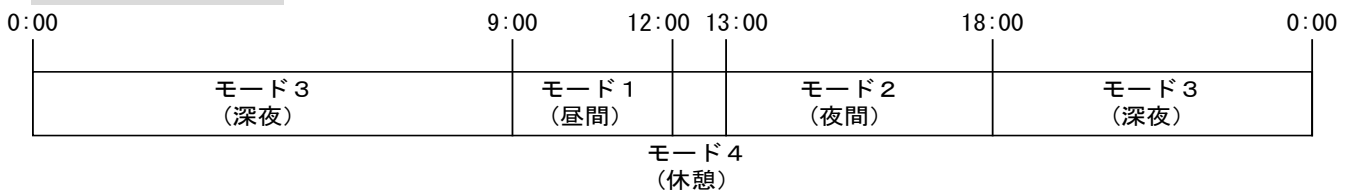
**設定例 :**

「月曜日~金曜日は、時間割パターン1。土曜日は、時間割パターン2。日曜日は、時間割パターン3。」を想定して、3つの時間割パターンを作成する。

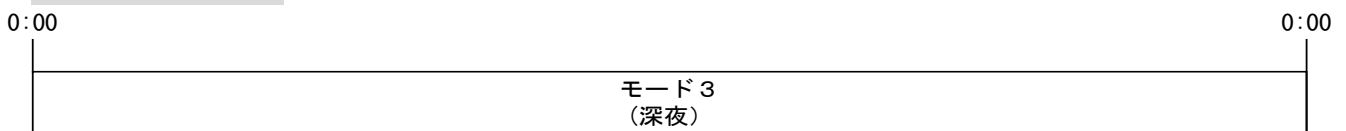
#### 時間割パターン1 :



#### 時間割パターン2 :



#### 時間割パターン3 :



時間割パターン1の場合、1日が7つの時間帯に分けられています。この分けられた時間帯毎に始まりの時間、終わりの時間、動作すべき運用モード番号を画面に入力します。

**注意 :**

- ・ 必ず0:00から初めてください。
- ・ 前の時間帯の終わりと同じ時間から次の時間帯を設定し、切れ目無く設定してください。
- ・ 時間の設定は、1分単位で設定できます。
- ・ 数字の入力は、全て半角で行ってください。





	時間の設定	開始時間	終了時間	時間帯モード (運用モード番号)	備考
①	1	00 : 00	09 : 00	3	
②	2	09 : 00	12 : 00	1	
③	3	12 : 00	13 : 00	4	
④	4	13 : 00	17 : 00	1	
⑤	5	17 : 00	18 : 00	4	
⑥	6	18 : 00	22 : 00	2	
⑦	7	22 : 00	00 : 00	3	
	8				以下設定不要

上記の表を下図のように設定します。

運用モードグループ (1-32)  🔍 ⬅️ ➡️  
 時間帯パターン (1-10)  🔍 ⬅️ ➡️

	開始時間	終了時間	運用モード		開始時間	終了時間	運用モード
01	00:00	00:00	1	11	00:00	00:00	1
02	00:00	00:00	1	12	00:00	00:00	1
03	00:00	00:00	1	13	00:00	00:00	1
04	00:00	00:00	1	14	00:00	00:00	1
05	00:00	00:00	1	15	00:00	00:00	1
06	00:00	00:00	1	16	00:00	00:00	1
07	00:00	00:00	1	17	00:00	00:00	1
08	00:00	00:00	1	18	00:00	00:00	1
09	00:00	00:00	1	19	00:00	00:00	1
10	00:00	00:00	1	20	00:00	00:00	1

## 設定手順：

1. ホーム画面の“自動運用モード切替設定”をクリックします。





	開始時間	終了時間	運用モード	開始時間	終了時間	運用モード	
01	00:00	00:00	1	11	00:00	00:00	1
02	00:00	00:00	1	12	00:00	00:00	1
03	00:00	00:00	1	13	00:00	00:00	1
04	00:00	00:00	1	14	00:00	00:00	1
05	00:00	00:00	1	15	00:00	00:00	1
06	00:00	00:00	1	16	00:00	00:00	1
07	00:00	00:00	1	17	00:00	00:00	1
08	00:00	00:00	1	18	00:00	00:00	1
09	00:00	00:00	1	19	00:00	00:00	1
10	00:00	00:00	1	20	00:00	00:00	1



2. 運用モードグループを選択します。

運用モードグループ番号(1~32)を入力 運用モードグループ (1-32)  後、右側の  をクリックします。

または



運用モードグループ番号右の  または、 をクリックして運用モードグループ番号を変更します。



3. 時間割パターンを選択します。

時間割パターン番号(1~10)を入力 時間割パターン (1-10)  後、右側の  をクリックします。

または




時間割パターン番号右の  または、 をクリックして時間割パターンを変更します。




4. 開始時刻、終了時刻、時間帯モード(運用モード)入力します。




5. 引き続き時間割パターンを変更して設定する場合は、3. から4. を、運用モードグループおよび時間割パターンを変更する場合は、2. から4. を繰り返し行います。

(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



6. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ 運用モードの週間スケジュール設定

運用モードグループ番号(1~32)毎に各曜日に適用する時間割パターン(1~10)を設定します。

設定手順：

1. ホーム画面の“自動運用モード切替設定”をクリックします。





2. 自動運用モード切替設定画面左上部のプルダウンから“運用モードの週間スケジュール設定”を選択します。



3. 運用モードグループを選択します。

運用モードグループ番号(1~32)を入力 運用モードグループ (1-32)  後、右側の  をクリックします。

または




運用モードグループ番号右の  または、 をクリックして運用モードグループ番号を変更します。




4. 左部の日曜日から土曜日に、適用する時間割パターン番号(1~10)を入力します。




5. 他の運用モードグループへの設定を行う場合、3. から4. の設定を繰り返し行います。

(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



6. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



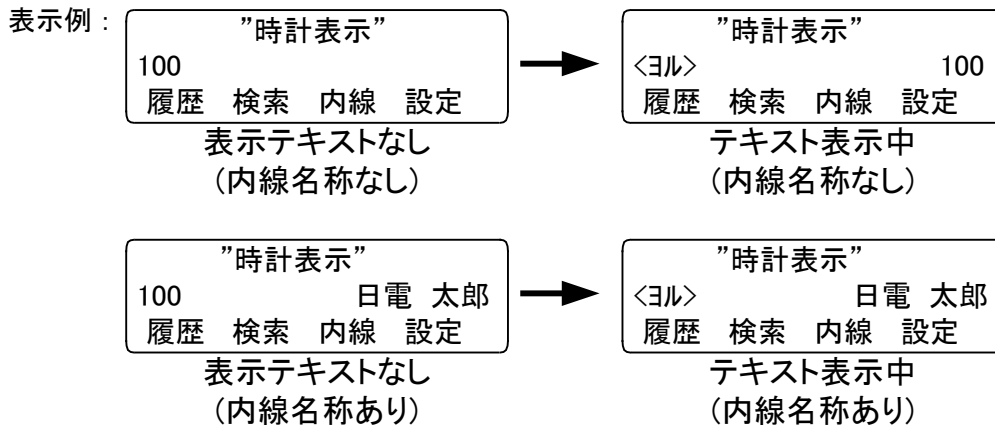
7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ 運用モード状態表示テキストの設定

運用モード1~8の状態時に、電話機のディスプレイに表示するテキスト(最大半角12文字)を設定します。

- ・ 全角文字(最大6文字)の入力・編集は、工事が必要です。詳しくは、販売店にご確認ください。  
(全角文字を全て削除して、半角文字を入力することは可能です。)

この項目にデータ入力がない場合、通常が表示となります。



### 設定手順：

1. ホーム “自動運用モード切替設定” をクリックします。  
↓
2. 自動運用モード切替設定画面左上部のプルダウンから  
“運用モードの週間スケジュール設定” を選択します。



3. 運用モードグループを選択します。

運用モードグループ番号(1~32)を入力 運用モードグループ (1-32) 1 後、右側の 🔍 をクリックします。

または

運用モードグループ番号右の ➡ または、 ⬅ をクリックして運用モードグループ番号を変更します。

↓

- ↓
4. 右部の運用モード1～8の状態時に電話機のディスプレイ上に表示するテキスト(半角12文字(販売店に依頼した場合は全角最大6文字も可))を入力します。
  - ↓
  5. 他の運用モードグループへの設定を行う場合、3. から4. の設定を繰り返し行います。  
( → 、 ← 、 🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)
  - ↓
  6. 設定が終了した場合、  をクリックして表示中の設定を登録します。
  - ↓
  7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ 運用モードの特定日スケジュール設定

「運用モードの週間スケジュール」に従わない祝祭日などの特定日に適用する時間割パターン(1～10)を指定します。「運用モードの週間スケジュール」に従う場合は、“0”を設定します。

設定手順：

1. ホーム画面の“自動運用モード切替設定”をクリックします。
- ↓
2. 自動運用モード切替設定画面左上部のプルダウンから“運用モード特定日スケジュール設定”を選択します。
- ↓



自動運用モード切替設定

ページ: ページ 3 - 運用モードの特定日スケジュール設定

運用モードグループ (1-32)  🔍 ↔

月日 (01/01-12/31)  🔍 ↔

月日	パターン	月日	パターン	月日	パターン
1/01	<input type="text" value="0"/>	1/11	<input type="text" value="0"/>	1/21	<input type="text" value="0"/>
1/02	<input type="text" value="0"/>	1/12	<input type="text" value="0"/>	1/22	<input type="text" value="0"/>
1/03	<input type="text" value="0"/>	1/13	<input type="text" value="0"/>	1/23	<input type="text" value="0"/>
1/04	<input type="text" value="0"/>	1/14	<input type="text" value="0"/>	1/24	<input type="text" value="0"/>
1/05	<input type="text" value="0"/>	1/15	<input type="text" value="0"/>	1/25	<input type="text" value="0"/>
1/06	<input type="text" value="0"/>	1/16	<input type="text" value="0"/>	1/26	<input type="text" value="0"/>
1/07	<input type="text" value="0"/>	1/17	<input type="text" value="0"/>	1/27	<input type="text" value="0"/>
1/08	<input type="text" value="0"/>	1/18	<input type="text" value="0"/>	1/28	<input type="text" value="0"/>
1/09	<input type="text" value="0"/>	1/19	<input type="text" value="0"/>	1/29	<input type="text" value="0"/>
1/10	<input type="text" value="0"/>	1/20	<input type="text" value="0"/>	1/30	<input type="text" value="0"/>

設定データを次の範囲内にして下さい。0～10

このプログラムは、運用モードの年間スケジュールを設定します。このスケジュールは、夏休みなどの特別な日の設定に使用されます。日付の設定は年間365日設定可能です。データは、PRG12-02で設定されたパターン番号です。

ユーザ: USER1 | アクセスレベル: ユーザアクセスレベル (006) | Webブラウザ: 1.00.00

- ↓
3. 運用モードグループを選択します。  
運用モードグループ番号(1～32)を入力 運用モードグループ (1-32)  後、右側の 🔍 をクリックします。
  - または  
運用モードグループ番号右の → または、 ← をクリックして運用モードグループ番号を変更します。
  - ↓



↓

4. 設定する特定日を表示させる。

運用モードグループ番号下部の「月日」部の窓 運用モードグループ (1-32)  に、MM/DD (MM は月 : 01 ~12。DD は日 : 01~31) を入力し、右側の  をクリックします。

(設定した月日が左上に表示され、それ以降 30 日分を同時表示)

または




「月日」右の  または、 をクリックして「月日」を変更します。

↓


5. 特定日部のパターン窓に適用する時間割パターン番号(1~10)を入力します。

↓


6. 他の特定日への設定を行う場合、4. から 5. の設定を繰り返し行う、他の運用モードグループの設定を行う場合は、3. から 5. の設定を繰り返し行います。

(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)

↓

7. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。

↓

8.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ DISA ユーザーID 設定

外出先などから DISA 回線へ発信を行った時にシステムが利用者を限定するために使用するユーザーID(最大 15 種)を設定します。

DISA ユーザーID を使用して利用者を特定するには、工事段階での設定が必要です。詳しくは、販売店にご確認ください。

### 設定手順：

1. ホーム画面にて“DISA ユーザーID 設定”をクリックします。



DISAユーザ	パスワード	DISAユーザ	パスワード	DISAユーザ	パスワード
01	<input type="text"/>	06	<input type="text"/>	11	<input type="text"/>
02	<input type="text"/>	07	<input type="text"/>	12	<input type="text"/>
03	<input type="text"/>	08	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>
04	<input type="text"/>	09	<input type="text"/>	14	<input type="text"/>
05	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>	15	<input type="text"/>


6桁設定しなければなりません。設定データは、0-9,\*,#  
このプログラムは、DISAのユーザID設定します。

ユーザ: USER1 | アクセスレベル: ユーザID? 3桁1 (UA) | Webプログラミング 1.00.00




2. DISA ユーザー番号毎にパスワード（6桁固定のダイヤル<0~9、\*、#>）を入力します。



3. 設定が終了したら、 をクリックして設定内容を登録します。



4.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ メールボックス番号設定

ボイスメールのボックス番号とパスワードを設定します。

メールボックス番号は、最大 8 桁の任意のダイヤル(0~9、\*)を登録します。通常は、使用中の電話機または仮想内線の内線番号と同じ番号をメールボックス番号として設定します。

パスワードは、4 桁固定のダイヤル(0~9、\*、#)を設定します。パスワードなし(ブランク)とした場合、メールボックス番号のダイヤルだけでメールボックスを操作できます。

960 個(001~960)のメッセージボックスを設定できます。

**注意:** メールボックス番号に「#」が含まれる場合、正しく動作しません。

### 設定手順:

1. ホーム画面で、“メールボックス番号設定”をクリックします。



メッセージボックス	メールボックス番号	パスワード	メッセージボックス	メールボックス番号	パスワード
001	<input type="text"/>	<input type="text"/>	011	<input type="text"/>	<input type="text"/>
002	<input type="text"/>	<input type="text"/>	012	<input type="text"/>	<input type="text"/>
003	<input type="text"/>	<input type="text"/>	013	<input type="text"/>	<input type="text"/>
004	<input type="text"/>	<input type="text"/>	014	<input type="text"/>	<input type="text"/>
005	<input type="text"/>	<input type="text"/>	015	<input type="text"/>	<input type="text"/>
006	<input type="text"/>	<input type="text"/>	016	<input type="text"/>	<input type="text"/>
007	<input type="text"/>	<input type="text"/>	017	<input type="text"/>	<input type="text"/>
008	<input type="text"/>	<input type="text"/>	018	<input type="text"/>	<input type="text"/>
009	<input type="text"/>	<input type="text"/>	019	<input type="text"/>	<input type="text"/>
010	<input type="text"/>	<input type="text"/>	020	<input type="text"/>	<input type="text"/>



2. 設定するメッセージボックス番号を表示させる。

右上のメッセージボックス番号部  を入力し、右側の をクリックして表示範囲を変更します。入力した番号が最上部に表示されそれ以降 20 ボックス番号が表示されます。

または

メッセージボックス番号右の または、 をクリックして表示範囲を変更します。



3. メールボックス番号(最大 8 桁の任意のダイヤル<0~9、\*>)およびパスワード(4 桁固定のダイヤル<0~9、\*>)を入力します。



4. 続けて他のメッセージボックス番号に対して設定を行う場合は、2. から 3. を繰り返し行います。  
(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6. をクリックしてホーム画面に戻ります。



## ■ Eメール通知設定

ボイスメールのメールボックスにメッセージが登録された場合、あらかじめ設定されたメールアドレスに自動的にEメールを送信することができます。また、2分未満のメッセージの場合は、Eメールに音声ファイル(WAV) ファイルを添付することができます。

設定は、メッセージボックス(001~960)に対して行います。

### □ Eメール通知設定

該当のメッセージボックス(001~960)ごとに、Eメール通知の有無を設定します。Eメール通知を行う場合、チェックボックスにチェックをつけます。

#### 設定手順：

1. ホーム画面にて“Eメール通知設定”をクリックします。



2. メッセージボックス(001~960)を選択します。

画面右上のメッセージボックス(001~960)を入力  後、右側の をクリックします。

または

メッセージボックス番号右の または、 をクリックしてメッセージボックス番号を変更します。



3. Eメール通知を行う場合、チェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

Eメール通知を行わない場合、チェックボックスをクリックしてチェックを外します(チェック無しの状態にします)。



4. 引き続き他のメッセージボックスにEメール通知設定をする場合は、2. から3. を繰り返し行います。

(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6. をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ E メールアドレス

該当のメッセージボックス（001～960）ごとに、Eメール通知する場合の通知先Eメールアドレスを半角48文字以内で設定します。

### 設定手順：

1. ホーム画面にて“Eメール通知設定”をクリックします。



2. メッセージボックス（001～960）を選択します。

画面右上のメッセージボックス（001～960）を入力  後、右側の 🔍 をクリックします。

または

メッセージボックス番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてメッセージボックス番号を変更します。




3. Eメール通知先のEメールアドレスを半角48文字以内で設定します。




4. 引き続き他のメッセージボックスにEメールアドレスを設定する場合は、2. から3. を繰り返します。

（ ➡ 、 ⬅ 、 🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。）



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6.  をクリックしてホーム画面に戻ります

## □ 音声ファイル添付

該当のメッセージボックス（001～960）ごとに、Eメール通知時に音声ファイル（WAV）を添付する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。

### 設定手順：

1. ホーム画面にて“Eメール通知設定”をクリックします。



2. メッセージボックス（001～960）を選択します。

画面右上のメッセージボックス（001～960）を入力  後、右側の をクリックします。

または

メッセージボックス番号右の または、 をクリックしてメッセージボックス番号を変更します。



3. 音声ファイル添付を行う場合、チェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

音声ファイル添付を行わない場合、チェックボックスをクリックしてチェックを外します（チェック無しの状態にします）。



4. 引き続き他のメッセージボックスに音声ファイル添付の設定をする場合は、2. から3. を繰り返していきます。

（、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。）



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6. をクリックしてホーム画面に戻ります

## ■ テキストメッセージ設定

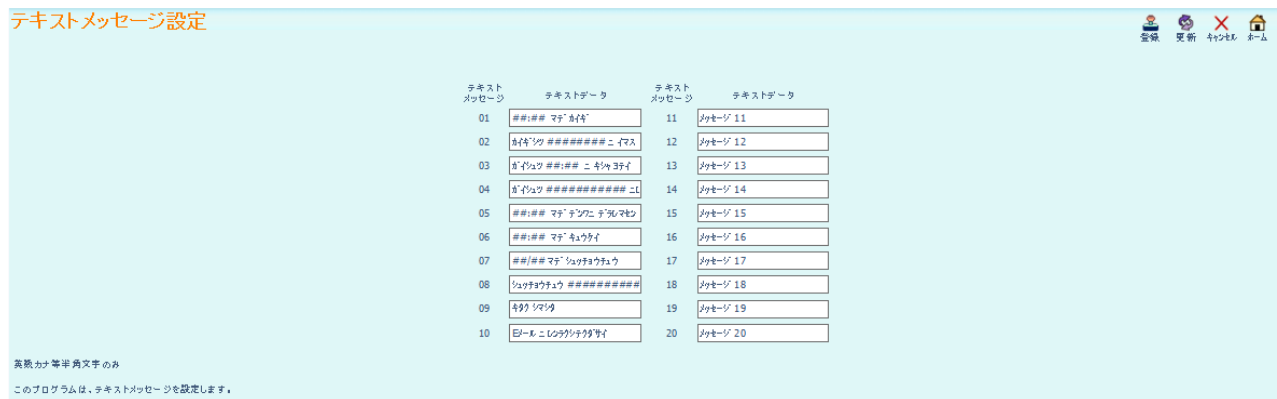
内線呼出を受けたときに、発信操作を行った電話機のディスプレイ上に表示するテキストメッセージ(01～20)を設定します。電話番号、日にち、時間など、テキストメッセージ設定者がその都度設定を行う部分は、#を入力します。電話機使用者がテキストメッセージ機能設定時、#部に文字数分の任意のダイヤル(0～9、\*、#)を入力することができます。テキストメッセージは、各メッセージ、半角カナ英数字最大24文字まで入力することができます。

例：

- 時刻部：##：## と入力します。  
24時間表示させたい場合、##：##の後に2文字分以上の空白を設けないでください。  
12時間表示(XX：XXAM、XX：XXPM)させたい場合、##：##の後に2文字分以上のスペースを設けてください。電話機での設定時は24時間にて入力しますが、自動的にAM/PMが付加され12時間表示となります。
- 日付部：##/## と入力します。
- 電話番号部：##### (入力を許可する桁数分の#を入力してください。)


### 設定手順：

1. ホーム画面にて“テキストメッセージ設定”をクリックします。




2. テキストメッセージ番号(01～20)毎に表示させるテキストメッセージ(最大24文字の半角カナ英数字)を編集します。



3. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



4.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ 外線一般着信時の鳴動電話機設定

システムに收容されている外線が、一般着信(NTTダイヤルイン、DID/DISA、DIL、専用線着信を除く)として着信する設定がなされている場合の、着信先電話機を設定します。本システムでは、外線を100の着信グループに分け、着信グループ毎の鳴動電話機(着信グループ毎に最大48台)を設定します。外線の着信形式、各外線がどの着信グループに分けられているかなどの詳細は、販売店にご確認ください。

ただし、着信グループメンバー33~48に割り当てられた内線が多機能電話機の場合は、着信時発信者番号を表示し応答ボタンが点滅してオフフックにて着信応答できますが、鳴動はしません。多機能電話機以外の内線は、着信グループメンバー33~48に割り当てても一般着信に鳴動します。(着信グループメンバー33~48に割り当てられたKPS(8PS)の場合は、鳴動か発信者番号表示のどちらかを工事段階で選択します。詳しくは、販売店にご相談ください。)

NTTダイヤルイン、DID/DISA、DILなどの不応答転送先を一般着信グループに設定することができます。これらの転送先の設定に関しても、販売店にご確認ください。

一般着信鳴動の設定がされている場合、着信時応答ボタンが点滅します。合わせて鳴動音を消す設定がされている場合、応答ボタンは点滅しても音が鳴りません。応答ボタンが点滅するのに音がならない電話機を鳴動させたい場合は、販売店にご相談ください。

### 設定手順：

1. ホーム画面にて“外線一般着信時の鳴動電話機設定”をクリックします。



外線一般着信時の鳴動電話機設定

登録 更新 キャンセル ホーム

着信グループ (1-100)  🔍 ⬅️ ➡️

着信鳴動 グループメンバー (1-48)  🔍 ⬅️ ➡️

着信鳴動 グループメンバー	内線番号	着信鳴動 グループメンバー	内線番号	着信鳴動 グループメンバー	内線番号	着信鳴動 グループメンバー	内線番号
01	<input type="text" value="100"/>	09	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>	25	<input type="text"/>
02	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>	18	<input type="text"/>	26	<input type="text"/>
03	<input type="text"/>	11	<input type="text"/>	19	<input type="text"/>	27	<input type="text"/>
04	<input type="text"/>	12	<input type="text"/>	20	<input type="text"/>	28	<input type="text"/>
05	<input type="text"/>	13	<input type="text"/>	21	<input type="text"/>	29	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	14	<input type="text"/>	22	<input type="text"/>	30	<input type="text"/>
07	<input type="text"/>	15	<input type="text"/>	23	<input type="text"/>	31	<input type="text"/>
08	<input type="text"/>	16	<input type="text"/>	24	<input type="text"/>	32	<input type="text"/>

PRG1-02.11-04を設定した内線番号を設定してください  
有効な内線番号: 100, 200, 300, 400, 500, 600, 700

このプログラムは、着信グループを設定します。それぞれの着信グループは最大48内線番号(電話機または仮想内線)を設定可能です。未設定は、着信タイプが一般着信時の鳴動電話機を設定します。



2. 着信グループを選択します。

画面右上の着信グループ番号(1~100)を入力 **着信グループ (1-100) 1** 後、右側の 🔍 をクリックします。

または


着信グループ番号右の ➡️ または、⬅️ をクリックして着信グループ番号を変更します。





3. 鳴動させる電話機の内線番号(最大8桁)を、着信鳴動グループメンバー番号01から順に入力します。






↓

4. 内線番号を登録または変更する着信グループメンバー番号が表示されるよう、表示範囲を切り替えま  
す。画面右上の着信鳴動グループメンバー番号(1~48)を入力 着信鳴動 グループメンバー (1-48)  後、  
右側の  をクリックします。


または

着信鳴動グループメンバー番号右の  または、 をクリックして着信鳴動グループメンバー番号  
を変更します。


↓

5. 引き続き他の着信グループの鳴動電話機を設定する場合は、2. から4. を繰り返し行います。  
(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)

↓

6. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。

↓

7.  をクリックしてホーム画面に戻ります

## ■ 短縮ダイヤルデータと名称設定

共通／グループ短縮ダイヤルのデータ関連の設定をします。システム全体で 10,000 個(0000～9999)の短縮ダイヤルエリアがあります。短縮ダイヤルには、システム全体で使用する共通短縮ダイヤルと、内線を短縮ダイヤルグループ(1～64)に分け、短縮ダイヤルグループ毎に使用するグループ短縮ダイヤルがあります。10,000 個の短縮ダイヤルエリアは、共通短縮ダイヤル、各グループ短縮ダイヤルに分けて使用されます。

短縮ダイヤルエリアと共通短縮ダイヤルおよび各グループ短縮ダイヤルの相関については、販売店にご確認ください。

### 注意：

- ・ 名前検索を行う場合は、カナ名称を登録してください。  
カナ名称は、漢字電話機、カナ表示電話機の両方に表示可能です。ただし、カナ名称と漢字名称の両方が登録されている場合、漢字電話機には漢字名称が優先的に表示されます。

ここでは、短縮ダイヤルの設定と合わせて「識別着信」、「短縮ダイヤル付加情報表示」、「ボイスメールの発信者番号認証によるログイン」を設定できます。

#### ●短縮ダイヤル関連で設定できる内容

##### □短縮ダイヤル

- ・ 短縮の「ダイヤルデータ」
- ・ 短縮ダイヤルの「漢字名称」と「カナ名称」

##### □識別着信

- ・ 識別着信の「転送モード」
- ・ 識別着信の「着信先番号または着信」グループ番号
- ・ 識別着信時の「着信音パターン」

##### □共通短縮付加情報表示

- ・ 「付加情報 1」
- ・ 「付加情報 2」
- ・ 「付加情報 3」

##### □ボイスメールの発信者番号認証によるログイン

- ・ 発信者番号認証時のログイン先「メッセージボックス番号」

##### □発信者番号毎の大型ランプイルミネーション設定

- ・ 発信者番号認証時の「大型ランプイルミネーション設定（発信者番号毎）」

## “短縮ダイヤルデータと名称設定”画面の全体イメージ

**短縮ダイヤルデータと名称設定**

登録 更新 キャンセル ホーム

短縮番号 (0-9999) 0 🔍 ⬅️ ➡️

ダイヤルデータ

短縮番号	ダイヤルデータ	漢字名称	カナ名称	転送モード	着信先番号または着信	着信音パターン
0000	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0001	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0002	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0003	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0004	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0005	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0006	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0007	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0008	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0009	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0

設定データを次の範囲内して下さい。0～13

このプログラムは、短縮ダイヤルエリア番号毎に電話番号を登録し、短縮ダイヤル名称を設定します。

○ 転送モードは識別する番号の種類を指定します。

ユーザー: USER1 | アクセスレベル: コーポ07 | ログアウト | Webプログラム: 1.00.00

**短縮ダイヤルデータと名称設定**

登録 更新 キャンセル ホーム

短縮番号 (0-9999) 0 🔍 ⬅️ ➡️

付加情報1

短縮番号	付加情報1	付加情報2	付加情報3	メッセージボックス番号	大型ランプ イルミネーション設定 (発信者番号毎)
0000	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0001	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0002	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0003	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0004	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0005	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0006	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0007	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0008	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0009	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし

このプログラムは、短縮ダイヤルエリア番号毎に電話番号を登録し、短縮ダイヤル名称を設定します。

○ 転送モードは識別する番号の種類を指定します。

画面右上に表示されるプルダウン選択部にて、表示範囲を選択します。

### □ 短縮ダイヤル

機能概要は、上記を参照してください。

#### 設定手順：


1. ホーム画面で、“短縮ダイヤルデータと名称設定”をクリックします。





## 短縮ダイヤルデータと名称設定





2. 画面右上のプルダウン選択部  に“ダイヤルデータ”が選択されていることを確認します。“ダイヤルデータ”以外が表示されている場合、“ダイヤルデータ”を選択します。



3. 設定する短縮ダイヤルエリア番号を表示させる。

画面右上の短縮ダイヤルエリア番号部の窓  に表示させたいエリア番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。




または

画面右上の短縮ダイヤルエリア番号右の  または、 をクリックして表示範囲を変更します。




4. ダイヤルデータ (最大 24 桁のダイヤル<0~9、\*、#、P=ポーズ、R=フラッシュ、@=応答待ちコード (ISDN 回線用)>)、漢字名称 (全角文字、最大 12 文字)、カナ電話機名称 (半角英数加、最大 12 文字) を入力します。ただし、AX モバイルリンク電話機の電話番号を設定する場合は、電話番号の最後に「#」を入力しないでください。




5. 続けて他の短縮ダイヤルエリアの編集を行う場合は、3. から、4. を繰り返し行います。  
(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



6. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ 識別着信

外線着信時の発信者番号と共通短縮ダイヤルテーブルに登録された電話番号が一致した場合に、内線/仮想内線または着信グループを指定して着信させることができ、かつ着信時の着信音パターンを設定できます。仮想内線の割付、着信グループごとの鳴動内線の設定、着信音パターンの詳細については、販売店にご確認ください。

## 設定手順：

1. ホーム画面で、“短縮ダイヤルデータと名称設定” をクリックします。



短縮ダイヤルデータと名称設定

短縮番号 (0-9999)

ダイヤルデータ

短縮番号	ダイヤルデータ	漢字名称	カナ名称	転送モード	着信先番号または着信	着信音パターン
0000	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0001	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0002	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0003	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0004	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0005	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0006	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0007	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0008	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0
0009	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし	<input type="text"/>	0

このプログラムは、短縮ダイヤルエリア番号毎に電話番号を登録し、短縮ダイヤル名称を設定します。  
 転送モードは識別する番号の種別を指定します。



2. 画面右上のプルダウン選択部  に“ダイヤルデータ”が選択されていることを確認します。表示されていない場合、“ダイヤルデータ”を選択します。



3. 設定する短縮ダイヤルエリア番号を表示させる。

画面右上の短縮ダイヤルエリア番号部の窓  に表示させたいエリア番号を入力し、右側の をクリックして表示範囲を変更します。

または

画面右上の短縮ダイヤルエリア番号右の または、 をクリックして表示範囲を変更します。



4. 転送モードのプルダウン選択部  の▼をクリックしてプルダウンメニューを開き、“内線ダイヤル”または“着信グループ”を選択します。識別着信機能を使用しない場合は、“識別着信なし”を選択します。



5. 手順4にて“内線ダイヤル”を選択した場合は、“着信先または着信”の枠に識別着信の着信先内線番号を入力します。

手順4にて“着信グループ”を選択した場合は、“着信先または着信”の枠に着信グループ番号（1～100）を入力します。



6. “着信音パターン”の枠に、識別着信時の着信音パターン番号（0～9）を入力します。

着信音パターン 0～9 は次に対応しています。0：通常着信音、1：トーンパターン1、2：トーンパターン2、3：トーンパターン3、4：トーンパターン4、5：音階着信音1、6：音階着信音2、7：音階着信音3、8：音階着信音4、9：音階着信音5



7. 続けて他の短縮ダイヤルエリアの編集を行う場合は、3. から、6. を繰り返して行います。

（、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。）



8. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



9. をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ 共通短縮付加情報表示

外線着信時の発信者番号と共通短縮ダイヤルテーブルに登録された電話番号が一致した場合に表示させる共通短縮付加情報表示の内容を登録/変更できます。

共通短縮付加情報表示例：

日本電気株式会社
住所：東京都港区芝 00-00-00
登録日：2018年 8月 1日

← “付加情報 1” の登録内容

← “付加情報 2” の登録内容

← “付加情報 3” の登録内容

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“短縮ダイヤルデータと名称設定” をクリックします。



短縮ダイヤルデータと名称設定

短縮番号 (0-9999)

ダイヤルデータ

短縮番号	ダイヤルデータ	漢字名称	カナ名称	転送モード	着信先番号または着信	着信音パターン
0000	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0001	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0002	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0003	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0004	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0005	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0006	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0007	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0008	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0
0009	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別登録なし	<input type="text"/>	0

このプログラムは、短縮ダイヤルエリア番号毎に電話番号を登録し、短縮ダイヤル名称を設定します。

転送モードは識別する番号の種別を指定します。



2. 画面右上のプルダウン選択部右の▼をクリックしてプルダウンを開き、“付加情報 1” を選択します。

付加情報 1 ▼

- ダイヤルデータ
- 漢字名称
- カナ名称
- 転送モード
- 着信先番号または着信
- 着信音パターン
- 付加情報 1**
- 付加情報 2
- 付加情報 3
- メッセージボックス番号
- 大型ランプイイルミネーション設定(発信者番号毎)



短縮ダイヤルデータと名称設定









短縮番号 (0-9999)

付加情報 1

短縮番号	付加情報 1	付加情報 2	付加情報 3	メッセージボックス番号	大型ランプイイルミネーション設定 (発信者番号毎)
0000	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0001	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0002	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0003	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0004	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0005	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0006	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0007	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0008	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし
0009	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	設定なし

このプログラムは、短縮ダイヤルエリア番号毎に電話番号を登録し、短縮ダイヤル名称を設定します。

転送モードは識別する番号の種別を指定します。

- ↓
- 設定する短縮ダイヤルエリア番号を表示させる。  
画面右上の短縮ダイヤルエリア番号部の窓 **短縮番号 (0-9999)**  に表示させたいエリア番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。  
または  
画面右上の短縮ダイヤルエリア番号右の  または、 をクリックして表示範囲を変更します。
  - “付加情報 1”、“付加情報 2”、“付加情報 3” に、共通短縮ダイヤル付加情報表示として多機能電話機の表示機に表示させる情報（全角 14 文字または半角 28 文字）を入力します。
  - 続けて他の短縮ダイヤルエリアの編集を行う場合は、3. から、4. を繰り返し行います。  
（、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。）
  - 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。
  -  をクリックしてホーム画面に戻ります。

#### □ ボイスメールの発信者番号認証によるログイン

外線からボイスメールにアクセスする際に、発信者番号と共通短縮ダイヤルテーブルに登録された電話番号が一致した場合に、ログイン時に必要なメッセージボックス番号とパスワードの入力を省略することができます。この場合にログインするメッセージボックス番号を指定します。メッセージボックス番号の割付内容については、販売店にご確認ください。

#### 設定手順：

- ホーム画面で、“短縮ダイヤルデータと名称設定” をクリックします。

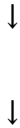
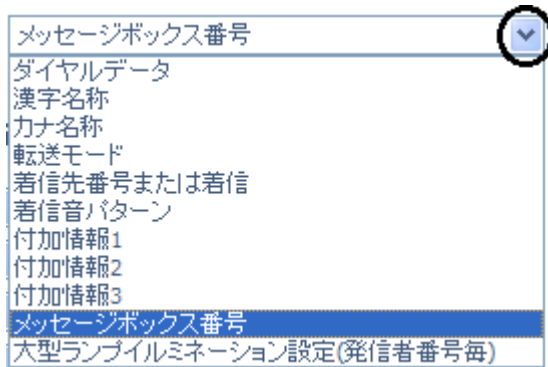
#### 短縮ダイヤルデータと名称設定



短縮番号	ダイヤルデータ	漢字名称	カナ名称	転送モード	発信先番号または着信	着信音バリエーション
0000				識別登録なし		0
0001				識別登録なし		0
0002				識別登録なし		0
0003				識別登録なし		0
0004				識別登録なし		0
0005				識別登録なし		0
0006				識別登録なし		0
0007				識別登録なし		0
0008				識別登録なし		0
0009				識別登録なし		0

このプログラムは、短縮ダイヤルエリア番号毎に電話番号を登録し、短縮ダイヤル名称を設定します。  
○ 転送モードは 識別する番号の種別を指定します。

- ↓
- 画面右上のプルダウン選択部右の▼をクリックしてプルダウンを開き、“メッセージボックス番号”を選択します。



3. 設定する短縮ダイヤルエリア番号を表示させる。

画面右上の短縮ダイヤルエリア番号部の窓 **短縮番号 (0-9999)**  に表示させたいエリア番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

画面右上の短縮ダイヤルエリア番号右の ➡ または、⬅ をクリックして表示範囲を変更します。



4. “メッセージボックス番号” に、発信者番号認証によりログインするメッセージボックス番号 (1~960) を入力します。メッセージ番号の設定状況については、販売店にお問い合わせください。



5. 続けて他の短縮ダイヤルエリアの編集を行う場合は、3. から、4. を繰り返し行います。

(➡、⬅、🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



6. 設定が終了した場合、📌 をクリックして表示中の設定を登録します。



7. 🏠 をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ 発信者番号毎の大型ランプイルミネーション設定

外線着信時の発信者番号が共通短縮ダイヤルに登録の番号と合致した場合に、着信を受けた多機能電話機の大型ランプを何色で表示させるかを設定します。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“短縮ダイヤルデータと名称設定” をクリックします。



短縮ダイヤルデータと名称設定

登録 更新 キャンセル ホーム

短縮番号 (0-9999)  🔍 ⬅ ➡

ダイヤルデータ

短縮番号	ダイヤルデータ	漢字名称	カナ名称	転送モード	着信先番号または着信	着信音パターン
0000	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0001	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0002	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0003	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0004	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0005	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0006	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0007	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0008	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0
0009	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	識別着信なし ▼	<input type="text"/>	0

このプログラムは、短縮ダイヤルエリア番号毎に電話番号を登録し、短縮ダイヤル名称を設定します。

○ 転送モードは識別する番号の種類を指定します。



2. 画面右上のプルダウン選択部右の▼をクリックしてプルダウンを開き、“大型ランプイルミネーション設定（発信者番号毎）” を選択します。

大型ランプイルミネーション設定(発信者番号毎) ▼

- ダイヤルデータ
- 漢字名称
- カナ名称
- 転送モード
- 着信先番号または着信
- 着信音パターン
- 付加情報1
- 付加情報2
- 付加情報3
- メッセージボックス番号
- 大型ランプイルミネーション設定(発信者番号毎)



短縮ダイヤルデータと名称設定

登録 更新 キャンセル ホーム

短縮番号 (0-9999)  🔍 ⬅ ➡

大型ランプイルミネーション設定(発信者番号毎)

短縮番号	設定
0000	設定なし ▼
0001	設定なし ▼
0002	設定なし ▼
0003	設定なし ▼
0004	設定なし ▼
0005	設定なし ▼
0006	設定なし ▼
0007	設定なし ▼
0008	設定なし ▼
0009	設定なし ▼


このプログラムは、短縮ダイヤルエリア番号毎に電話番号を登録し、短縮ダイヤル名称を設定します。

○ 転送モードは識別する番号の種類を指定します。








3. 設定する短縮ダイヤルエリア番号を表示させる。

画面右上の短縮ダイヤルエリア番号部の窓 **短縮番号 (0-9999)**  に表示させたいエリア番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。

または




画面右上の短縮ダイヤルエリア番号右の  または、 をクリックして表示範囲を変更します。




4. “大型ランプイルミネーション設定（発信者番号毎）”部右端の **設定なし**  をクリックしてプルダウンを開き、発行色を選択します。「設定なし」を選択した場合は、外線ポートごとの設定に従います（初期値：赤）。




5. 続けて他の短縮ダイヤルエリアの編集を行う場合は、3. から、4. を繰り返し行います。

（、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。）



6. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ 手動運用モード切替設定

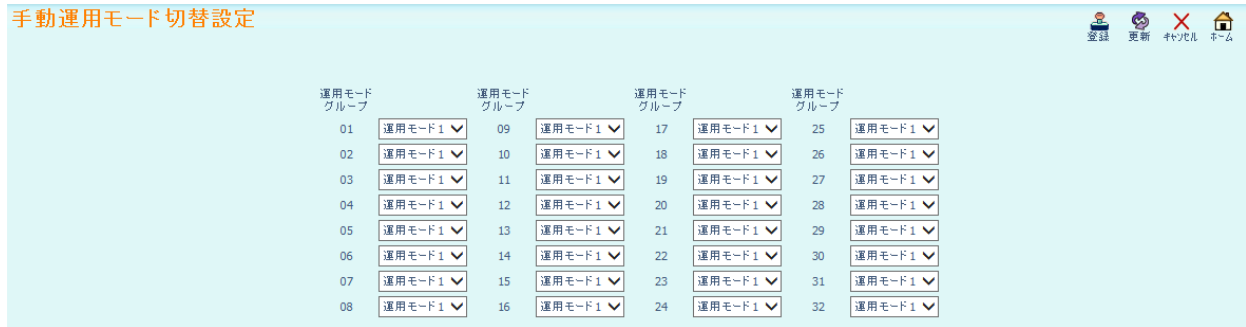
各運用モードグループ(1~32)の運用モード(1~8)を切替えます。


### 注意：

システムの設定にて手動運用モード切替を規制することができます。手動運用モード切替が規制されている場合、手動運用モード切替設定ができません。詳しくは、販売店にご確認ください。

### 設定手順：

1. ホーム画面にて“手動運用モード切替設定をクリックします。




2. 目的の運用モードグループ番号に対応したスクロールバー右端の  をクリックしてスクロールバーを開きます。




3. 設定したい運用モード番号をクリックします。(例：運用モード2)




4. 選択した運用モード番号が表示されたことを確認します。例： 運用モード2



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6.  をクリックしてホーム画面に戻ります。



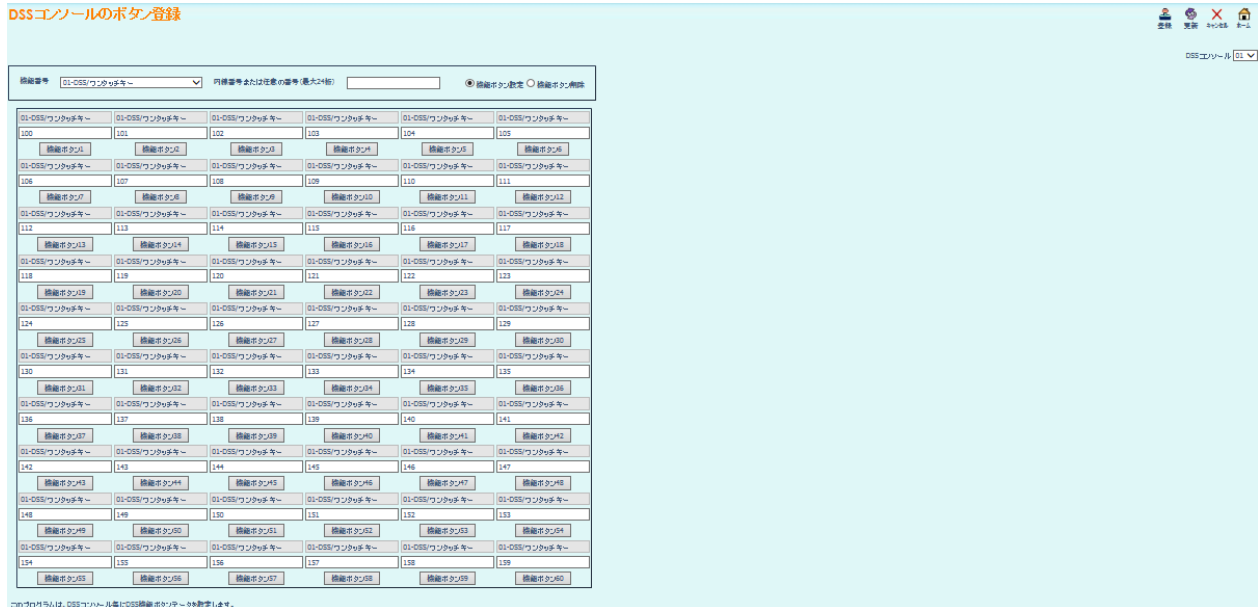
## ■ DSS コンソールのボタン登録

システムに収容されている DSS コンソールのボタンに機能を割り付けます。最大 32 台の DSS コンソールを収容可能です。DSS コンソールには、60 個のボタンがあり、全てのボタンに 1 つの機能を割り付けることができます。

DSS コンソール番号およびボタン番号を指定して、機能を割り付けます。DSS コンソールの DSS コンソール番号については、販売店にご確認ください。

設定手順：

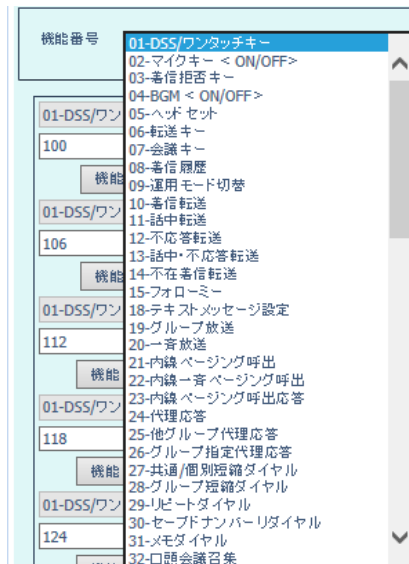
1. ホーム画面にて“DSS コンソールボタン登録”をクリックします。








2. DSS コンソールの窓枠右端 **DSSコンソール** **01** をクリックしてスクロールバーを開き、目的の DSS コンソール番号（1～32）を選択します。



3. 窓枠内右端の▼をクリックして機能番号のリストを表示し、選択します。



- ↓
4. 各機能番号に対応した付加データを 内線番号または任意の番号(最大24桁) に入力します。
  - ↓
  5. 目的のDSS ボタン 機能ボタン1 をクリックし、3. と4. のデータを登録します。
  - ↓
  6. 他のDSS ボタンを設定する場合は、3. から5. を続けて行います。  
(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)
  - ↓
  7. 他のDSS コンソールの設定を行う場合は、2. から6. を続けて行います。
  - ↓
  8. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。
  - ↓
  9.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ ドアホン鳴動電話機設定

ドアホン(1~8)毎、運用モード(1~8)毎に鳴動電話機(最大32台)の内線番号を登録します。

設定手順：

1. ホーム画面にて、“ドアホン鳴動電話機設定”をクリックします。



2. ドアホン番号を設定します。

画面右上のドアホン番号(1~8)を入力 **ドアホン (1-8)**  後、右側の 🔍 をクリックします。

または

ドアホン番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてドアホン番号を変更します。



3. 運用モードを設定します。

画面右上の運用モード窓枠右端の **運用モード**  をクリックしてスクロールバーを開きます。



4. 設定したい運用モード番号をクリックします。(例：モード2)



5. 選択した運用モード番号が表示されたことを確認します。例：



6. 目的のドアホン鳴動メンバー番号右の枠内に、鳴動させる電話機の内線番号を入力します。




7. 運用モードを変更してドアホン鳴動メンバーを設定する場合は、3. から4. を繰り返していきます。


ドアホンを変更してドアホン鳴動メンバーを設定する場合は、2. から4. を繰り返していきます。

( ➡ 、 ⬅ 、 🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



8. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



9.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ ACDスキルベース設定

ACD のログイン ID コード（最大 20 桁の数字）およびスキルテーブル番号（1～960、0：未設定）をログイン ID テーブル番号(1～960) 毎に設定します。ログイン ID コードの桁数は、システム共通で工事段階で設定します。詳しくは、販売店にご確認ください。ログイン ID コードは、ログイン ID テーブル全体で一意であり、他と重複しない値としてください。

### 設定手順：

#### □ ACD ログイン ID コード設定

1. ホーム画面で、“ACD スキルベース設定” をクリックします。



注意：ACD ライセンスが有効となっていない場合は、**ライセンスが登録されていません。**と表示され、ACD スキルベース設定ができません。ライセンスを有効としてください。



2. 設定するログイン ID テーブル番号を選択します。

画面右上のログイン ID テーブル番号部の窓 **ログインIDテーブル (1-960) 1** に表示させたいログイン ID テーブル番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

ログイン ID テーブル番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてログイン ID テーブル番号を変更します。




3. ログイン ID コード（最大 20 桁の数字。桁数は、工事段階で設定します。）、スキルテーブル番号（1～960、0：未設定）を入力します。




4. 続けて他のログイン ID コード、スキルテーブル番号の編集を行う場合は、2. から 3. を繰り返し行います。

（➡、⬅、🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。）



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ ACD スキルテーブル設定

スキルレベル(1~7。1が最上位)をスキルテーブル番号(1~960)毎、ACDグループ番号(1~64)毎に設定します。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“ACDスキルベース設定”をクリックします。



注意：ACDライセンスが有効となっていない場合は、**ライセンスが登録されていません。**

と表示され、ACDスキルテーブル設定ができません。ライセンスを有効としてください。



2. ログインIDテーブル番号を選択します。

画面右上のログインIDテーブル番号部の窓 **ログインIDテーブル (1-960)**  に表示させたいログインIDテーブル番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

ログインIDテーブル番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてログインIDテーブル番号を変更します。



3. 目的のログインIDテーブル番号のスキルテーブル番号部右の ✕ をクリックします。

この場合、該当のスキルテーブル番号のACDスキルテーブル設定画面が表示されます。

注意：クリックした ✕ の左のスキルテーブル番号に“0”が設定されている場合、ACDスキルテーブル設定画面は表示されません。スキルテーブル番号(1~960)を入力後に再度 ✕ をクリックしてください。





4. スキルレベル(1~7。1が最上位)を ACD グループ番号(1~64)毎に設定します。

34 以降の ACD グループ番号に対して設定する場合は、画面右上の ACDグループ (1-64)  に表示させたい ACD グループ番号を入力し右側の 🔍 をクリックする、または、ACD グループ(1-64)右の ➡ または、⬅ をクリックして ACD グループ番号の表示範囲を変更します。



5. 続けて他のスキルテーブルの設定を行う場合は、設定するスキルテーブル番号を表示させます。

画面右上のスキルテーブル番号部の窓スキルテーブル (1-960)  に表示させたいスキルテーブル番号を入力し、右の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

スキルテーブル番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてスキルテーブル番号を変更します。




6. スキルレベル(1~7。1が最上位)を ACD グループ番号(1~64)毎に設定します。

34 以降の ACD グループ番号に対して設定する場合は、画面右上の ACDグループ (1-64)  に表示させたい ACD グループ番号を入力し右側の 🔍 をクリックする、または、ACD グループ(1-64)右の ➡ または、⬅ をクリックして ACD グループ番号の表示範囲を変更します。




7. 必要に応じて、5. から 6. を繰り返し行います。



8. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



9.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ KDDI 内線 C メールメッセージ設定

KDDI ビジネスコールダイレクト回線を IP フォンまたは光ダイレクト收容した場合でかつ内線 C メール機能関連契約がある場合に、システムから KDDI ビジネスコールダイレクト契約の携帯電話に内線 C メールを送信することができます。内線 Cメールの送信はあらかじめ設定されたメッセージを、多機能電話機のファンクションボタン（機能番号：#05、付加番号：メッセージパターン番号 001～100）操作または、外部装置からシステムへの接点操作にて行います。

ここでは、内線 Cメールで通知するメッセージをあらかじめ設定しておきます。


### 設定手順：

1. ホーム画面にて“内線 Cメールメッセージ設定”をクリックします。




2. メッセージ番号 (01～10) 毎に内線 Cメールとして送信するメッセージ (最大全角 50 文字または半角 100 文字) を編集します。



3. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



4.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定

ケータイ電話に送信する内線 C メールメッセージ番号 (01~10) と、内線 Cメールの送信先 (最大 11 桁。0~9 のダイヤル) をメッセージパターン番号 (001~100) ごとに設定します。送信先として、KDDI ビジネスコールダイレクトのアクセス番号 (事業所番号+内線番号) です。

### 設定手順 :

1. ホーム画面にて“KDDI 内線 C メールメッセージパターン設定”をクリックします。



メッセージパターン番号	メッセージ番号	送信先	メッセージパターン番号	メッセージ番号	送信先
001	0		011	0	
002	0		012	0	
003	0		013	0	
004	0		014	0	
005	0		015	0	
006	0		016	0	
007	0		017	0	
008	0		018	0	
009	0		019	0	
010	0		020	0	



2. メッセージパターン番号を選択します。

画面右上のメッセージパターン番号 (1~100) の窓  に表示させたいメッセージパターン番号を入力し、右側の をクリックして表示範囲を変更します。

または

メッセージパターン番号 (1~100) 右の または、 をクリックしてログイン ID テーブル番号を変更します。



3. メッセージ番号 (01~10)、送信先 (最大 11 桁。0~9 のダイヤル) を入力します。

メッセージ番号は、「KDDI 内線 C メールメッセージ設定」で設定されたメッセージに対応しています。送信先は、KDDI ビジネスコールダイレクトのアクセス番号 (事業所番号+内線番号) を設定します。



4. 続けて他のメッセージパターン番号について編集を行う場合は、2. から 3. を繰り返していきます。  
(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6. をクリックしてホーム画面に戻ります。



## ■ 電話機設定（内線番号設定）

電話機の内線番号を設定／変更します。内線番号は、内線ポート番号(1～960)に対して設定します。最大8桁のダイヤル(0～9、\*、#)が設定可能ですが、システムの設定により、設定可能範囲(ダイヤル)、桁数が異なります。内線として使用可能な範囲(ダイヤル)および桁数は、販売店にご確認ください。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“電話機設定” をクリックします。



2. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **内線ポート (1-960)**  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックして内線ポート番号を変更します。



3. 内線番号（最大8桁のダイヤル）を入力します。



4. 続けて他の内線番号の編集を行う場合は、2. から3. を繰り返し行います。

( ➡ 、 ⬅ 、 🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



5. 設定が終了した場合、📁 をクリックして表示中の設定を登録します。



7. 🏠 をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定（詳細設定）

電話機（内線番号）毎に各種機能設定を行います。電話機毎の設定画面移行後、該当電話機のディスプレイ上には、“ユーザプログラミングモード”と表示され、使用できなくなります。また、該当の電話機が使用中は、“他のユーザがログインしているか電話機が使用中であるため、内線‘XXX’はデータ変更することができません。”と表示され、設定画面に移行できません。

【注意】本画面に Internet Explorer でアクセスする際は、互換性表示設定を確認してからアクセスすることを推奨します。確認の方法は“第二章 インターネットブラウザの設定（電話機設定画面へのアクセス）”を参照してください。

### 設定手順：

1. ホーム画面で“電話機設定”をクリックします。



2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。



3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **内線ポート (1-960) 1** に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックして内線ポート番号を変更します。




4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定）の ✖ をクリックします。




5. 目的の項目を設定します。



6. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □ 電話機設定 < 機能設定 >

### □ カナ名称

該当電話機のカナ名称を設定します。カナ名称は、半角カナ英数字で最大 12 文字までの文字列を入力できます。内線発信や着信時や、着信転送設定時などに、相手電話機のディスプレイ上に表示されます。

DT400、DT900/D8700 など漢字表示電話機の場合でかつ、カナ名称と漢字名称の両方が登録されている場合、漢字名称が優先的に表示されます。

### □ 漢字名称

該当電話機の漢字名称を設定します。漢字名称は、全角で最大 6 文字までの文字列を入力できます。

内線発信や着信時や、着信転送設定時などに相手漢字電話機のディスプレイ上に表示されます。

【注意】カナ/漢字名称で「” (半角)」（ダブルクォーテーション）、または「| (半角)」（パイ）を使用した場合、DT900 多機能電話機の内線リストでは、半角空白文字に置換して表示されます。

### □ 着信転送 / 不応答転送 / 不在 (着信) 転送

着信転送、不応答転送、不在着信転送の 1 つを選択し、転送先を設定します。内線または外線個別着信を受けた場合、選択した転送方式に従って、設定した転送先に自動転送されます。

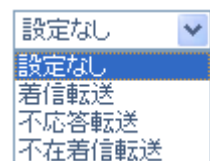
着信転送 : 着信が即時転送されます。設定した電話機は鳴動せず、転送先の電話機のみ鳴動します。

不応答転送 : 設定した時間内に応答しなかった場合、転送されます。設定した電話機は鳴動せず、転送先の電話機のみ鳴動します。

不在着信転送 : 着信が即時転送されます。設定した電話機と転送先の電話機の両方が鳴動します。

#### ・ 転送方式の選択

左側窓の右端にある▼部をクリックしスクロールバーを開き、目的の転送方式（着信転送、不応答転送、不在着信転送）をクリックし設定します。転送を中止する場合は、“設定なし”を選択します。



#### ・ 転送先の設定

右端の窓に、転送先の内線番号を入力します。

着信転送、不応答転送の場合、外線へ転送することができます。（不在着信転送は、外線へ転送することができません。）外線に転送する場合は、共通短縮ダイヤル特番（初期値：810）＋共通短縮番号（初期値：000～899）を“+”表記なしで続けて入力します。例；810000

## □ 話中転送

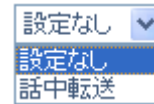


話中転送の設定／解除を行い、設定の場合転送先を設定します。通話中に内線または外線個別着信を受けた場合、選択した転送方式に従って、設定した転送先に自動転送されます。

話中転送：通話中に着信を受けた場合に転送されます。転送先の電話機のみ鳴動します。

### ・ 転送方式の選択

左側窓の右端にある▼部をクリックしスクロールバーを開き、“話中転送”をクリックし設定します。転送を止める場合は、“設定なし”を選択します。



### ・ 転送先の設定

右端の窓に、転送先の内線番号を入力します。

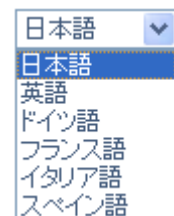
外線に転送する場合は、共通短縮ダイヤル特番（初期値：810）＋共通短縮番号（初期値：000～899）を+表記なしに続けて入力します。例；810000

## □ LCD 表示言語選択



LCD の表示言語を設定します。表示言語は、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語から選択できます。窓右端の▼部をクリックしスクロールバーを開き、目的の言語をクリックして設定します。

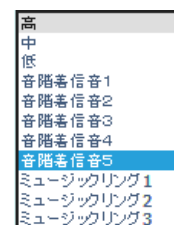
時計表示、発信／着信などの動作表示、ソフトキーの名称などが設定言語で表示されます。電話機名称、短縮ダイヤル名称、NTT ダイヤルインの呼番号名称などは、言語設定に関係なく登録内容が表示されます。



## □ 着信音色切替

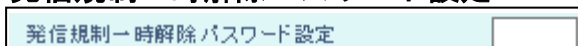


外線および内線着信時の音色を設定します。外線着信タイプ(周波数)または、内線着信タイプ(周波数)表示の右側にある窓の右端の▼部をクリックしスクロールバーを開き、目的の着信音色をクリックして設定します。着信音色は、高、中、低の3種類の音程と、音階着信音1～5、ミュージックリング1～3の計11種類の中から選択します。



(IP 多機能電話機 DT900 シリーズおよびデジタル多機能電話機 DT500/DT400 以外の場合、ミュージックリング1～3は設定しても有効になりません。)

## □ 発信規制一時解除パスワード設定



発信規制一時解除パスワード(4桁固定のダイヤル)を設定します。発信が規制されている番号に発信を行う場合、発信規制一時解除特番＋パスワードを入力して発信を行うことにより、一時的に発信規制を解除することができます。発信規制一時解除の使用可／不可は、工事で設定することができます。詳しくは販売店にご確認ください。

□ 手動運用モード切替（所属グループ）

手動運用モード切替(所属グループ) 運用モード1 ▼

該当電話機が所属する運用モードグループの運用モード状態を変更します。

表示中の運用モードが現在適用されている運用モードです。変更する場合は、窓右端の▼部をクリックしスクロールバーを開き、目的の運用モードをクリックして設定します。運用モードグループの範囲、各運用モードに対応した状態については、販売店にご確認ください。

運用モード1 ▼  
運用モード1  
運用モード2  
運用モード3  
運用モード4  
運用モード5  
運用モード6  
運用モード7  
運用モード8

□ ユーザープログラミング・プログラム用パスワード設定

ユーザプログラミング・プログラム用パスワード設定 1111

UB レベルのユーザプログラミング（ユーザプログラミング2）にログインする時のパスワード（最大4桁のダイヤル）を設定します。

□ テンキーバックライト点灯制御

テンキーバックライト点灯制御 通常輝度 ▼

テンキーバックライト点灯制御について設定します。

□ 履歴表示モード

履歴表示モード 3行表示 ▼

履歴を1画面に3件ずつ表示するか1件ずつ表示するかを設定します。表示中のモードが現在適用されている表示モードです。変更する場合は、窓右端の▼部をクリックしてリストを開き、選択を変更してください。

1行表示  
3行表示

□ 3行表示名称優先度

3行表示名称優先度 名称優先 ▼

上記履歴表示モードで3行表示を選択したときに、履歴に番号を優先して表示するか名称を優先して表示するかを設定します。表示中のモードが現在適用されている表示モードです。変更する場合は、窓右端の▼部をクリックしてリストを開き、選択を変更してください。

番号優先  
名称優先

□ 3行表示インデックス表示

3行表示インデックス設定 インデックス表示 ▼

上記履歴表示モードで3行表示を選択したときに、履歴の先頭にインデックス番号を表示するか着信種別を表示するかを設定します。表示中のモードが現在適用されている表示モードです。変更する場合は、窓右端の▼部をクリックしてリストを開き、選択を変更してください。

インデックス表示  
着信種別表示

## □ VM 新着時の大型ランプ表示

VM新着時の大型ランプ表示  ▼

新着のボイスメールが届いたときに、多機能電話機の大型ランプで知らせるかを設定します。  
変更する場合は、窓右端の▼部をクリックしてリストを開き、選択を変更してください。

## □ VM 新着時のアイコン表示

VM新着時のアイコン表示  ▼


新着のボイスメールが届いたときに、多機能電話機でアイコンを表示して知らせるかを設定します。  
変更する場合は、窓右端の▼部をクリックしてリストを開き、選択を変更してください。

## □ 画像登録




自分の情報として相手の電話機に表示される画像を登録します。

画像は、あらかじめ用意してください。登録できる画像は、JPEG (拡張子が .png/.PNG) ファイルのみです。  
アップロードした画像のサイズは、“縦 160 ピクセル×横 160 ピクセル” に自動的に調節されます。



画像を登録する場合は、参照ボタン  をクリックして、アップロードするファイルを選択し、“開く” をクリックします。アップロードボタン  をクリックするとアップロードできます。

アップロードが完了すると、「画像のアップロードが完了しました。」とメッセージが表示され、アイコンの画像が登録画像に変わります。

アップロードした画像を削除したい場合は  をクリックします。

使用している電話機にかかわらず、画像を登録することができます。

DT900 電話機(待ち受けモード:ポータル)を使用している場合、ショートカット画面に登録したユーザーの登録画像が表示されます。DT900 電話機をお使いの方は、DT900 電話機専用の取扱説明書も併せて参照してください。

続けて他の内線の画像登録を行う場合は、画面右上の  をクリックして電話機設定(内線番号設定)画面へ戻った後、次に設定を行いたい内線ポート番号(内線番号)右(詳細設定)の  をクリックして“**□電話機設定(詳細設定)**”の設定手順を繰り返し行います。

## □ 待ち受けモード

待ち受けモード  ▼

IP 多機能電話機(DT900 シリーズ)で、電話機が待機中のときの表示モードを設定します。  
変更する場合は、窓右端の▼部をクリックしてリストを開き、選択を変更してください。

## □電話機設定<個別短縮ダイヤルデータと名称設定>

電話機毎に設けられた 20 個の個別短縮ダイヤルのデータおよび名称(漢字名称、カナ名称)を設定します。個別短縮ダイヤルの使用可/不可をシステム全体で設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。個別短縮ダイヤルは、共通短縮ダイヤルと同様の手順にて行います。共通短縮ダイヤルが 100 件以下の場合、短縮ダイヤル番号 80~99 が個別短縮ダイヤルの 01~20 に対応します。共通短縮ダイヤルが 200 件以上の場合、短縮ダイヤルの 900~919 が個別短縮ダイヤルの 01~20 に対応します。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“電話機設定” をクリックします。



2. 電話機設定 (内線番号設定) 画面が表示されます。



3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 内線ポート (1-960)  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号 (内線番号) 右 (詳細設定部) の ✖ をクリックします。



5. 左上部のプルダウンから“個別短縮ダイヤルデータと名称設定”を選択します。



### 電話機設定

登録 更新 キャンセル ホーム

ページ












[表示 = 内線番号 100]

個別短縮エリア (1-20)  🔍 ⬅ ➡

個別短縮エリア	ダイヤルデータ	漢字名称	カナ名称
001	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
002	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
003	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
004	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
005	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
006	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
007	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
008	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
009	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
010	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

このプログラムは、電話機毎に個別短縮の電話番号を登録と名称を設定します。単独電話機の個別短縮20のエリアは転送機能を使用する場合に転送先のダイヤルデータを設定します。サービス特番により単独電話機の個別短縮ダイヤルデータ 01~20を発信することが可能です。



- ↓
6. 右上の個別短縮エリア番号表示    右の  または、 をクリックして個別短縮エリア番号 01～10 か、11～20 の表示を切替えます。  
(個別短縮エリア番号部右の窓に表示したい番号を入力し、 をクリックして表示範囲を変更することも可能です。)
  7. ダイヤルデータ (最大 24 桁のダイヤル<0～9、\*、#、P=ポーズ、R=フラッシュ、@=応答待ちコード (ISDN 回線用)>)、漢字名称 (全角カナ漢字、最大 12 文字)、名称 (半角英数カナ、最大 12 文字) を入力します。
  8. 続けて他の個別短縮ダイヤルエリアの編集を行う場合は、6. から、7. を繰り返し行います。  
(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)
  9. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。
  10.  をクリックしてホーム画面に戻ります。



## □電話機設定<機能ボタン割付>

ファンクションボタン（機能ボタン）への機能割付けを行います。

（取扱説明書のファンクションボタンの機能番号一覧を参照してください。）

### 設定手順：


1. ホーム画面で、“電話機設定” をクリックします。





2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。




3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **内線ポート (1-960)**  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。

または

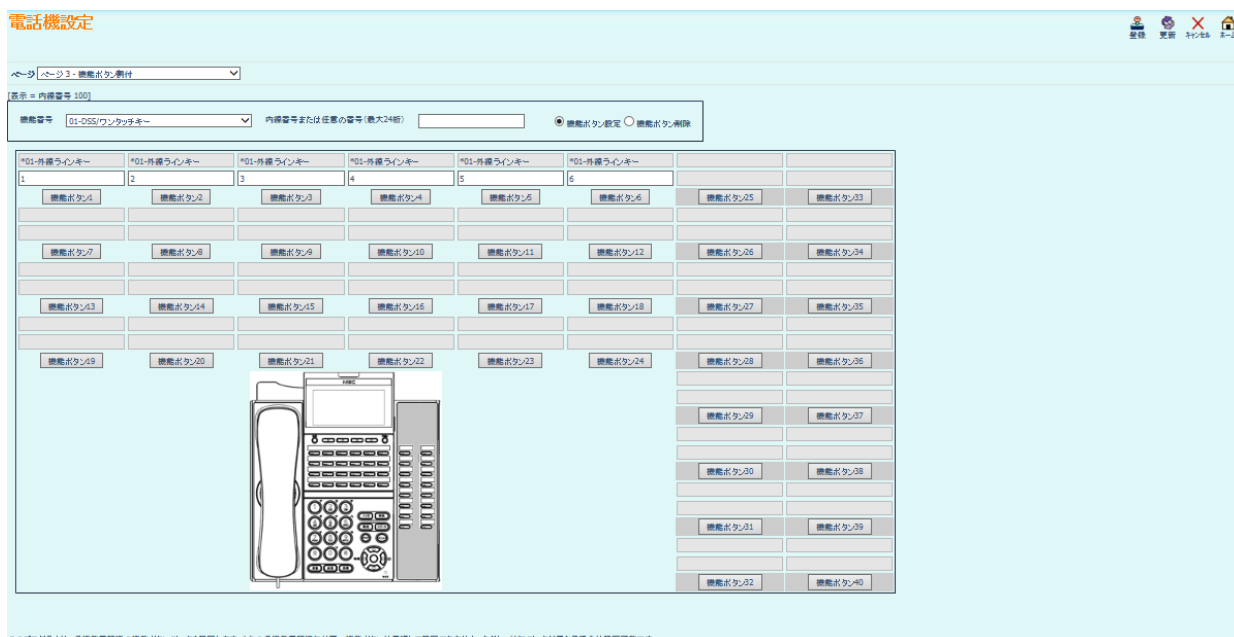
内線ポート番号右の  または、 をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の  をクリックします。

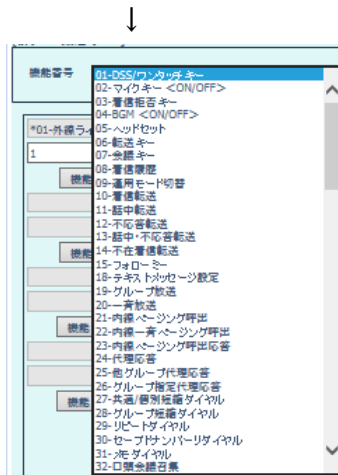


5. 左上部のプルダウンから“機能ボタン割付”を選択します。



6. 窓枠内右端の▼をクリックして機能番号のリストを表示し、選択します。









7. 各機能番号に対応した付加データを入力します。


内線番号または任意の番号(最大24桁)

8. 目的のDSSボタン **機能ボタン1** をクリックし、6. と7. のデータを登録します。

9. 他のDSSボタンを設定する場合は、6. から8. を続けて行います。

(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)

10. 設定が終了した場合  をクリックして表示中の設定を登録します。

11.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定<多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定>

ファンクションボタン（機能ボタン）への機能割付けを行います。

設定手順：

1. ホーム画面で、“電話機設定”をクリックします。

↓

2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。

↓

3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **内線ポート (1-960)**  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の ➡ または、 ⬅ をクリックして内線ポート番号を変更します。

↓

4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の ✖ をクリックします。

↓

5. 左上部のプルダウンから“多機能電話機の仮想内線鳴動データ設定”を選択します。



↓

6. 設定するボタン番号(1~40)を選択します。

画面右上のボタン番号部の窓 **ボタン番号 (1-48)**  に表示させたいボタン番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

ボタン番号右の ➡ または、 ⬅ をクリックしてキー番号を変更します。

↓


7. 鳴動指定を行うボタン番号、運用モード番号ごとのチェックボックスをクリックしチェックをつけます。

↓




8. 続けて他の機能ボタンの仮想内線鳴動データ設定を行う場合は、6. から8. を繰り返し行います。  
(→、←、🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



9. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



10.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定<VM ファイル>

内線番号と同一の番号（メールボックス番号）が割り付けられているメールボックスの応答メッセージおよび伝言メッセージをパソコンから操作（アップロード、ダウンロード、消去）します。仮想内線番号と同一のメールボックスはここでは操作できません。仮想内線番号と同一のメールボックスを操作する場合は、ホーム画面から“VM ファイル”を選択します。詳細は、第4章 4-61 ■VM ファイル（メールボックス）を参照してください。

### VM ファイルについて：

ボイスメール（以下「VM」といいます。）および VRS で使用する全てのメッセージは、主装置に接続された SD メモリーカード（以下「SD」といいます。）に記録されます。メッセージは次の記録形式にて SD に記録されています。このため、SD からパソコンにメッセージファイルをダウンロードしてメディアプレイヤーなどのアプリケーションソフトで再生したり、パソコン等で作成したメッセージファイルを SD にアップロードしたりできます。

### SD 上のメッセージ記録形式：

ビットレート                    : 64 k b p s  
オーディオサンプルサイズ : 8 ビット  
チャンネル                       : 1 (モノラル)  
オーディオサンプルレート : 8 KHz  
オーディオ形式                 : CCITT  $\mu$ -Law

**注意：**この形式以外のファイルは使用しないでください。正しく再生されません。

### 応答メッセージとは：

内線留守番機能にて、応答時に話者にメッセージの録音を促すメッセージです。メールボックスごとに3つの応答メッセージを設定し、状況に合わせてファンクションボタン等で応答メッセージを切り替えることができます。

### 伝言メッセージとは：

留守電話や通話録音など、メールボックス使用者宛に通知された全てのメッセージの総称です。メールボックスごとに最大 200 のメッセージが記録されます。

メールボックスごとに最大 500 のメッセージが記録されます。

## 設定手順： <応答メッセージ>

1. ホーム画面で、“電話機設定” をクリックします。



2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。



3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 内線ポート (1-960)  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の ✖ をクリックします。



5. 左上部のプルダウンから“VM ファイル” を選択します。

**注意：**「メッセージ番号」が表示されない場合は、メールボックスが割り付けられていません。




6. 音声データの窓枠右端に  が表示されていることを確認します。



7. アップロード、ダウンロード、消去の操作を行います。操作手順は、第4章 4-63 ■VM・VRS ファイル操作（アップロード、ダウンロード、消去）手順を参照してください。



8. 設定が終了したら  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## 設定手順：＜伝言メッセージ＞

1. ホーム画面で、“電話機設定” をクリックします。



2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。



3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート部の窓 内線ポート (1-960)  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の ✖ をクリックします。



5. 左上部のプルダウンから“VM ファイル” を選択します。



6. 音声データの窓枠右端 音声データ 応答メッセージ  をクリックします。



7. プルダウンメニューが  表示しますので“伝言メッセージ” を選択してください。



8. “伝言メッセージ画面が表示します。



9. 設定するメッセージ番号を選択します。

画面右上のメッセージ番号 メッセージ番号 (1-200)  に表示させたいメッセージ番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。


または

メッセージ番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてメッセージ番号を変更します。



↓  
10. ダウンロード、消去の操作を行います。操作手順は、第4章 4-63 ■VM・VRS ファイル操作  
(アップロード、ダウンロード、消去) 手順を参照してください。

↓  
11. 続けて他のメッセージを操作する場合は、9. から10. を繰り返し行います。

↓  
12. 設定が終了したら  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定<Eメール通知設定>


装置がインターネットに接続されており、Eメールが送信可能となるように設定されている場合、ボイスメールのメールボックスにメッセージが登録されたことをメールボックスごとにEメールで通知できます。

ここでは、Eメール通知の可否、宛先のEメールアドレス、登録されたメッセージ(音声ファイル)のEメール添付の有無を設定します。なお、登録されたメッセージのEメール添付は、約1MB(2分)以下のファイルのみ可能です。1MB以上のファイルは添付されません。

### 設定手順：


1. ホーム画面で、“電話機設定” をクリックします。

↓  
2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。

↓  
3. 設定する内線ポート番号を選択します。  
画面右上の内線ポート番号部の窓 **内線ポート (1-960)**  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の  または、 をクリックして内線ポート番号を変更します。



↓  
4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の  をクリックします。

↓  
5. 左上部のプルダウンから“Eメール通知設定” を選択します。

**注意：**設定項目が表示されない場合は、メールボックスが割り付けられていません。

↓



- ↓
6. Eメール通知を行う場合には、[Eメール通知設定](#)  の口をクリックしてチェックをつけます。
- ↓
7. Eメールの通知先のEメールアドレスを、[Eメールアドレス](#)  に設定します。
- ↓
8. 登録されたメッセージ(音声ファイル)をEメールに添付する場合は、[音声ファイル添付](#)  の口をクリックして、チェックをつけます。
- ↓
9. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。
10. 設定が終了したら  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定<カールコードレス子機の機能ボタン設定>

カールコードレス多機能電話機ハンドセットのファンクションボタンに機能を設定することができます。ここでは、子機の機能ボタン(1~8)に連動させたい親機の機能ボタン番号を設定します。

### 設定手順：


1. ホーム画面で、“電話機設定”をクリックします。





2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。




3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 内線ポート (1-960)  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。

または

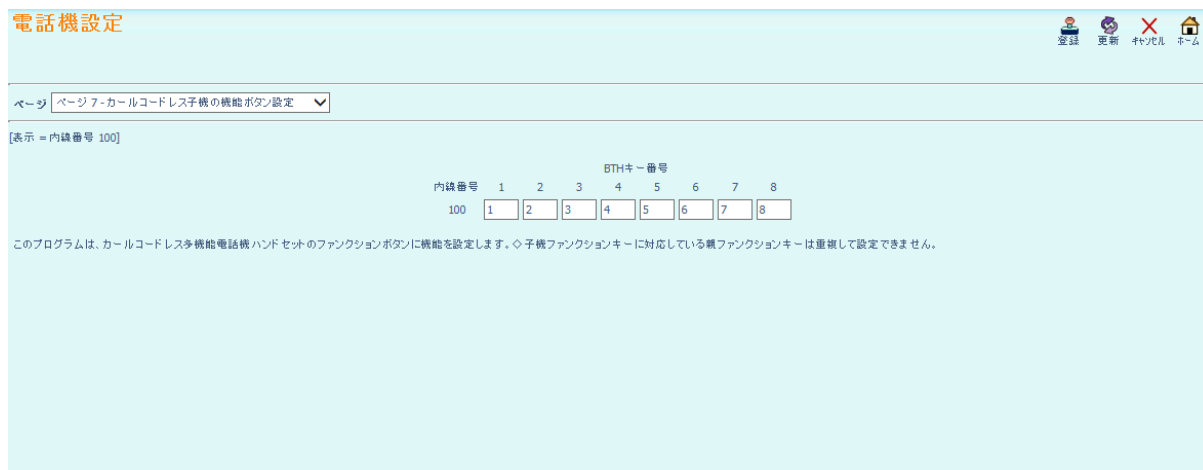
内線ポート番号右の  または、 をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の  をクリックします。



5. 左上部のプルダウンから“カールコードレス子機の機能ボタン設定”を選択します。




6. 設定するカールコードレス子機の機能ボタン(1~8)に対して設定したい親機の機能ボタン番号を入力します。




7. 続けて他の機能ボタンの設定を行う場合は、7. を繰り返し行います。



8. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



9. 続けて他の電話機の機能ボタンの設定を行う場合は、 をクリックして2. から7. を繰り返し行います。



10.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定<ワンナンバーフォーキング設定>

ワンナンバーフォーキンググループのメンバー内線1~7を設定することができます。該当電話機がワンナンバーフォーキング機能のメイン内線番号に設定されている場合のみ画面が表示されます。

### 設定手順：


1. ホーム画面で、“電話機設定”をクリックします。




2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。




3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **内線ポート (1-960)**  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の  または、 をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の  をクリックします。



5. 左上部のプルダウンから“ワンナンバーフォーキング設定”を選択します。




6. 設定するカールコードレス子機の機能ボタン(1~8)に対して設定したい親機の機能ボタン番号を入力します。




7. 続けて他の機能ボタンの設定を行う場合は、7. を繰り返し行います。



8. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



9. 続けて他の電話機の機能ボタンの設定を行う場合は、 をクリックして2. から7. を繰り返し行います。



10.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定<UC アカウントのユーザ情報設定>

ユーザアカウント番号(1~128)毎に、UC アカウント (UC100) のユーザ情報を設定します。

ユーザ ID、姓、フリガナ(名)の登録は必須です。

ユーザアカウント番号の設定範囲は 1~256 です。

パスワードを変更する場合は、ホーム画面で” UC アカウントのユーザ情報設定” を選択し、該当ユーザ ID に対して変更を行ってください。

表示言語はプルダウンメニューから選択して設定します。その他は、該当の値を設定します。

ブラウザフォン内線番号は最大 8 桁のダイヤル<0~9、\*、#>を入力できます。本設定は UC100 for Web のブラウザフォンを使う上で必須です。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“電話機設定” をクリックします。



2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。



3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **内線ポート (1-960)**  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の ✖ をクリックします。




5. 左上部のプルダウンから “UC アカウントのユーザ情報設定” を選択します。



6. 目的の項目を設定します。




7. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



8. 続けて他の UC アカウント番号の編集を行う場合は、3. から 7. を繰り返し行います。  
( → 、 ← 、 🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



9.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定<電話機毎のユーザーデータ設定>

電話機毎のユーザーデータ設定を確認することができます。

※設定を変更することはできません。

### 確認手順：

1. ホーム画面で、“電話機設定”をクリックします。



2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。



3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **内線ポート (1-960)**  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の ✖ をクリックします。




5. 左上部のプルダウンから“電話機毎のユーザーデータ設定”を選択します。




6. 設定内容を確認します。




7. 確認が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



8. 続けて他の電話機の機能ボタンの設定を行う場合は、 をクリックして2. から7. を繰り返します。



9.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## □電話機設定<1stParty CTI 接続>

内線毎の1stParty CTI 接続状況を確認することができます。

※設定を変更することはできません。

### 確認手順：


1. ホーム画面で、“電話機設定” をクリックします。



2. 電話機設定（内線番号設定）画面が表示されます。




3. 設定する内線ポート番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 内線ポート (1-960)  に表示させたい内線ポート番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。

または

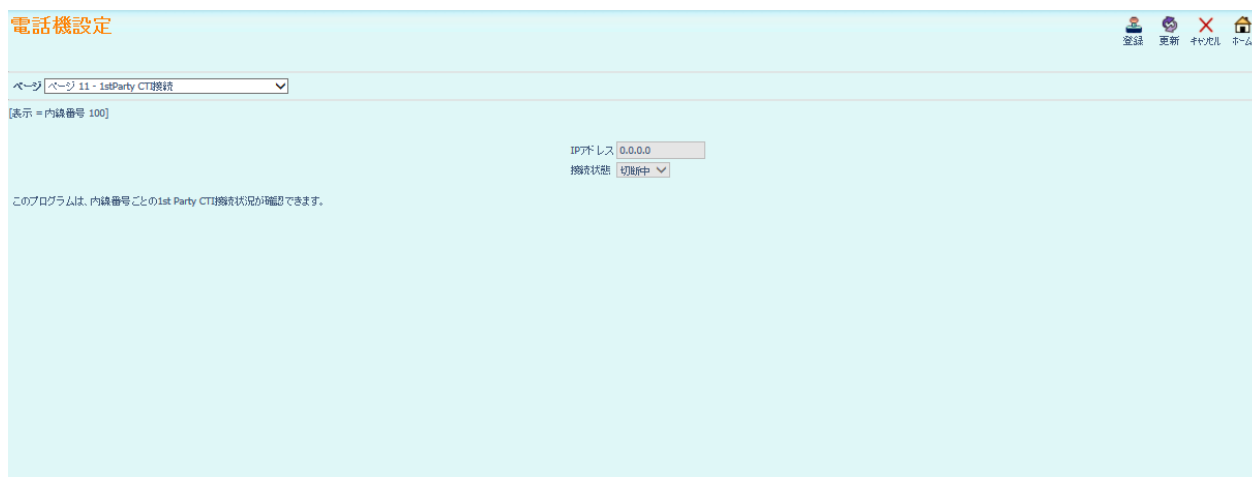
内線ポート番号右の  または、 をクリックして内線ポート番号を変更します。



4. 設定を行いたい内線ポート番号（内線番号）右（詳細設定部）の  をクリックします。




5. 左上部のプルダウンから“1stParty CTI 接続” を選択します。




6. 設定内容を確認します。




7. 確認が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



8. 続けて他の電話機の機能ボタンの設定を行う場合は、 をクリックして2. から7. を繰り返して行います。



9.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ 外線設定<外線の名称設定>

外線ポート毎に、外線名称を設定します。多機能電話機にて外線を捕捉したときなどに、外線名称が表示されます。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“外線設定”をクリックします。



2. 設定する外線ポートを選択します。

画面右上の外線ポート窓枠右端の **外線ポート** **001: COIU - 架 1 - スロット 06 (6)** をクリックしてスクロールバーを開き、目的のポート番号を選択します。




3. 該当外線ポート番号右の“外線の名称設定”の項目に、任意の名称(全角最大6文字または半角+英数最大12文字)を入力します。




4. 続けて他の外線名称の編集を行う場合は、3. から4. を繰り返し行います。



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6.  をクリックしてホーム画面に戻ります。



## □外線設定<外線毎の自動転送設定>

外線ポート毎に、外線毎の自動転送設定を行います。転送する場合は、転送するを選択し、運用モード(1~8)毎に転送先を登録する短縮エリア番号を入力します。運用モードによって転送を行いたくない場合(例:運用モード1の場合は、転送しない。運用モード2の時は、転送する。)、転送したくない運用モードには任意の短縮エリア番号を入力し、設定した短縮エリアには、転送先を設定せずに空白とします。転送先短縮エリアに番号入力無く空白の場合は、転送されずに一般着信となります。

### 設定手順:

1. ホーム画面で、“外線設定”をクリックします。



2. 設定する外線ポートを選択します。

画面右上の外線ポート窓枠右端の 外線ポート **001: COIU - 架 1 - スロット 06 (6)** をクリックしてスクロールバーを開き、目的のポート番号を選択します。



3. 該当の外線ポート番号右“外線毎の自動転送設定”項目 **転送しない** の右端にある▼をクリックしてスクロールバーを開きます。



4. 転送する場合は、“転送する”をクリックし、転送しない場合は、“転送しない”をクリックします。



5. 該当の“運用モード”項目 **運用モード1** の右端にある▼をクリックしてスクロールバーを開きます。





↓

6. 運用モード1~8を選び、クリックして設定します。

↓

7. 該当の“短縮エリア番号”項目部の窓に、転送先の番号を登録する短縮エリア番号を入力します。


↓

8. 運用モード1~8の全てに転送先を登録するため、5. から7. を繰り返し行います。


↓

9. 続けて他の外線ポートの設定を行う場合は、2. から8. を繰り返し行います。

↓

10. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。

↓

11.  をクリックしてホーム画面に戻ります。


## □外線設定<短縮ダイヤルデータと名称設定>

外線設定画面から、短縮ダイヤルデータと名称設定へ移行することができます。設定内容は、「短縮ダイヤルデータと名称設定」と同じです。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“外線設定”をクリックします。





- 2-A. 短縮ダイヤルデータを 0000 番から順番に設定する場合は、左上部のプルダウンから“短縮ダイヤルデータと名称設定”を選択します。この場合、短縮番号 0000 部が開きます。
- 2-B. 外線毎の自動転送設定の転送先番号を登録する場合は、該当の短縮エリア番号が表示されている部分の右側の共通短縮編集部にある  をクリックします。この場合、該当の短縮ダイヤルエリアが表示されます。








3. ダイヤルデータ (最大 24 桁のダイヤル<0~9、\*、#、P=ポーズ、R=フラッシュ、@=応答待ちコード (ISDN 回線用)>)、漢字名称 (全角カナ漢字、最大 12 文字)、カナ名称 (半角英数カナ、最大 12 文字) を入力します。



4. 続けて他の短縮番号を設定する場合は、設定する短縮番号を表示させます。  
画面右上の短縮番号部の窓 **短縮番号 (0-9999) 9999** に表示させたい短縮番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。




または

短縮番号右の  または、 をクリックして短縮番号を変更します。




5. ダイヤルデータ (最大 24 桁のダイヤル<0~9、\*、#、P=ポーズ、R=フラッシュ、@=応答待ちコード (ISDN 回線用)>)、漢字名称 (全角カナ漢字、最大 12 文字)、カナ名称 (半角英数カナ、最大 12 文字) を入力します。




6. 必要に応じて、4. から 5. を繰り返し行います。  
(、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



7. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



8.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ UC アカウントのユーザ情報設定

ユーザアカウント番号(1~128)毎に、UC アカウント (UC100) のユーザ情報を設定します。

ユーザ ID、姓、フリガナ(名)の登録は必須です。

ユーザアカウント番号の設定範囲は1~256 です。

パスワードを変更する場合は、ホーム画面で” UC アカウントのユーザ情報設定” を選択し、該当ユーザ ID に対して変更を行ってください。

表示言語はプルダウンメニューから選択して設定します。その他は、該当の値を設定します。

ブラウザフォン内線番号は UC100 for Web のブラウザフォンを使う上で必須です。

### 設定手順：

1. ホーム画面で “UC アカウントのユーザ情報設定” をクリックします。



2. 設定する UC アカウント番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **UCアカウント番号 (1-256)**  に表示させたい UC アカウント番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。


または

UC アカウント番号右の ➡ または、⬅ をクリックして UC アカウント番号を変更します。



3. 目的の項目を設定します。




4. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



5. 続けて他の UC アカウント番号の編集を行う場合は、2. から 4. を繰り返し行います。

( ➡ 、 ⬅ 、 🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)



6.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

□ ユーザ ID

ユーザID

UC アカウント番号毎のユーザ ID を設定します。ユーザ ID は、半角英数で最大 16 文字までの文字列を入力できます。

ユーザ ID は、<システム ID> + <内線番号> にて構成され、複数の Aspire WX を接続している場合を除いてシステム ID は「000」となります。

例：システム ID が「000」、内線番号が「100」の場合、ユーザ ID は、「000100」となります。

□ パスワード

パスワード

UC アカウント番号毎のパスワードを設定します。パスワードは、半角英数で最大 16 文字までの文字列を入力できます。

□ 姓

姓

UC アカウント番号毎の姓を設定します。姓は、全角で最大 10 文字までの文字列を入力できます。

□ 名

名

UC アカウント番号毎の名を設定します。名は、全角で最大 10 文字までの文字列を入力できます。

□ フリガナ(姓)

フリガナ(姓)

UC アカウント番号毎の姓のフリガナを設定します。姓のフリガナは、半角で最大 20 文字までの文字列を入力できます。

□ フリガナ(名)

フリガナ(名)

UC アカウント番号毎の名のフリガナを設定します。名のフリガナは、半角で最大 20 文字までの文字列を入力できます。

□ 電話番号 1

電話番号 1

UC アカウント番号毎の電話番号 1 を設定します。電話番号 1 は、半角数字で最大 24 桁までのダイヤルを入力できます。

□ 電話番号 2

電話番号 2

UC アカウント番号毎の電話番号 2 を設定します。電話番号 2 は、半角数字で最大 24 桁までのダイヤルを入力できます。

□ **電話番号 3**

電話番号3

UC アカウント番号毎の電話番号 3 を設定します。電話番号 3 は、半角数字で最大 24 桁までのダイヤルを入力できます。

□ **携帯番号 1**

携帯電話1

UC アカウント番号毎の携帯番号 1 を設定します。携帯番号 1 は、半角数字で最大 24 桁までのダイヤルを入力できます。

□ **携帯番号 2**

携帯電話2

UC アカウント番号毎の携帯番号 2 を設定します。携帯番号 2 は、半角数字で最大 24 桁までのダイヤルを入力できます。

□ **E メール 1**

Eメール1

UC アカウント番号毎の E メール 1 を設定します。E メール 1 は、半角で最大 128 文字までの文字列を入力できます。

□ **E メール 2**

Eメール2

UC アカウント番号毎の E メール 2 を設定します。E メール 2 は、半角で最大 128 文字までの文字列を入力できます。

□ **グループ名**

グループ名

UC アカウント番号毎のグループ名を設定します。グループ名は、全角で最大 64 文字までの文字列を入力できます。

## □ 表示言語

表示言語

Japanese



UC アカウント番号毎の表示言語を設定します。表示言語の右側にある窓の右端の▼部をクリックしスクロールバーを開き、目的の表示言語をクリックして設定します。

非対応言語を選択した場合には、日本語 (Japanese) で表示されます。

対応している言語は以下です。

以下の言語のいずれかを設定してください。

Japanese (日本語)

English (英語)

German (ドイツ語)

French (フランス語)

Spanish (スペイン語)

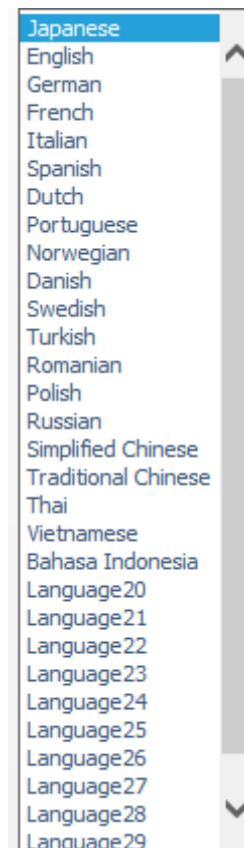
Simplified Chinese (簡体字)

Traditional Chinese (繁体字)

Thai (タイ語)

Vietnamese (ベトナム語)

Bahasa Indonesia (インドネシア語)



**注意** : Language20~30 は作成した言語ファイルを追加するために使用します。

Language20~30 は表示言語として設定しないでください。

## □ ブラウザフォン内線番号

ブラウザフォン内線番号

UC100 for Web のブラウザフォンで使用する内線番号を設定します。最大 8 桁までのダイヤル<0~9、\*、#>を入力できます。



## ■ ワンナンバーフォーキング設定

ワンナンバーフォーキンググループのメンバー内線 1~7 を設定することができます。該当電話機がワンナンバーフォーキング機能のメイン内線番号に設定されている場合のみ画面が表示されます。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“ワンナンバーフォーキング設定” をクリックします。



2. ワンナンバーフォーキング設定画面が表示されます。



3. 設定するフォーキンググループ番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **フォーキンググループ番号 (1-256)**  に表示させたいフォーキンググループ番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または


内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてフォーキンググループ番号を変更します。



4. フォーキンググループに設定したい内線番号を、メイン内線番号欄に入力します。

続けてメイン内線番号に従属する内線番号をメンバー内線番号欄 1~7 に入力します。



5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6. 続けて他のフォーキンググループ番号の設定を行う場合は、3. に戻り、3. から 5. を繰り返します。



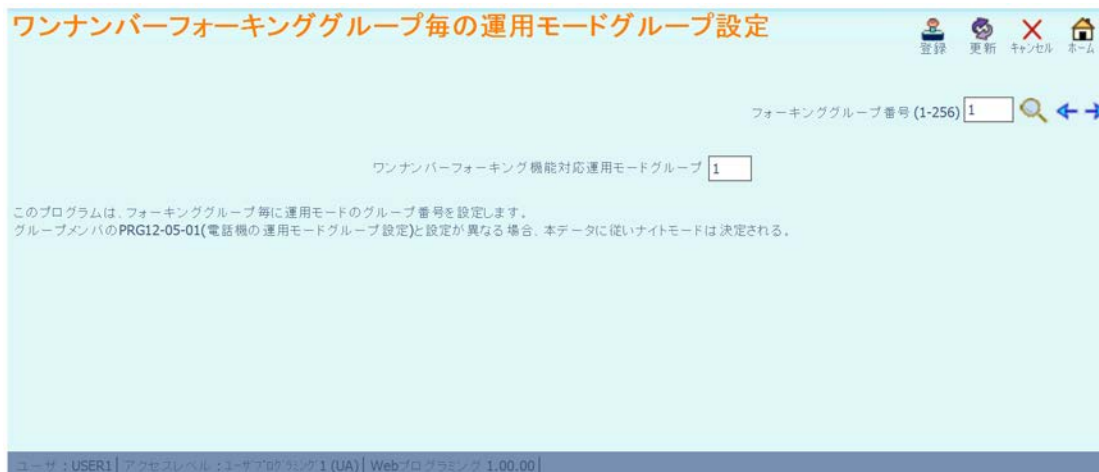
7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。



## ■ ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定

フォーキンググループ番号（1-256）毎に、ワンナンバーフォーキング機能対応運用モードグループ（1-32）を設定することができます。

### 設定手順

1. ホーム画面で、“ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定” をクリックします。  
↓
2. ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モードグループ設定画面が表示されます。



3. 設定するフォーキンググループ番号を選択します。  
画面右上の内線ポート番号部の窓 **フォーキンググループ番号 (1-256)**  に表示させたいフォーキンググループ番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。  
または  
内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてフォーキンググループ番号を変更します。  
↓
4. ワンナンバーフォーキング機能対応運用モードグループ欄に、設定したいワンナンバーフォーキング機能対応運用モードグループ番号を入力します。  
↓
5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。  
↓
6. 続けて他のフォーキンググループ番号の設定を行う場合は、3. に戻り、3. から5. を繰り返します。  
↓
8.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定

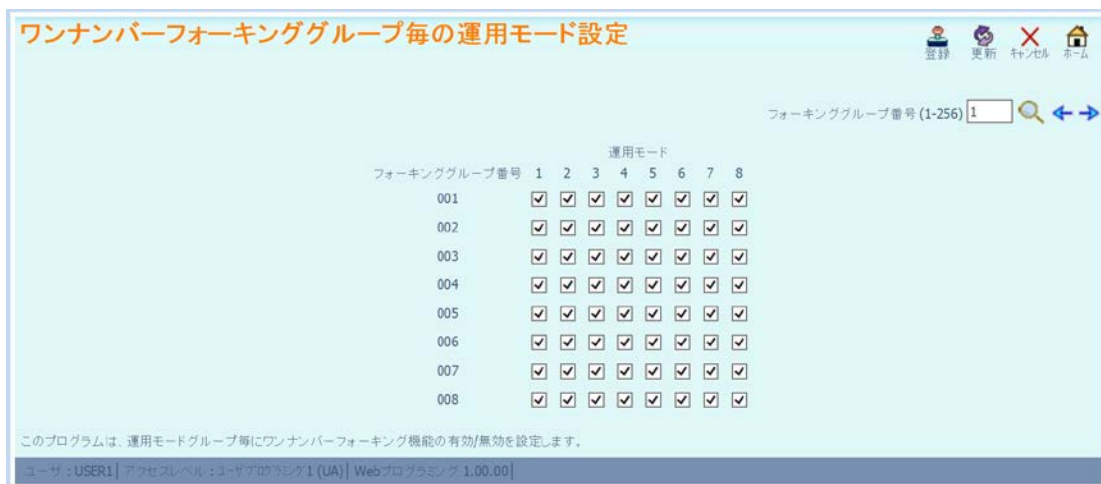
フォーキンググループ番号（1-256）毎に、ワンナンバーフォーキング機能の有効・無効を設定することができます。

設定手順：

1. ホーム画面で、“ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定” をクリックします。



2. ワンナンバーフォーキンググループ毎の運用モード設定画面が表示されます。



3. 設定するフォーキンググループ番号を選択します。

画面右上の内線ポート番号部の窓 **フォーキンググループ番号 (1-256)**  に表示させたいフォーキンググループ番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。


または

内線ポート番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてフォーキンググループ番号を変更します。



4. 下記  欄をクリックすることで、有効、無効の設定ができます。




5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6. 続けて他のフォーキンググループ番号の設定を行う場合は、3. に戻り、3. から5. を繰り返します。



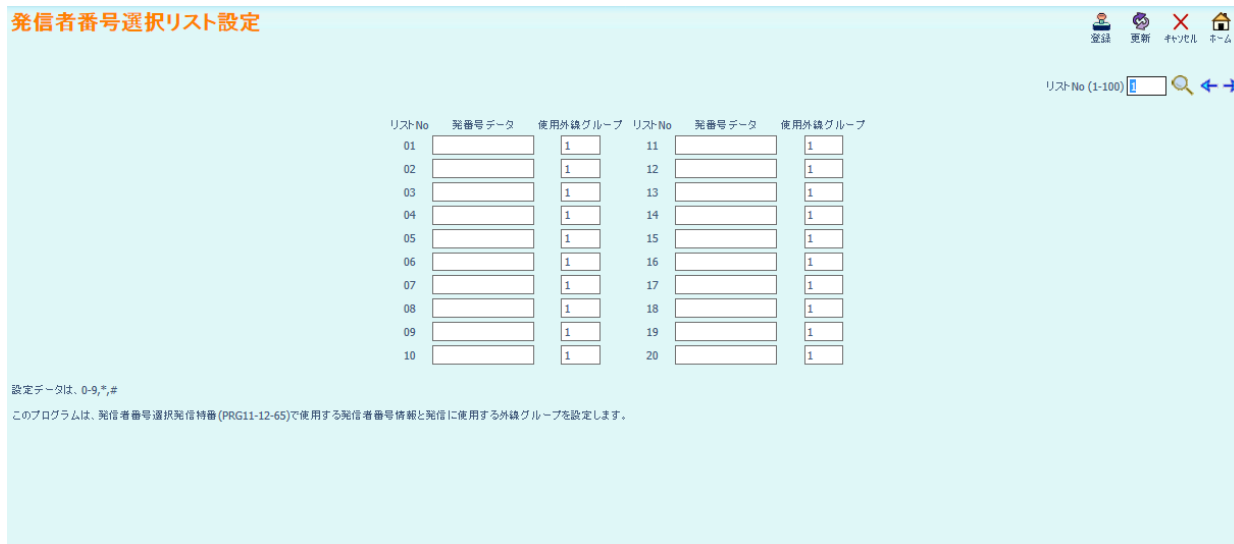
7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ 発信者番号選択リスト設定

発信者番号選択リスト番号（1～100）毎に、発信者番号選択発信特番を使って発信する場合に、使用する外線グループとその時に通知する発信者番号を設定します。

設定手順：

1. ホーム画面で“発信者番号選択リスト設定”をクリックします。




リストNo	発番号データ	使用外線グループ	リストNo	発番号データ	使用外線グループ
01	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	11	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
02	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	12	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
03	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	13	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
04	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	14	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
05	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	15	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
06	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	16	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
07	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	17	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
08	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	18	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
09	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	19	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
10	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	20	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>



設定データは、0-9,\*,#  
このプログラムは、発信者番号選択発信特番(PRG11-12-65)で使用する発信者番号情報と発信に使用する外線グループを設定します。



2. 設定するリスト No を選択します。

画面右上のリスト No 窓枠右端のリストNo (1-100)  に表示させたいリスト番号を入力し、右側の  をクリックして表示範囲を変更します。

または

リスト No 右の  または、 をクリックしてリスト No を変更します。




3. 通知したい発番号データを入力します。






4. 使用したい外線グループ番号を入力します。




5. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



6. 続けて他の発信者番号選択リストの編集を行う場合は、2. から 5. を繰り返し行います。

（、、 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。）



7.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ 内線グループ毎の設定確認

内線代表グループ（1-128）番号毎に、着信転送設定、遅延転送設定、着信拒否設定を確認することができます。

設定手順：

1. ホーム画面で“内線グループ毎の設定確認”をクリックします。



代表グループ	着信転送設定	遅延転送設定	着信拒否設定	代表グループ	着信転送設定	遅延転送設定	着信拒否設定
001	設定なし	設定なし	設定なし	009	設定なし	設定なし	設定なし
002	設定なし	設定なし	設定なし	010	設定なし	設定なし	設定なし
003	設定なし	設定なし	設定なし	011	設定なし	設定なし	設定なし
004	設定なし	設定なし	設定なし	012	設定なし	設定なし	設定なし
005	設定なし	設定なし	設定なし	013	設定なし	設定なし	設定なし
006	設定なし	設定なし	設定なし	014	設定なし	設定なし	設定なし
007	設定なし	設定なし	設定なし	015	設定なし	設定なし	設定なし
008	設定なし	設定なし	設定なし	016	設定なし	設定なし	設定なし



2. 確認する代表グループを選択します。

画面右上のリスト No 窓枠右端の **代表グループ (1-128)**  に表示させたいグループ番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。


または

リスト No 右の ➡ または、⬅ をクリックしてリスト No を変更します。



3. 設定内容を確認します。




4. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



5. 続けて他の代表グループの編集を行う場合は、2. から 4. を繰り返し行います。

( ➡ 、 ⬅ 、 🔍 をクリックした場合は、表示中のデータが登録され、かつ表示が切り替わります。)




6.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ コピー

コピーする項目を選択し、電話機の基本設定をコピーします。

設定手順：

1. ホーム画面で、上部に表示されている  をクリックします。



2. コピー元となる電話機の内線番号を選択します。

画面左上のコピー元内線番号からの窓  の右側にある▼をクリックしてスクロールバーを開きます。


3. コピーする項目は、左にある口をクリックしてチェックをつけます。

- ・ 電話機の運用モードグループ設定
- ・ 電話機の発信規制一時解除パスワード設定
- ・ 電話機の代理応答グループ設定
- ・ オフフック自動応答グループ設定
- ・ 電話機の内線ページンググループ設定
- ・ 多機能電話機の機能ボタン設定
- ・ LCD Line Key Name Assignment
- ・ カールコードレス子機の機能ボタン設定

4. 画面左上のコピー先内線番号部の窓内にて、コピー先の内線番号を選択します。

複数の内線をコピー先に指定する場合は、[Ctrl]キーを押しながらマウスで内線番号部をクリックします。

5. 続けて他の内線をコピーする場合は、3. から5. を繰り返し行います。

6. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



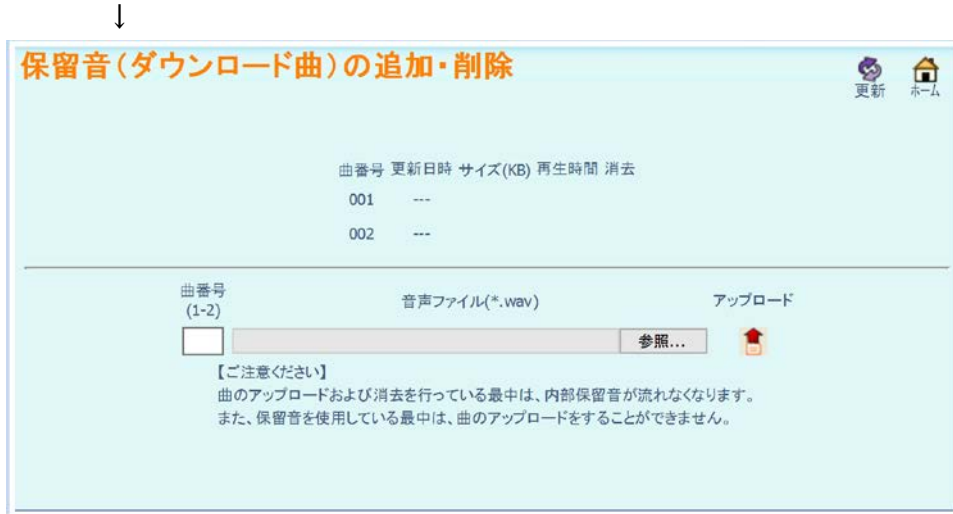
7. をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ 保留音(ダウンロード曲)の追加・削除

保留音のアップロード、消去を行います。保留音(ダウンロード曲)は、内部保留音として使用します。


設定手順：

1. ホーム画面で、“保留音(ダウンロード曲)” をクリックします。“保留音(ダウンロード曲)の追加・削除” 画面が表示されます。



2. アップロード、ダウンロード、消去の操作を行います。操作手順は、第4章 4-63 ■VM・VRS ファイル操作（アップロード、ダウンロード、消去）手順を参照してください。

3. 続けて他の保留音（ダウンロード曲）の操作を行う場合は、2. を繰り返し行います。

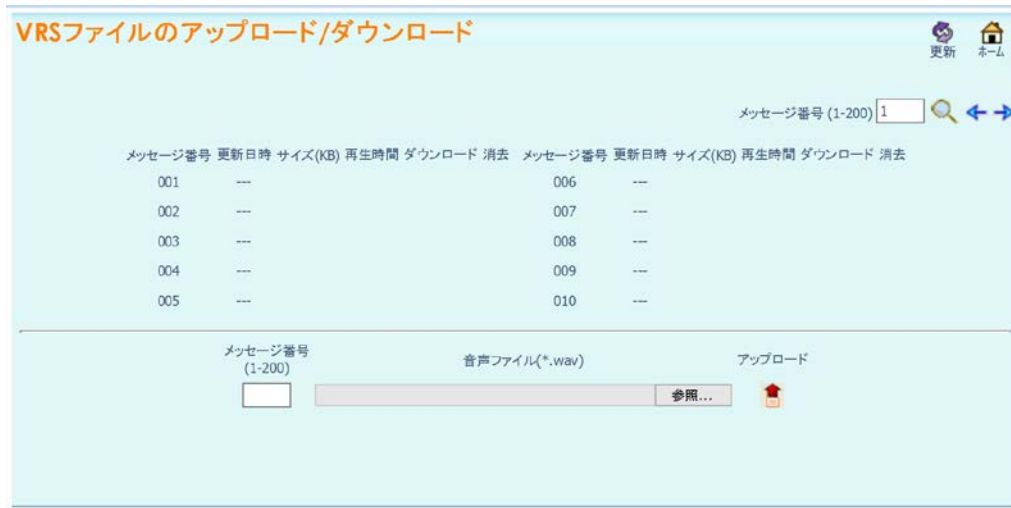
4. 設定が終了した  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ VRS ファイル<VRS ファイルのアップロード/ダウンロード>

VRS (Voice Response System) のメッセージを、アップロード、ダウンロードまたは消去を行います。VRS メッセージは、着信お待たせメッセージ、DID や DISA の応答メッセージとして使用します。各 VRS メッセージ (1~200) の使用法は、システム工事段階で設定します。詳しくは、販売店にご確認ください

### 設定手順 :

1. ホーム画面で、“VRS ファイル” をクリックします。“VRS ファイルのアップロード/ダウンロード” 画面が表示されます。



2. 設定するメッセージ番号を選択します。

画面右上のメッセージ番号  に表示させたいメッセージ番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして表示範囲を変更します。

または

メッセージ番号右の ➡ または、⬅ をクリックしてメッセージ番号を変更します。




3. アップロード、ダウンロード、消去の操作を行います。操作手順は、第4章 4-63 ■VM・VRS ファイル操作 (アップロード、ダウンロード、消去) 手順を参照してください。



4. 続けて他の VRS メッセージの操作を行う場合は、2. から 3. を繰り返し行います。



5. 設定が終了した  をクリックしてホーム画面に戻ります。



## ■ VM ファイル(内線) <VM ファイルのアップロード/ダウンロード(内線)>

内線番号または仮想内線番号と同一の番号（メールボックス番号）が割り付けられているメールボックスの応答メッセージおよび伝言メッセージをパソコンから操作（アップロード、ダウンロード、消去）します。

内線グループの代表番号と同一のメールボックスは、操作できません。この場合は、VM ファイル（メールボックス）にて操作します。詳細は、第4章 4-6 1 ■VM ファイル（メールボックス）を参照してください。

### 応答メッセージとは：

留守番機能にて、応答時に話者にメッセージの録音を促すメッセージです。メールボックスごとに3つの応答メッセージを設定し、状況に合わせてファンクションボタン等で応答メッセージを切り替えることができます。

### 伝言メッセージとは：

留守電話や通話録音など、メールボックス使用者宛に通知された全てのメッセージの総称です。メールボックスごとに最大200のメッセージが記録されます。

メールボックスごとに最大500のメッセージが記録されます。

### 設定手順：（応答メッセージ）

1. ホーム画面で、“VM ファイル(内線)” をクリックします。




2. 設定を行う内線番号を選択します。仮想内線番号は、プルダウンメニューの最下部にあります。画面右上の **内線番号 100: IP電話 - 172.16.0.102 - Port 001** に表示させたい内線番号を選択します。  
**注意：**「メッセージ番号」が表示されない場合は、メールボックスが割り付けられていません。



3. 音声データの窓枠右端に **応答メッセージ** が表示されていることを確認します。



- ↓
4. アップロード、ダウンロード、消去の操作を行います。操作手順は、第4章 4-63 ■VM・VRS  
ファイル操作（アップロード、ダウンロード、消去）手順を参照してください。
- ↓
5. 設定が終了したら  をクリックしてホーム画面に戻ります。

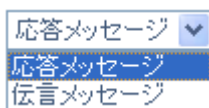
### 設定手順：（伝言メッセージ）

1. ホーム画面で、“VM ファイル(内線)” をクリックします。

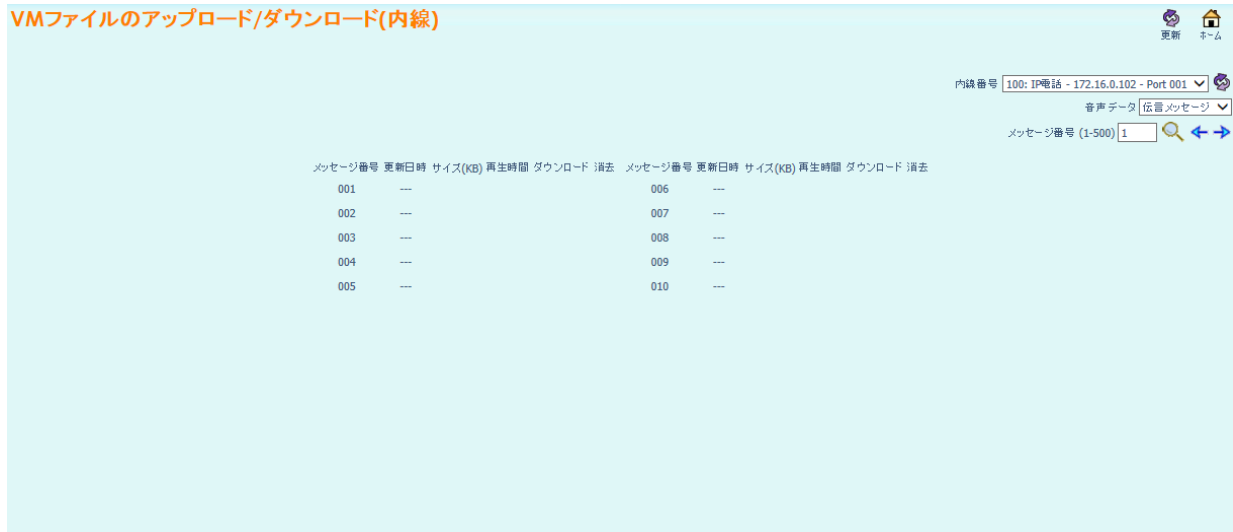


- ↓
2. 設定を行う内線番号を選択します。仮想内線番号は、プルダウンメニューの最下部にあります。  
画面右上の **内線番号**  に表示させたい内線番号を選択します。  
**注意**：「メッセージ番号」が表示されない場合は、メールボックスが割り付けられていません。

- ↓
3. 音声データの窓枠右端 **音声データ**  をクリックしてプルダウンメニューを開きます。



- ↓
4. プルダウンメニューで、“伝言メッセージ” を選択します。
- ↓



5. 設定するメッセージ番号を選択します。

画面右のメッセージ番号 **メッセージ番号 (1-200)**  に表示させたいメッセージ番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして範囲を変更します。


または

メッセージ番号右の ➡ または ⬅ をクリックしてメッセージ番号を変更します。



6. ダウンロード、消去の操作を行います。操作手順は、第4章 4-63 ■VM・VRS ファイル操作（アップロード、ダウンロード、消去）手順を参照してください。



7. 設定が終了した  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## ■ VM ファイル(メールボックス)

### <VM ファイルのアップロード/ダウンロード(メールボックス)>

メッセージボックス番号を指定して、応答メッセージおよび伝言メッセージをパソコンから操作（アップロード、ダウンロード、消去）します。内線番号や仮想内線番号と異なるメールボックス番号が割りついている場合や、内線グループの代表番号と同じのメールボックス番号が割付けられている場合においても操作可能です。

#### **応答メッセージとは：**

内線留守番機能にて、応答時に話者にメッセージの録音を促すメッセージです。メールボックスごとに3つの応答メッセージを設定し、状況に合わせてファンクションボタン等で応答メッセージを切り替えることができます。

#### **伝言メッセージとは：**

留守電話や通話録音など、メールボックス使用者宛に通知された全てのメッセージの総称です。メールボックスごとに最大 200 のメッセージが記録されます。

メールボックスごとに最大 500 のメッセージが記録されます。

## 設定手順：(応答メッセージ)

1. ホーム画面で、“VM ファイル(メールボックス)” をクリックします。



注: メールボックスが設定されたいない場合画面右上に、「ボックス番号が設定されていません。」と表示されます。

2. 設定を行う内線番号を選択します。画面右上の「メッセージボックス」001 - ボックス100 に表示させたいメッセージボックス番号を選択します。

**注意:** 「ボックス XXX」が表示されない場合は、メールボックス番号が割り付けられていません。




3. 音声データの窓枠右端に「応答メッセージ」が表示されていることを確認します。



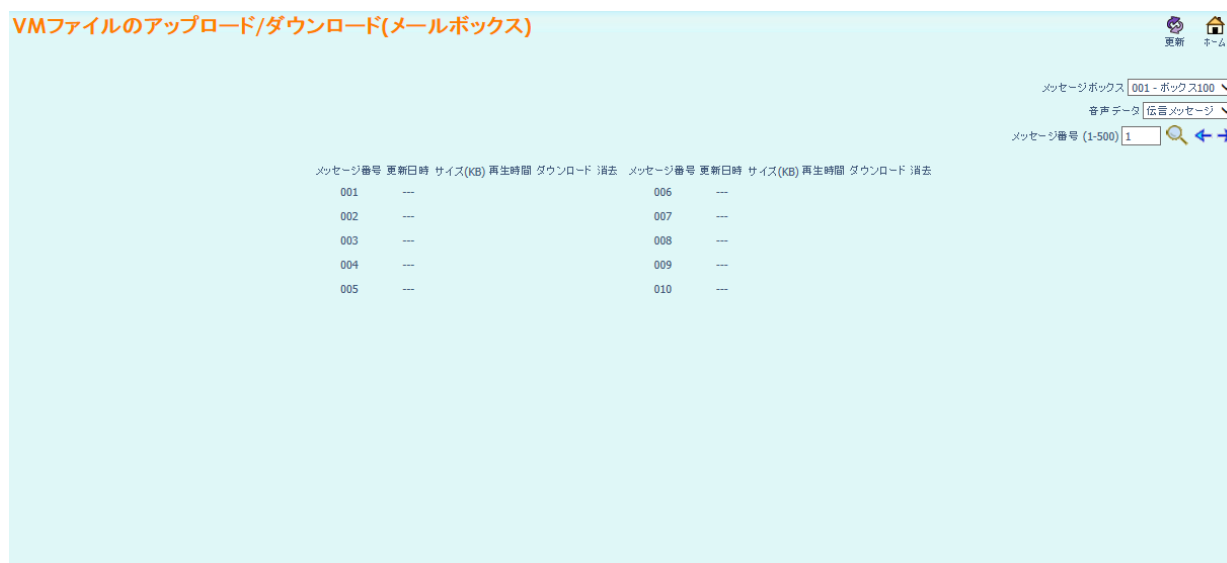
4. アップロード、ダウンロード、消去の操作を行います。操作手順は、第4章 4-63 ■VM・VRS ファイル操作（アップロード、ダウンロード、消去）手順を参照してください。



5. 設定が終了したら  をクリックしてホーム画面に戻ります。

## 設定手順：(伝言メッセージ)

1. ホーム画面で、“VM ファイル(メールボックス)” をクリックします。

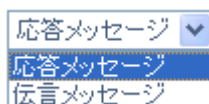


2. 設定を行う内線番号を選択します。画面右上の **メッセージボックス** **001 - ボックス100** に表示させたいメッセージボックス番号を選択します。

**注意：**「ボックス XXX」が表示されない場合は、メールボックス番号が割り付けられていません。



3. 音声データの窓枠右端 **音声データ** **伝言メッセージ** をクリックしてプルダウンメニューを開きます。



4. プルダウンメニューで、“伝言メッセージ” を選択します。



5. 設定するメッセージ番号を選択します。

画面右のメッセージ番号 **メッセージ番号 (1-500)** **1** に表示させたいメッセージ番号を入力し、右側の 🔍 をクリックして範囲を変更します。

または

メッセージ番号右の ➡ または ⬅ をクリックしてメッセージ番号を変更します。



6. ダウンロード、消去の操作を行います。操作手順は、第4章 4-63 ■VM・VRS ファイル操作（アップロード、ダウンロード、消去）手順を参照してください。



6. 設定が終了したら **ホーム** をクリックしてホーム画面に戻ります

## □VM-VRS ファイル操作（アップロード、ダウンロード、消去）手順

### □ アップロード :

アップロードは以下で行えます。

- ・ VRS ファイルのアップロード/ダウンロード
- ・ VM ファイルのアップロード/ダウンロード - “応答メッセージ”
- ・ 電話機設定 : VM ファイル - “応答メッセージ”

ボイスメールの音声ファイルには次の形式でフォーマットされたファイルが使用できます。

- ・ ビットレート : 64kbps
- ・ オーディオサンプルサイズ : 8 ビット
- ・ チャンネル : 1(モノラル)
- ・ オーディオサンプルレート : 8KHz
- ・ オーディオ形式 : CCITT  $\mu$ -Law

**注意 :** この形式以外のファイルは使用しないでください。正しく再生されません。


設定手順 :



1. **参照...** をクリックしてアップロードする音声ファイル (\*.wav) の保管場所を指定します。
3. **アップデート** をクリックしてアップロードを完了させます。

**注意 :**

- ・ すでに適用されているバージョンと互換性がないファイルを指定した場合は指定ファイルが破棄されます。
- ・ ファイルサイズは、2MB 以下でないと形式が正しくてもアップロードできません。
- ・ 同時に複数ファイルのアップロード/ダウンロード/消去はできません。
- ・ 複数のユーザで同時にアップロード/ダウンロード/消去操作は行わないでください。  
システムの動作速度が遅くなる場合があります。
- ・ アップロード時のファイル名についての制限はありません。保存する際にファイル名は自動で変更されます。
- ・ エラーメッセージが表示された場合には、第5章 **トラブルシューティング**を参照してください。


□ **ダウンロード**  :

ダウンロードは以下で行えます。

- ・ VRS ファイルのアップロード/ダウンロード
- ・ VM ファイルのアップロード/ダウンロード - “応答メッセージ”
- ・ VM ファイルのアップロード/ダウンロード - “伝言メッセージ”
- ・ 電話機設定 : VM ファイル - “応答メッセージ”
- ・ 電話機設定 : VM ファイル - “伝言メッセージ”

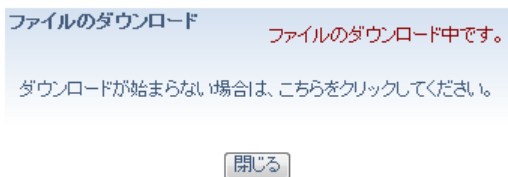
**設定手順 :**

メッセージ番号	更新日時	サイズ(KB)	ダウンロード	消去
001	2018/08/02 08:50:50	86		
002	2018/08/02 08:51:58	425		
003	---			

1. ダウンロードを行う “メッセージ番号” 右側の  をクリックします。  
 ※パソコンの機能および設定によりダウンロードをクリックしたときに WAV ファイルを再生するアプリケーションが同時に起動する場合があります (例: Windows Media Player)。



2. 以下のような「ファイルのダウンロード」画面がポップアップ表示されます。



3. ファイルを保存するときは “こちらをクリックしてください” の文字を右クリックし、“対象をファイル保存” を選択します。



4. 「名前を付けて保存」画面がポップアップします。  
 ※初期のファイル名は、下表を参照お願いします。

ファイル名 :	BBBBBBBTNNN_YYYYMMDD_HHMMSS.wav
BBBBBBBB	メールボックス番号(最大 8 桁) VRS の場合は” VRS” ※” * ” は” A ” と表示
T	メッセージタイプ “+” (半角) : 応答メッセージ、VRS “-” (半角) : 伝言メッセージ
NNN	メッセージ番号(3 桁)
YYYYMMDD	年(西暦)月(1~12)日(01~31)
HHMMSS	時(00~23)分(00~59)秒(00~59)



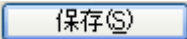
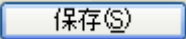
例 1. 2018/08/02 14:38:50 に作成された VRS の 10 番目のメッセージの場合

VRS+010\_20180802\_143850.wav


例 2. 2018/08/02 23:59:59 に作成されたメールボックス 200\*の 99 番目のメッセージの場合

200A-099\_20180802\_235959.wav

↓

5.  をクリックして保存します。ファイル名を変更する場合は、”ファイル名 (N)” 部分に希望のファイル名を入力後  をクリックします。

↓

6.  をクリックして閉じます。

↓

7. WAV ファイルを再生したアプリケーション (例: Windows Media Player) も終了します。

### 注意:





- ・ ダウンロードファイルにはファイルサイズの制限はありません。ただし、ファイルサイズが大きい場合はダウンロードに時間がかかる場合があります。
- ・ アップロード可能なファイルサイズは 2MB 以下です。ファイルサイズによって、ダウンロードしたファイルをアップロードできない場合があります。
- ・ 同時に複数ファイルのアップロード/ダウンロード/消去はできません。
- ・ 複数のユーザで同時にアップロード/ダウンロード/消去操作は行わないでください。システムの動作速度が遅くなる場合があります。
- ・ エラーメッセージが表示された場合には、第 5 章 [トラブルシューティング](#)を参照してください。


### □ 消去 :

消去は以下で行えます。


- ・ VRS ファイルのアップロード/ダウンロード
- ・ VM ファイルのアップロード/ダウンロード - “応答メッセージ”
- ・ VM ファイルのアップロード/ダウンロード - “伝言メッセージ”
- ・ 電話機設定: VM ファイル - “応答メッセージ”
- ・ 電話機設定: VM ファイル - “伝言メッセージ”

### 設定手順:

メッセージ番号	更新日時	サイズ(kB)	ダウンロード	消去
001	2018/08/02 08:50:50	86		
002	2018/08/02 08:51:58	425		
003	---			

1. 消去をする“メッセージ番号”の右側の  をクリックします。

**注意：**

- ・ VRS または VM の応答に関しては  クリックした”メッセージ番号”が消去されます。  
VM の伝言メッセージの場合は消去したメッセージボックスは空欄にはならず消去したメッセージ以降のメッセージ番号が繰り上げられます。  
(例：メッセージ番号 001 A メッセージ番号 002 B メッセージ番号 003 C とあった場合 B を消去したら メッセージ番号 003 C がメッセージ番号 002 に番号が繰り上がります。)
- ・ 同時に複数ファイルのアップロード／ダウンロード／消去はできません。
- ・ 複数のユーザで同時にアップロード／ダウンロード／消去操作は行わないでください。  
システムの動作速度が遅くなる場合があります。
- ・ エラーメッセージが表示された場合には、第 5 章 [トラブルシューティング](#)を参照してください。

## ■ VM 構成設定

ユーザーマネジメントツールで使用する、ボイスメールへログインするためのパスワード、ログアウトのタイマー値を設定します。


設定手順：

1. ホーム画面で、“VM 構成設定” をクリックします。“VM 構成設定” 画面が表示されます。




2. 目的の項目を設定します。



3. 設定が終了した場合、 をクリックして表示中の設定を登録します。



4.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

### □ メールボックス一括パスワード

メールボックス一括パスワード

メールボックスに録音されたファイルをパソコンへダウンロードしたり、削除するための操作にて入力する認証用パスワードを入力できます。

※本項目は、ユーザーマネジメントツールを使用したときのみ利用します。

### □ ユーザーマネジメントツールログアウトタイマー

ユーザーマネジメントツールログアウトタイマー

ユーザーマネジメントツールを使ってメールボックスへログイン中に、何も操作しない状態が続いたときに自動的にログアウトするまでの時間を入力できます。

## ■ ホテル客室情報

ホテルモードに設定されている客室電話機の設定を一覧で確認することができます。参照のみで、設定の変更はできません。

1画面で確認できる客室電話機の設定は最大40台です。41台以上の客室電話機が設定されている場合はページを切り替えて設定を確認する必要があります。ページの切替方法については、後述の“ページ切替について”を参照してください。

### 確認手順：

1. ホーム画面で“ホテル客室情報”をクリックします。



The screenshot shows a web interface titled "ホテル客室情報" (Hotel Room Information). It displays two tables side-by-side. The left table has the following data:

客室番号	通話規制	発信規制クラス	着信拒否	伝言設定	モーニングコール	モーニングコール 応答状態	チェックイン/ チェックアウト
100	<input type="checkbox"/>	01	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	08:00	不応答	チェックイン
101	<input type="checkbox"/>	01	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	09:00	呼出待ち	チェックイン
105	<input type="checkbox"/>	02	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	チェックアウト
106	<input type="checkbox"/>	02	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	チェックアウト
107	<input type="checkbox"/>	02	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	チェックアウト
108	<input checked="" type="checkbox"/>	01	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	チェックイン

The right table is empty. The interface includes a header "ホテル客室情報" and a timestamp "客室情報取得時刻: 01/09 00:23".


①	客室	客室の内線番号が表示されます。 ※客室番号の表示順は固定です。
②	通話規制	客室間の通話が規制されている場合にチェックが入ります。
③	発信規制クラス	発信規制クラスが表示されます。
④	着信拒否	着信拒否が設定されている場合にチェックが入ります。
⑤	伝言設定	伝言設定をしている場合にチェックが入ります。
⑥	モーニングコール	モーニングコールの設定時刻が表示されます。詳細は“モーニングコール設定時間/応答状態の表示について”を参照してください。

⑦	モーニングコール応答状態	モーニングコールの応答状態が表示されます。詳細は“モーニングコール設定時間/応答状態の表示について”を参照してください。
⑧	チェックイン/チェックアウト	チェックイン状態か、チェックアウト状態が表示されます。
⑨	更新ボタン	最新の客室情報を取得します。 注意: ホテル客室情報のページは自動では更新されません。最新の情報を表示したい場合は、手動で更新する必要があります。
⑩	客室情報取得時刻	ホテル客室情報画面を表示した、あるいは更新ボタンを押した時刻が表示されます。 ※表示される時刻はAspire WXの時刻です。







2. 目的の情報を確認します。



3.  をクリックしてホーム画面に戻ります。

#### ページ切替について :

41 台以上の客室電話機が設定されている場合のみ、画面右上に客室番号の窓  および   が表示されます。

確認したい客室電話機が画面に表示されていない場合は、 の▼をクリックして客室番号を選択、あるいは  または  をクリックし客室番号を変更して、設定を確認したい客室電話機を画面に表示させてください。

#### モーニングコール設定時間/応答状態の表示について :

客室状態	設定時間	応答状態
モーニングコールが設定されていない場合	-	-
モーニングコールが設定されている場合	HH:MM	呼出待ち
モーニングコールを設定し、設定時間に応答した場合	-	-
モーニングコールを設定し、設定時間に応答しなかった場合	HH:MM	不応答
モーニングコールを設定後、設定時間前に解除した場合	-	-

不応答の状態、モーニングコールを再設定すると応答状態は” 呼出待ち ” となります。

不応答の状態、チェックアウトすると応答状態は” - ” となります。

## ■ In-UC Apps アップデート

In-UC Web アプリケーション（UC100 for Web, クイックビデオリンク）のアップデートを行います。

### □ アップロード :

アップロードできるのは以下のファイルです。

- ・ ucu ファイル

**注意：** この形式以外のファイルは使用しないでください。アップロードされません。

### 設定手順：

1. ホーム画面で、“In-UC Apps アップデート” をクリックします。

“In-UC Apps アップデート” 画面が表示されます。

↓



↓

2.  をクリックしてアップロードするパッケージファイル（\*. ucu）の保管場所を指定します。

↓

3.  をクリックしてアップロードを完了させます。

アップロードが完了すると“パッケージのアップデートが完了しました。”とメッセージが表示されます。

### 注意：

- ・ ファイルのアップロードを完了するとアップデートファイルの適用を行います。適用中は、画面で操作しても反応を返さなくなります。
- ・ 現在のパッケージバージョンにかかわらず、指定したファイルに対してアップデートを実行します。
- ・ 複数のユーザで同時にアップロードは行わないでください。  
システムの動作速度が遅くなる場合があります。
- ・ エラーメッセージが表示された場合には、第5章 [トラブルシューティング](#)を参照してください。

## ■ 証明書登録

SSL/TLS サーバ証明書のアップロードができます。

### □ アップロード :

アップロードできるのは以下のファイルです。

- ・ pem ファイル

- ・ **注意** : この形式以外のファイルは使用しないでください。アップロードされません。

### 設定手順 :

1. ホーム画面で、“証明書登録” をクリックします。

“証明書登録” 画面が表示されます。



2.  をクリックしてアップロードする証明書を指定します。



3.  をクリックしてアップロードを完了させます。

アップロードが完了すると画面にアップロードしたファイルが表示されます。

# 第五章

## トラブルシューティング



# トラブルシューティング

## ➤ “ログイン” 画面が表示されない

障害状況 : ログイン画面が表示されない。

対応方法 : 接続状態、接続した IP アドレス、システム設定を確認してください。

考えられる原因 : ①接続が間違っている。(マニュアル表記の内容を再確認してください。)

②IP アドレスが間違っている。(接続状態により、IP アドレスが違います。詳しくは販売店にご確認ください。)

③DHCP サーバの接続設定により、パソコン側の設定が必要となる場合があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

## ➤ “ログイン” 画面から変わらない

障害状況 : “ユーザ名”、“パスワード”を入力し、Enter を押したが、“ログイン”画面から先に進まない。

対応方法 : ユーザ名を確認してください。

考えられる原因 : ユーザ名は、半角英数字です。詳しくは、販売店にご確認ください。

障害状況 : “ユーザ名”、“パスワード”を入力し、Enter を押したが、“ログイン”画面から先に進まない。「ユーザ名/パスワードが無効です。」と表示される。

対応方法 : ユーザ名、パスワードを確認してください。

考えられる原因 : ユーザ名は、半角英数字です。初期値は全て大文字です。パスワードは、数字（最大 8 桁）です。

## ➤ “ページエラー”

障害状況 : “ページエラー”が表示され画面が止まってしまう。

対応方法 : インターネットブラウザの「更新」操作を行ってください。ホーム画面に戻る場合がありますが、引き続き操作継続可能です。

考えられる原因 : パソコンの動作条件が、推奨値に満たない。

使用している LAN 上の他のデータトラフィックが高い。

## ➤ “ログイン” 画面に戻る

障害状況 : Web プログラミング操作時、常にログイン画面に戻ってしまう。

対応方法 : パソコンの動作条件を確認してください。

考えられる原因 : Cookie の設定が正しく行われていない。

## ➤ “ログアウト” できない

障害状況 : マウスでアイコンを選択しても、一切受け付けず操作できない。  
(アイコン操作を受け付けない)

対応方法 : パソコンの動作条件を確認してください。

考えられる原因 : スクリプトーアクティブスクリプトの設定が正しく行われていない。

➤ **“ログイン可能ユーザ数に達しています。”表示**

障害状況 : ログイン操作後、“ログイン可能ユーザ数に達しています。”表示が出てログインできない。

対応方法 : 他にログインしている電話機及び PC をログアウトする。  
15分以上待つて操作を行う。

考えられる原因 : システムの設定・工事中は、ユーザープログラミングが使用できない、または、使用台数が減少する場合があります。ユーザープログラミング終了時、正しくログアウトしていない（例：ログアウトせず、ブラウザを閉じた。）場合、ログイン状態が残ります。15分で強制ログアウト操作が行われますので、再ログイン可能となります。

➤ **“他のプロセスでロックされているため、内線‘XXX’はプログラムできません。そのプロセスは電話機プログラミングか他の Web プログラミングです。”表示**

障害状況 : ログイン中に電話機設定の詳細設定を選択した場合に、“他のプロセスでロックされているため、内線‘XXX’はプログラムできません。そのプロセスは電話機プログラミングか他の Web プログラミングです。”と表示して詳細設定画面に移行できない。

対応方法 : 同時にプログラムを行っているパソコンが終了するか、該当の電話機が終話してから選択を行ってください。

考えられる原因 : 他のパソコンが同一電話機へプログラム中、または、該当の電話機が使用中。

➤ **電話機のディスプレイに“ユーザプログラミングモード”表示**

障害状況 : 電話機のディスプレイに、“ユーザプログラミングモード”表示が出て電話機が使用できない。

対応方法 : ユーザープログラミング設定終了までお待ちください。

考えられる原因 : ユーザープログラミングにて電話機の設定中は、該当電話機を使用できません。

➤ **“メールボックス‘XXX’が存在しません。”表示**

障害状況 : ホーム画面から「VM ファイル」を選択後に内線番号部で選択時、または「電話機設定」メニューを選択後に「VM ファイル」メニューを選択したときに“メールボックス‘XXX’が存在しません。”と表示してアクセスできない。

対応方法 : 指定したメールボックス番号が間違っていないか、電話機設定メニューで設定中の電話機（内線番号）にメールボックスが割り付けられているかを確認してください。詳しくは、販売店にご確認ください。

考えられる原因 : 選択した電話機（内線番号）と同一のメールボックス番号が割り付けられていない可能性があります。なお、メールボックス番号は工事段階で設定します。

➤ **“SDの空き容量が不足しているため、アップロードできません。”表示**

障害状況 : ボイスメールの応答メッセージまたは VRS メッセージをアップロード操作したとき、“SDの空き容量が不足しているため、アップロードできません。”を表示してファイルのアップロードができない。

対応方法 : SD メモリーカードの空き容量を確認してください（例：特番 8 3 9）。残り容量が少ない場合は、不要な伝言メッセージおよび VRS メッセージを削除してください。

考えられる原因 : ボイスメールと VRS は、同じ SD メモリーカードにメッセージを記録します。ボイスメールまたは VRS のメッセージで、SD メモリーカードの残り容量が不足している可能性があります。

➤ **“ファイルのサイズが大きすぎます。”表示**

障害状況 : ボイスメールの応答メッセージまたは VRS メッセージをアップロード操作したとき、“ファイルサイズが大きすぎます。”を表示してファイルのアップロードができない。

対応方法 : アップロードしたファイルのサイズが大きすぎます。ファイルサイズが 2MB（約 4 分）を超えていないか確認してください。

考えられる原因 :

2MB を超える音声ファイル（WAV）は、アップロードできません。ボイスメールの応答メッセージおよび伝言メッセージは 2MB を超える場合があります。この場合、ダウンロードは可能ですが、再アップロードできません。


➤ **“他のユーザがログイン中のため、アクセスできません。”表示**

障害状況 : 「VM ファイル」メニューにて内線番号の選択または「電話機設定」メニュー内の「VM ファイル」メニュー選択したとき、“他のユーザがログイン中のため、アクセスできません。”を表示してボイスメールのメニューにアクセスできない。

対応方法 : メールボックスへのログインは、同時一人のみです。ログイン中の電話機または他のユーザープログラミングを操作しているユーザがログアウトしてから行ってください。

考えられる原因 : 電話機が該当のメールボックスにログイン中または、他のパソコンでユーザープログラミング操作中。


➤ **“ファイル拡張子が不正です。”表示**


障害状況 : ボイスメールの応答メッセージまたは VRS メッセージをアップロードしようと  をクリックしたとき、“ファイル拡張子が不正です。”を表示してアップロードできない。


対応方法 : アップロードしたファイルが、音声ファイル（WAV）形式かどうかを確認し、正しいファイルを再アップロードしてください。

考えられる原因 : ボイスメールの応答メッセージまたは VRS メッセージとしてアップロード可能なファイル形式は、WAV ファイルのみです。WAV ファイル以外をアップロードしようとした場合には、“ファイル拡張子が不正です。”のメッセージが表示されます。


➤ **“アップロードするファイルを指定してください。”表示**


障害状況 : 「VRS ファイルのアップロード/ダウンロード」、「VMのアップロード/ダウンロード」または電話機設定の「VM ファイル」メニューで  をクリックしたとき、“アップロードするファイルを指定してください。”と表示してアップロードができない。


対応方法 : アップロードするファイルを選択した後、 をクリックしてください。

考えられる原因 : アップロードをするファイルを指定する前に、 がクリックされた可能性があります。

➤ **“メッセージ番号が不正です。”表示**


障害状況 : 「VRS ファイルのアップロード/ダウンロード」、「VMのアップロード/ダウンロード」または電話機設定の「VM ファイル」で、 をクリックしたとき、“アップロードするファイルを指定してください。”と表示してアップロードができない。

対応方法 : アップロード先のメッセージ番号を正しく指定した後、 をクリックしてください。

考えられる原因 : アップロード先のメッセージ番号を指定する前に、 がクリックされた、または範囲外のメッセージ番号が指定された可能性があります。VRS ファイルは1~100、VMの応答メッセージは1~3です。


➤ **“ファイルが消去されています。”表示**

障害状況 : 「VRS ファイルのアップロード/ダウンロード」で VRS メッセージのダウンロード操作をしたとき、“ファイルが消去されています。”と表示してダウンロードできない。

対応方法 : 画面右上の  をクリックして、画面表示を更新してください。

考えられる原因 : ダウンロード指定した VRS メッセージは、他のユーザによって消去された可能性があります。


➤ **“ファイルが使用されているため、アップロードできません。しばらくしてから実行してください。”表示**

障害状況 : 「VRS ファイルのアップロード/ダウンロード」で、 をクリックしたとき、“ファイルが使用されているため、アップロードできません。しばらくしてから実行してください。”と表示してアップロードができない。

対応方法 : VRS 機能による該当ファイルの使用が終了してからアップロード操作を行ってください。

考えられる原因 : VRS 機能にて該当ファイルが指定されており、かつ機能動作しておりメッセージとして送付中の可能性があります。


➤ **“ファイルが使用されているため、ダウンロードできません。しばらくしてから実行してください。” 表示**

障害状況 : 「VRS ファイルのアップロード/ダウンロード」で、 (ダウンロード) をクリックしたとき、“ファイルが使用されているため、ダウンロードできません。しばらくしてから実行してください。”と表示してダウンロードができない。

対応方法 : VRS 機能による該当ファイルの使用が終了してからダウンロード操作を行ってください。

考えられる原因 : VRS 機能にて該当ファイルが指定されており、かつ機能動作しておりメッセージとして送  
出中の可能性があります。

➤ **“ファイルが使用されているため、消去できません。しばらくしてから実行してください。” 表示**

障害状況 : 「VRS ファイルのアップロード/ダウンロード」で、 をクリックしたとき、“ファイルが使用されているため、消去できません。しばらくしてから実行してください。”と表示して消去ができない。

対応方法 : VRS 機能による該当ファイルの使用が終了してから消去操作を行ってください。

考えられる原因 : VRS 機能にて該当ファイルが指定されており、かつ機能動作しておりメッセージとして送  
出中の可能性があります。


➤ **“ポップアップがブロックされました。・・・” 表示**

障害状況 : VRS ファイルまたは VM ファイルのダウンロード操作または電話機設定の「VM ファイル」  
メニューにてダウンロード操作をしたとき、インターネットブラウザ上部に“ポップアップ  
がブロックされました。・・・”と表示してダウンロードができない。(一緒に“情報バー”  
画面が表示される場合もあります。)

対応方法 : Internet Explorer (インターネットブラウザ) の設定にて、ポップアップのブロッ  
クを一時的に解除するか、またはポップアップをブロックしない設定に変更してください。

考えられる原因 : Internet Explorer (インターネットブラウザ) の設定にて、ポップアップがブロックされ  
ています。

➤ **“パッケージファイルが不正です。” 表示**

障害状況 : 「In-UC Apps アップデート」で、アップデートしようとして  をクリックしたとき、  
インターネットブラウザ上部に“パッケージファイルが不正です”と表示してアップ  
ロードできない。

対応方法 : 指定したファイルが In-UC Apps アップロード専用のパッケージファイルであることを確認  
し正しいファイルを再アップロードしてください。

考えられる原因 : アップロード可能なファイル形式は、ucu ファイルのみです。また、アップロード専用のフ  
ァイルのみ使用することができます。それ以外のファイルを指定してアップデートしよう  
とした場合に表示されます。

➤ **“対応していないバージョンです。”表示**

障害状況 : 「In-UC Apps アップデート」で、アップデートしようと **アップデート** をクリックしたとき、インターネットブラウザ上部に“対応していないバージョンです”と表示してアップロードできない。

対応方法 : アップデートファイルとシステム側のバージョンを確認し、正しいバージョンのアップデートファイルを指定してください。

考えられる原因 : お使いのシステムのバージョンと互換性がないバージョンのアップデートファイルを指定してアップデートしようとした場合に表示されます。

➤ **“ファームウェアアップデートが予定されているため、実行できません。”表示**

障害状況 : 「In-UC Apps アップデート」で、アップデートしようと **アップデート** をクリックしたとき、インターネットブラウザ上部に“ファームウェアアップデートが予定されているため、実行できません。”と表示してアップロードできない。

対応方法 : ファームウェアアップデートが完了してから、In-UC Apps アップデートを実行する必要があります。ファームウェアアップデートの日程は、Web プログラミング (IN レベル以上) で設定・確認することができます。システム管理者にご相談ください。

考えられる原因 : システムにファームウェアアップデート用のファイルがアップロードされているときに表示されます。

➤ **“ファイルの書き込みに失敗しました。”表示**

障害状況 : 「In-UC Apps アップデート」で、アップデートしようと **アップデート** をクリックしたとき、インターネットブラウザ上部に“ファイルの書き込みに失敗しました”と表示してアップロードできない。

対応方法 : システムのディスクの空き容量が 4MB 以上であることを確認してください。空きが無い場合には、不要な伝言メッセージおよび VRS メッセージを削除してください。伝言メッセージおよび VRS メッセージの削除で解消できない場合は、システム管理者にご相談ください。

考えられる原因 : システムのディスク空き容量が 4MB 未満でアップデートファイルの書き込みに失敗した場合に表示されます。

—Note—

# *AspireWX*

ユーザープログラミング

取扱説明書

(UA : 管理者編)